

**上富良野町複合拠点施設整備
基本計画**

2020年3月

上富良野町

目次

第1章 業務概要	1
1-1 業務の目的	1
1-2 業務内容	1
1-3 業務スケジュール.....	4
第2章 前提条件の整理	5
2-1 上位計画や関連計画の整理	5
2-2 上富良野町内の既存関連施設等の整理	18
2-3 上富良野町の来訪者特性.....	27
第3章 広域的なエリアにおける類似施設の調査.....	33
3-1 上川エリアの類似施設	33
3-2 関連施設事例.....	42
第4章 町民の複合拠点施設に対するニーズの把握.....	48
4-1 調査の種類と概要	48
4-2 調査票	49
4-1 調査結果	50
第5章 複合拠点施設を取り巻く関連機関等へのインタビュー調査.....	81
5-1 庁内インタビュー.....	81
5-2 関連機関インタビュー	84
5-3 町長インタビュー.....	92
第6章 検討会議の支援	95
6-1 町民検討会議の開催概要.....	95
6-2 意見交換会の開催	105
第7章 施設構想	114
7-1 施設コンセプトの策定	114
7-2 施設の導入機能	119
7-3 施設規模の想定	125
7-4 敷地条件の整理	129
第8章 施設配置計画の検討	131
第9章 施設整備・運営に向けた検討	134
9-1 関連総事業費設定.....	134
9-2 売上高想定及び営業収支想定	135
9-3 事業スケジュール.....	138
9-4 施設整備・運営に向けた課題.....	139

第1章 業務概要

1-1 業務の目的

第6次上富良野町総合計画「かみふ未来ビジョン」で掲げる将来像「暮らし輝き 交流あふれる四季彩のまち・かみふらの」の実現に向け、強い産業、稼げる観光の拠点づくりが必要であるとともに、町民の安心と笑顔あふれる暮らしを築き上げる拠点として交流・防災の役割を担う拠点施設の整備が課題となっている。

本業務は、これらの課題に対応する複合拠点施設の整備に向け当該施設が今後果たすべき具体的な役割について整理するとともに、施設の立地や機能構成、配置計画などを定める基本計画を策定することを目的とする。

1-2 業務内容

1-2-1 前提条件の整理

(1) 上位計画や関連計画の整理

施設整備に関する上位計画や関連計画について、複合拠点施設整備の位置づけを整理するとともに、町が基本コンセプトに掲げる「産業振興」「町民交流」「情報発信」「防災機能」などの切り口から、関連施策を整理し、複合拠点施設で検討すべき機能を抽出する。

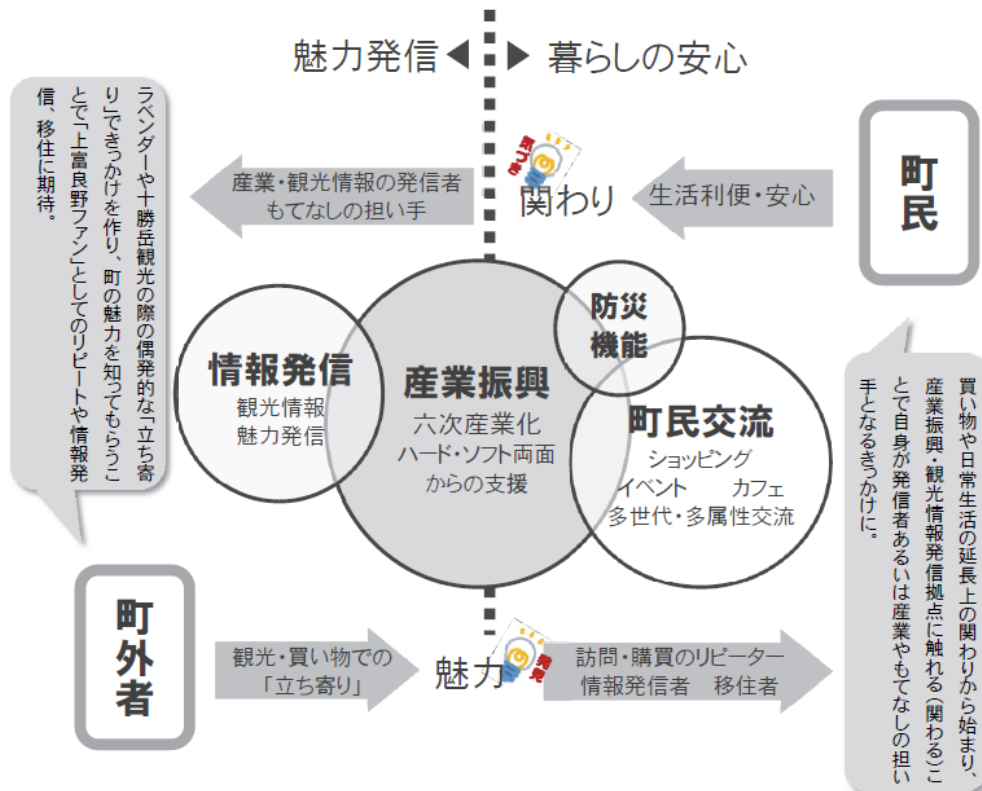


図 1-1 上富良野町複合拠点施設の基本コンセプト

(出典) 複合拠点施設検討会議資料

(2) 上富良野町内の既存関連施設等の整理

6次産業関連施設、観光振興や町民のふれあいに資する施設の運営状況や、主なイベントの現状等について、町の既存資料をもとに整理する。

既存関連施設・イベントの整理内容を受けて、今後の複合拠点施設との連携可能性や機能分担の方向性（案）についても併せて検討する。

1-2-2 複合拠点施設を取り巻く市場環境の整理

(1) 町民の複合拠点施設に対するニーズの把握

生活の拠点として必要な機能等について、町民を対象にしたアンケート調査を行い、意向を把握する。条件整理や、関連関係機関へのインタビュー等から、町民ニーズを詳しく把握する必要がある項目について、施設利用のターゲット層を想定して、具体的なニーズを把握する。

(2) 広域的なエリアにおける類似施設の調査

上川エリアの類似施設について、立地状況や経営・集客形態（運営方法、施設のコンセプト、ターゲット等）、運営状況等について整理する。

取組の参考とするため、アンケート結果から町民ニーズの高い機能について関連施設事例を整理する。

(3) 町内の飲食・小売施設及び宿泊施設等の調査

地域の飲食・小売施設及び宿泊施設等の立地状況を整理するとともに、経営・集客形態の特徴や課題、6次産業化への関心・意向を把握するため、商工会や観光協会等へのインタビュー等を行う。

(4) 上富良野町の来訪者特性

既往の調査結果を活用して施設周辺の交通量を把握する。

また、上富良野町及び周辺エリアの観光入込状況を整理する。

今後複合拠点施設との連携を図るため、観光資源の状況について整理する。

1-2-3 複合拠点施設を取り巻く関連機関等インタビュー調査

現況等のデータを踏まえて、農業、飲食・小売、観光など産業関連や、子育て・福祉、防災、交通、公共施設など地域の生活・交流に関連する機関・所管課にインタビューを行い、施設整備に向けた課題や活性化に向けた意見等を広く把握する。

1-2-4 敷地条件の整理

敷地候補について、導入機能や施設規模の検討内容を踏まえながら、ターゲットを考慮した機能ごとに、どういった立地条件が求められるか、アクセス性、視認性、周辺施設との連携などの留意するポイントについて特性を整理し、総合的な視点から立地場所を検討する。

1-2-5 導入機能及び配置計画の検討

調査結果を踏まえ、町が整理している「拠点施設に求める機能、役割」をベースとして、複合拠点施設の整備に向けた導入機能や施設規模について検討する。

町が整理している「組み込む機能（ハード）、面積イメージ」をベースに、インタビュー等の調査結果を踏まえて、各機能について必要となる面積を算定し、必要施設規模を検討する。面積算定の際、利用者（町民、町外からの来訪者）別に、季節性や、休日・平日なども考慮して、類似事例等から入込を想定する。

利用客の動線やゾーニングについて設定し、施設配置計画や概算事業費についても検討する。

1-2-6 整備・運営手法の検討

検討対象となる事業スキームについて整理し、施設の整備・運営の手法や費用、事業化に向けたスケジュールについて検討する。

1-2-7 施設整備に向けた課題

調査結果を踏まえて、官民が連携した施設の整備・運営にあたってクリアすべき課題など、今後の持続的な運営も含めて、拠点施設整備の課題を整理する。

また、施設を整備した後、実際に多くの人に活用されるよう、ターゲットや利用場面を想定し、施設利用を促進するためのポイントとして、ソフト面で必要となる対策についても例示する。

1-2-8 検討会議の支援

複合拠点施設に関する町民意向を把握するとともに、複合拠点施設基本計画のビジョンを町関係者が一丸となって作り上げていく場として、地域関係機関（商工会、観光協会、農協等）や公募町民、町職員で構成する「（仮称）町民検討会議」を開催する。

1-3 業務スケジュール

履行期間：（自）2019年5月24日～（至）2020年2月29日

	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月	
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
(1)前提条件の整理																				
上位計画や関連計画の整理			→	→	→															
上富良野町内の既存関連施設等の整理			→	→	→															
トップインタビュー			→	→	→															
(2)複合拠点施設を取り巻く市場環境の整理																				
町民の複合拠点施設に対するニーズの把握			→	→	→	→	→	→	→	→										
広域的なエリアにおける類似施設の調査			→	→	→	→	→	→	→	→										
町内の飲食・小売施設及び宿泊施設等の調査			→	→	→															
上富良野町の来訪者特性 (施設候補地周辺の交通量、観光の現況)			→	→	→															
(3)複合拠点施設を取り巻く関係機関等 ヒアリング調査			→	→	→															
(4)敷地条件の整理			→	→	→	→	→	→	→	→										
(5)導入機能及び配置計画の検討																				
導入機能や施設規模の検討							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ゾーニング・施設配置計画等の検討											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
(6)整備・運営手法の検討													→	→	→	→	→	→	→	→
(7)施設整備に向けた課題														→	→	→	→	→	→	→
(8)検討会議の支援							①			②			③					④		
(9)報告書の作成																				
計画骨子策定																				
計画素案策定																				
計画(案)策定																				
(10)打合せ協議			①				②			③			④					⑤		

第2章 前提条件の整理

2-1 上位計画や関連計画の整理

2-1-1 上位計画

(1) 第6次上富良野町総合計画「かみふ未来ビジョン」(2019～2028年度)

第6次上富良野町総合計画は、上富良野町の特長・資源や時代の流れ、町民の声、まちづくりの課題を踏まえ、町が目指す姿と、その実現に向けた計画の体系や方針などを示した「基本構想」、各分野において取り組む主要な施策や数値目標などを示した「基本計画」(前期・後期)、具体的に実施する事業の内容や財源、実施年度などを示した「実施計画」で構成されている。

最重要課題は「町一体となった人口減少の対策」として位置付け、「協働のまちづくり」、「穏やかに安心して暮らせるまちづくり」、「人が行き交うまちづくり」を進めるとし、将来像を「暮らし輝き交流あふれる 四季彩のまち・かみふらの」と定めている。

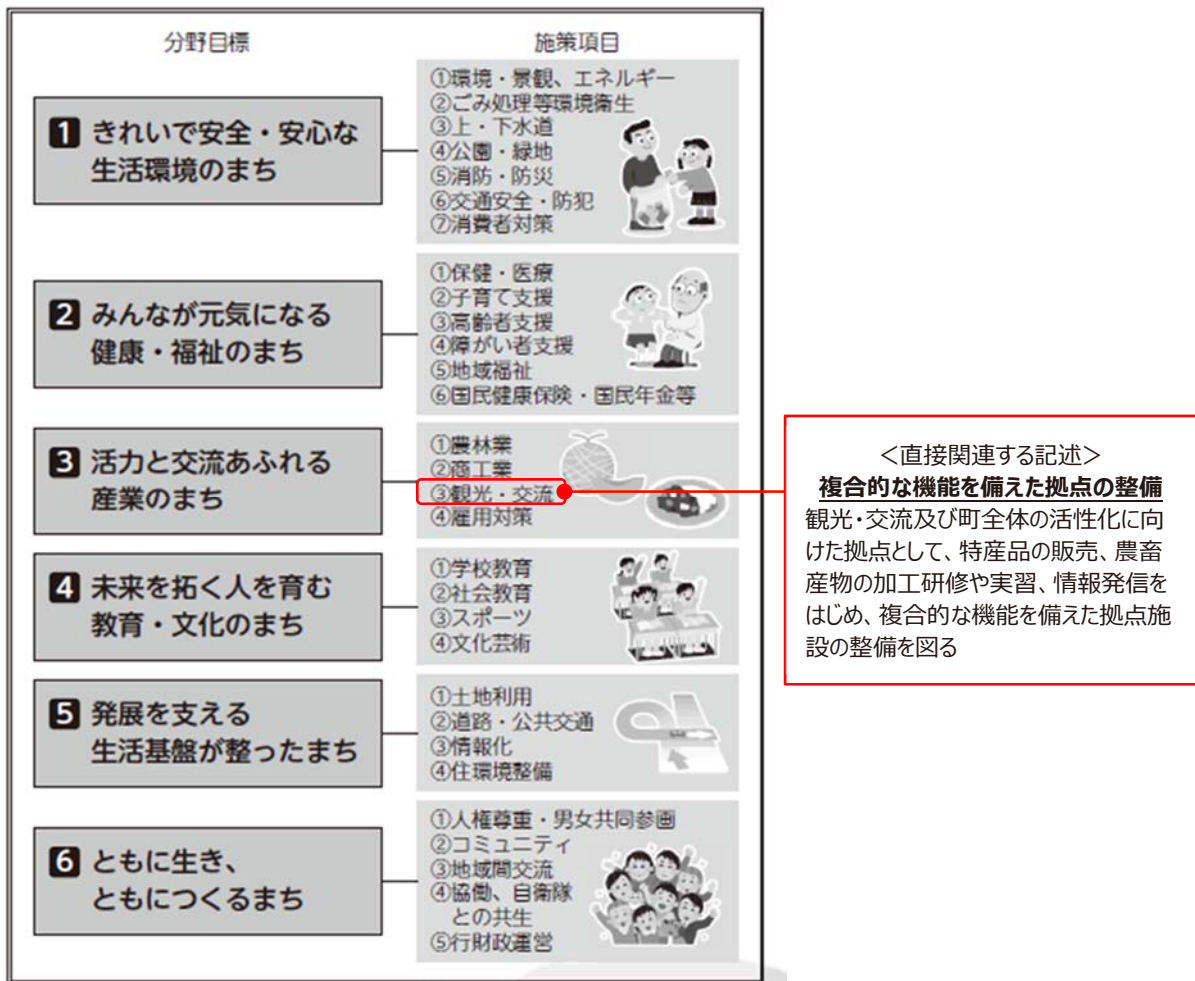


図 2-1 第6次上富良野町総合計画の施策体系と複合施設に直接関連する記述

(出典) 第6次上富良野町総合計画「かみふ未来ビジョン」

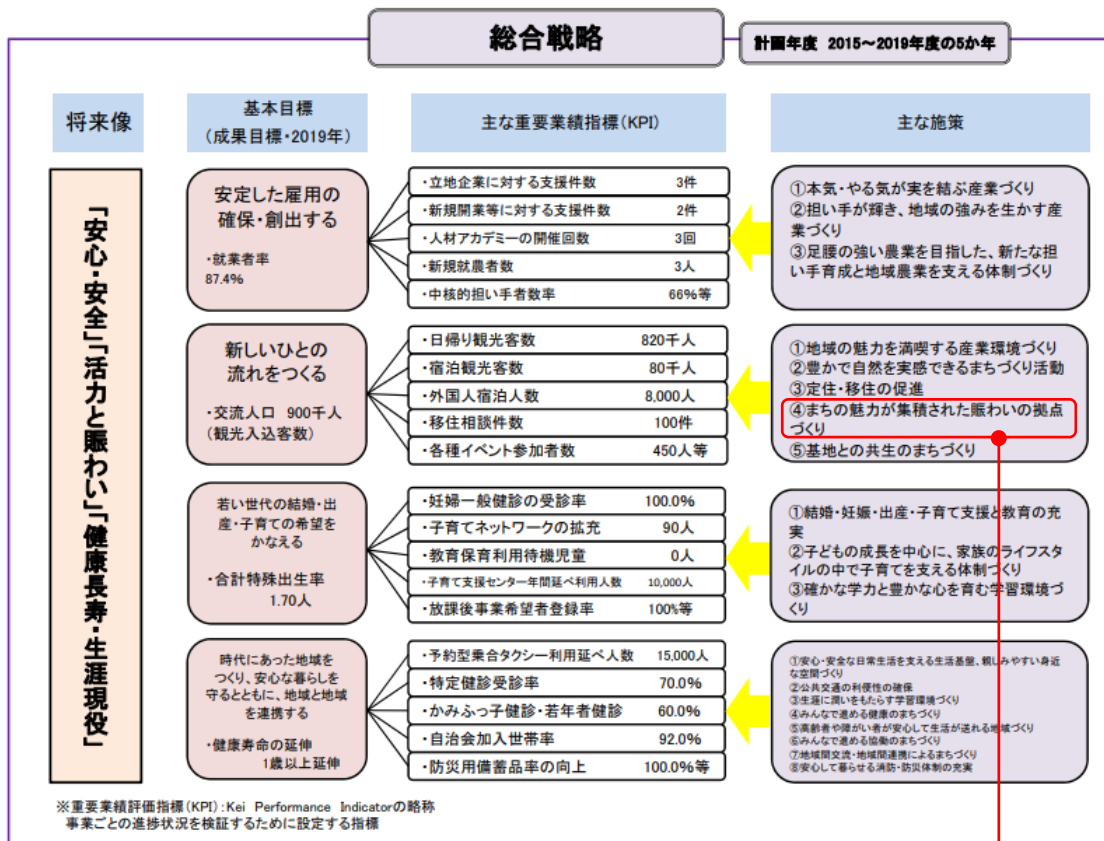
表 2-1 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産物の消費の拡大：各種イベントや農業者・関係団体等が行う直売活動の活用、商業施設や観光施設との連携、学校給食との連携。様々な媒体を通じた戦略的なPR活動を推進するとともに、農業者や関係団体が行う都市部等への出展活動やイベントへの参加を支援。 ・ 都市・農村交流と6次産業化の促進：消費者との交流、農業と観光・交流の一体化に向け、農業・農村体験やグリーン・ツーリズムの展開を促進。関係機関・団体と連携し、既存加工特産品の生産拡大と、消費者ニーズに即した新たな加工特産品の開発等を支援。 ・ 地域ブランド開発への取り組み：推奨品認定制度の充実と活用促進に努めるほか、特産品開発に取り組む商工業事業者等に対し、開発や販売促進等に関する支援を行う。様々な媒体を通じた戦略的なPR活動を推進するとともに、商工業事業者や関係団体が行う都市部等への出展活動やイベントへの参加を支援。
町民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・緑地の整備充実：日の出公園については、観光・交流の拠点として、利用者のニーズに応じた整備を計画的に推進。 ・ 子どもと子育てを支える地域づくり：子育てネットワークの拡充、子育てサロン、育児サークル支援や子育て活動支援事業を推進。 ・ 安心して子育てできる環境の整備：子ども・子育て包括センターや子どもセンターの機能充実を図り、子育て支援サービスの情報提供や育児の悩みを相談できる体制を整備。 ・ 学習関連施設の適正管理：老朽化への対応や安全性の確保等を見据え、社会教育総合センターや公民館など学習関連施設の機能が十分に果たされるよう適正な維持管理・改修等を実施。 ・ 図書館の充実と読書活動の促進：図書館について、より多くの町民が読書に親しめるよう、施設・設備の適正な維持管理・改修等をはじめ、町民ニーズに即した蔵書の充実やボランティアと連携した多様な図書館事業の推進。 ・ 地域内公共交通の維持・充実：町営バス十勝岳線について、十勝岳温泉への観光客の増加を見据え、観光行政と一体となった利便性の確保、路線の維持。 ・ コミュニティ活動拠点の充実支援：地域住民が活動しやすい環境づくりに向け、活動や交流の拠点となる地域集会施設等の充実を支援。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな魅力づくりへの取り組み：既存観光・交流資源の視点を変えた活用や未利用資源の掘り起こしを進め、多方面にわたる新たな魅力づくりに取り組む。 ・ タウンプロモーション活動の推進：関係団体等との協働のもと、ホームページやマスコミ、ふるさと応援寄附制度など、様々な媒体や機会、手段を活用し、効果的・戦略的なタウンプロモーション活動を推進。 ・ 外国人にやさしい観光地づくり：外国人観光客の誘致に向けた効果的な情報発信、パンフレットや案内板、飲食店メニュー等の多言語化の一層の充実。 ・ 広域観光体制の充実：広域的連携のもと、プロモーション活動の推進や魅力あるツアーの企画・催行。 ・ 十勝岳ジオパーク構想の推進：町民や来訪者にわかりやすい推進協議会の構築。 ・ 文化財の保存・活用：郷土館及び開拓記念館について、町民の郷土意識の高揚や郷土学習の機会の充実、観光的活用の充実、十勝岳ジオパーク構想の推進に向け、運営及び展示内容の充実を図る。 ・ 移住の促進に向けた取り組み：求人情報、住宅情報について随時収集。自然環境・景観や農産物などの「食」を含めた良好な居住環境も合わせ、移住フェアなどのイベントやホームページなどを通じて積極的な情報発信を行う。
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識の啓発：明確で安全な避難所・避難経路を整備、防災情報を提供。 ・ 十勝岳ジオパーク構想と連携した防災の推進：日本ジオパークネットワークを活用した専門的知見による防災学習など、連携・協力による防災対策に取り組む。 ・ 防災機能の整備：防災資機材・備蓄品の整備。

(2) 上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第5次総計及び各個別計画から施策や事業を抽出することを基本として、国・北海道の施策動向等を注視したうえで見直しや加筆等を行うこととして取りまとめている。

将来展望人口として、2040年に1万人程度の確保を目指し、持続可能なまちづくりに向け、若者の人口流出を抑制するとともに、高齢者が安心な暮らしを支えながら、定住・交流人口の増加を図るとしている。



＜直接関連する記述＞
まちの魅力が集積された賑わいの拠点づくり
 ○複合的機能を有する拠点づくり構想の推進
 本町の特産物や観光資源を生かして“ひと”を呼び、地域に“しごと”を生み出す複合的機能を有する拠点づくり構想の推進を図る。

図 2-2 上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系と複合施設に直接関連する記述

(出典) 上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

表 2-2 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の魅力を満喫する産業環境づくり ○地元農産物を活用した 6 次産業化の推進など
町民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長を中心に、家族のライフスタイルの中で子育てを支える体制づくり ○保育・子育て支援サービスに対する支援 ○子育て親同志の情報交換・交流企画の充実に対する支援 ・ 安心・安全な日常生活を支える生活基盤、親しみやすい身近な空間づくり ○日の出総合公園整備、公園・緑地の有効活用等に対する支援 ・ 生涯に潤いをもたらす学習環境づくり ○学習体制の充実に対する支援 ○スポーツ・レクリエーションを通じた健康・コミュニケーションづくりに対する支援
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の魅力を満喫する産業環境づくり ○旅行商品（体験観光、滞在型観光、周遊型観光など）づくりに対する支援 ○無料公衆無線 LAN の整備、観光スポット等の整備に対する支援 ○観光情報の収集、情報発信に対する支援 ・ 豊かで自然を実感できるまちづくり活動 ○ジオガイドの育成、地域住民自らが運営できる体制づくりに対する支援など ・ 定住・移住の促進 ○提供情報の拡充・提供に対する支援 ○北海道移住フェアへの参加、東京圏との交流事業、情報発信に対する支援
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して暮らせる消防・防災体制の充実 ○地域防災力向上に対する支援 ○防災用備蓄品の整備など

2-1-2 関連計画

(1) 第8次農業振興計画（2019～2023年度）

第8次農業振興計画は、上富良野町の農業・農村の役割や期待を踏まえつつ、情勢の変化や課題に的確に対応し、将来に向けて持続的に発展していけるよう、また、第7次計画における各施策の実施状況の検証を行い、本町の風土や地域特性を十分に活かしながら、力強く、持続性の高い農業の確立をめざして策定したものである。

「第6次上富良野町総合計画」に掲げる農政分野において、目指すべき基本方針とその実現に向けた施策を示しており、既存の関連する計画との整合性を図り、農業関係分野の推進を担う基本計画として位置付けている。

表 2-3 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消の推進：観光、飲食関連事業所での利用促進と情報発信を産業間連携のもと推進。地元農畜産物の付加価値を高め、消費者に選ばれる農畜産物や食品のブランド力の向上に向けた普及活動を推進。地域の特色を活かした農畜産物やその加工品のブランド化を推進。 ・ 消費者と生産者との結びつきの強化：農産物直売の取り組みなど、農消交流の拡充に向けた活動を支援。マルシェ（直売所）や直売店舗などを通じた地元農畜産物の消費拡大や生産者と消費者との交流促進、関係づくりを支援。各種イベントでの活用促進と特化したイベントの開催を継続して実施。観光分野との連携による地域食材を活用した商品づくりなど、地域資源の活用を促進 ・ グリーン・ツーリズムの推進：グリーン・ツーリズム及び農業・農村体験機会の拡充を推進。農村地域の持つ豊かな自然や食などを活用した都市と農村との交流に資する活動などを推進。 ・ 農業を軸とした6次産業化の推進：6次産業化取組農業者・団体の研究・活動を支援。関連産業との連携強化を図り、関係者のネットワークづくりや商品開発、加工・販売施設の整備等を推進。2次・3次事業者とのマッチングなどによる新商品の開発、販路開拓など新たな需要創出を推進。

(2) 上富良野町観光振興計画（2019～2023 年度）

上富良野町観光振興計画は、第 6 次上富良野町総合計画基本構想に掲げる「活力と交流あふれる産業のまち」を達成するため町民、観光関連事業者、観光協会や行政がそれぞれの役割を担い、観光振興を推進するための指針として策定したものの。

国が定める「観光立国推進基本法」、北海道の「北海道観光のくにづくり条例」など整合性を図りながら、上富良野町のまちづくりの総合的な指針である第 6 次上富良野町総合計画「かみふ未来ビジョン」・分野別目標に掲げる「活力と交流あふれる産業のまち」を実現するための観光分野での個別計画として位置づけている。

表 2-4 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド化の推進：上富良野らしいナチュラルなイメージを創出する観光資源のブランド化を図る取り組みを推進。「食」のブランド化推進など地場産品振興と連携し、観光地としての魅力を高める取り組み。 ・ 複合拠点施設整備に伴う観光関連施設の検討：複合拠点施設の整備に合わせ、観光交流が地域の活性化につながるための方策について検討し、新たな魅力となるよう実現を目指す。 ・ 短時間体験メニューの構築：観光客のニーズに沿った短時間で満足度を高める観光ルート、個別のメニューの構築を行い、滞在時間を延ばす取り組み。 ・ 閑散期宿泊対策強化：観光シーズン以外の期間における宿泊客の増加を図るため、閑散期メニューの発掘やスポーツ観光の積極誘致を進めるとともに、具体的な取組を行う民間宿泊施設への具体的支援策を検討 ・ ジオツーリズムの確立：日本ジオパークの認定を目指すと同時にジオパークガイドの育成など地域に根ざしたツーリズムの構築を行い、観光振興に波及させる取り組み。 ・ 訪日外国人観光客への対応改善：コミュニケーション、情報提供に関する多言語化について再点検し、改善。地域おこし協力隊・観光推進員の配置による町全体で訪日外国人観光客受入の強化。 ・ 観光 2 次交通の改善：2 次交通手段の検証・整備・改善により各観光施設やイベント会場への移動の円滑化を図り、地域の周遊ルートの構築。 ・ ふらのびえいエリアの総合連携：富良野・美瑛広域観光推進協議会での広域連携活動を軸に海外プロモーション、情報発信及びサイクルツーリズムの取り組み。 ・ ホスピタリティの向上：観光客の満足度向のため観光に携わる人を対象とした、接客技術や知識の取得などホスピタリティの全体的な向上。 ・ 各分野ガイドの育成、支援：各分野において必要な知識やスキルを有するガイドを育成。専門性の高いガイド資格取得のための支援制度を検討。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内看板、サインの整備：観光 2 次交通の改善に合わせ、観光客を呼び込む又は誘導する看板、サインの調査結果に基づき、優先度の高いものから整備。 ・ インフォメーション機能の強化：情報を取得するための拠点となる観光案内所機能をさらに高め、観光地点や市街中心地への誘導を図り、利便性の高い通信環境を整備。 ・ タウンプロモーションの推進：豊富な観光資源など町の魅力を P R するタウンプロモーション活動を積極的に推進。商品開発に関わる旅行エージェント等に対するプロモーションを強化。 ・ 発信ツールのフル活用：I C T を活用した情報発信が主流となる中において、S N S などリアルタイムで動く情報の積極的運用。メディアへの情報提供を行う広報活動（パブリシティ）を活用し、効果的な誘客促進を強化。 ・ 「地域観光」の伝承：町民に対して定期的な観光情報を発信。「地域観光」の学びを学習活動、学校活動に提供するなど次世代人材の育成。

(3) 上富良野町商工業振興計画（2019～2023 年度）

上富良野町商工業振興計画は、第6次上富良野町総合計画（計画期間：2019 年度からの10 年間）の分野別計画と位置付けられ、基本理念との整合性や本町の基盤となる産業推進に関する計画との連携を図り、商工業振興の方向性を示したものの。

表 2-5 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の産物・特色を活かした商業イベントによる賑わいの創出：中央コミュニティ大型テントを活用したイベントの開催により「街なか」の賑わいを創出し、活気ある地域づくりを行う。また、地元産物を発信するため多彩な地域イベントの開催を促し、支援する仕組みづくりに取り組む。 ・ 販路拡大や顧客の増加など販売力を強化するための支援：共同での販売活動やイベントの開催により顧客を取り込み、地域経済を循環させるため商店街活性化事業を通じ、事業者への支援を行う。 ・ 農畜産物その他地域の資源を活用した新たな商品開発による地域ブランド創出：特産品開発支援事業による地域の優良な産物を活かした新たなブランド化・差別化への取り組みを支援・推進。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略的な情報発信の強化：パブリシティを活用した情報発信の提供を推進し、開発商品の販売促進強化につなげる。また、ものづくりにおける新技術開発・新製品への支援策など情報提供・相談を行政や企業、関係団体と連携して取り組む。 ・ 農商工事業者の連携を強化し、総合的な地域情報の発信：産業賑わい協議会の活動を通じ、農業及び商工業など各産業が連携したイベントの開催、地域の情報発信など活力ある産業づくり。

(4) 上富良野町子ども子育て支援計画（2015～2019 年度）

上富良野町子ども子育て支援計画は、「子ども・子育て支援法」に基づき、すべての子ども・子育て家庭を対象として、今後進めていく教育・保育・子育て支援施策を計画的に実施するために定めたもの。

表 2-6 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
町民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後児童健全育成事業：「放課後児童クラブ」は、小学校を活用し、「放課後子供教室」（放課後スクール）と連携して運営する。 ・ 地域子育て支援拠点事業：子どもセンターを地域の子育ての拠点として、育児教室や交流事業等の各種事業を実施するとともに、育児サークル活動、子育てサロン利用など、地域の自主的な活動を支援する。 ・ 放課後の居場所づくり：地域において、子どもたちが自由に遊べ、様々な体験活動ができる居場所として、児童館を運営。現在「児童館」の利用児童の多くは小学生であるが、就学前の親子のふれあいの場や、中学生・高校生の活動場所として、幅広い施設活用を展開し、異年齢の子ども同士の交流を図る。

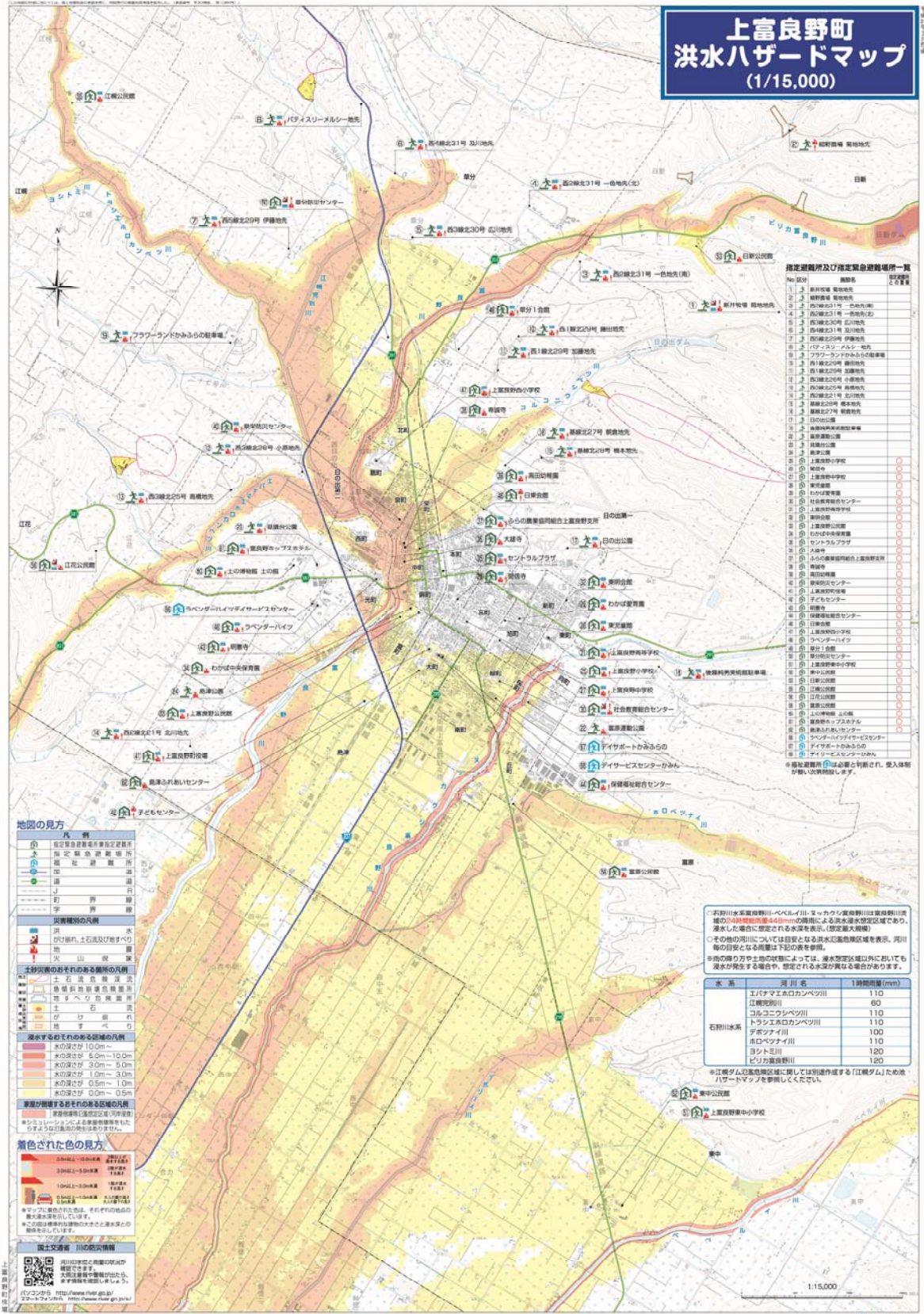


図 2-4 上富良野町洪水ハザードマップ

(出典) 上富良野町洪水ハザードマップ

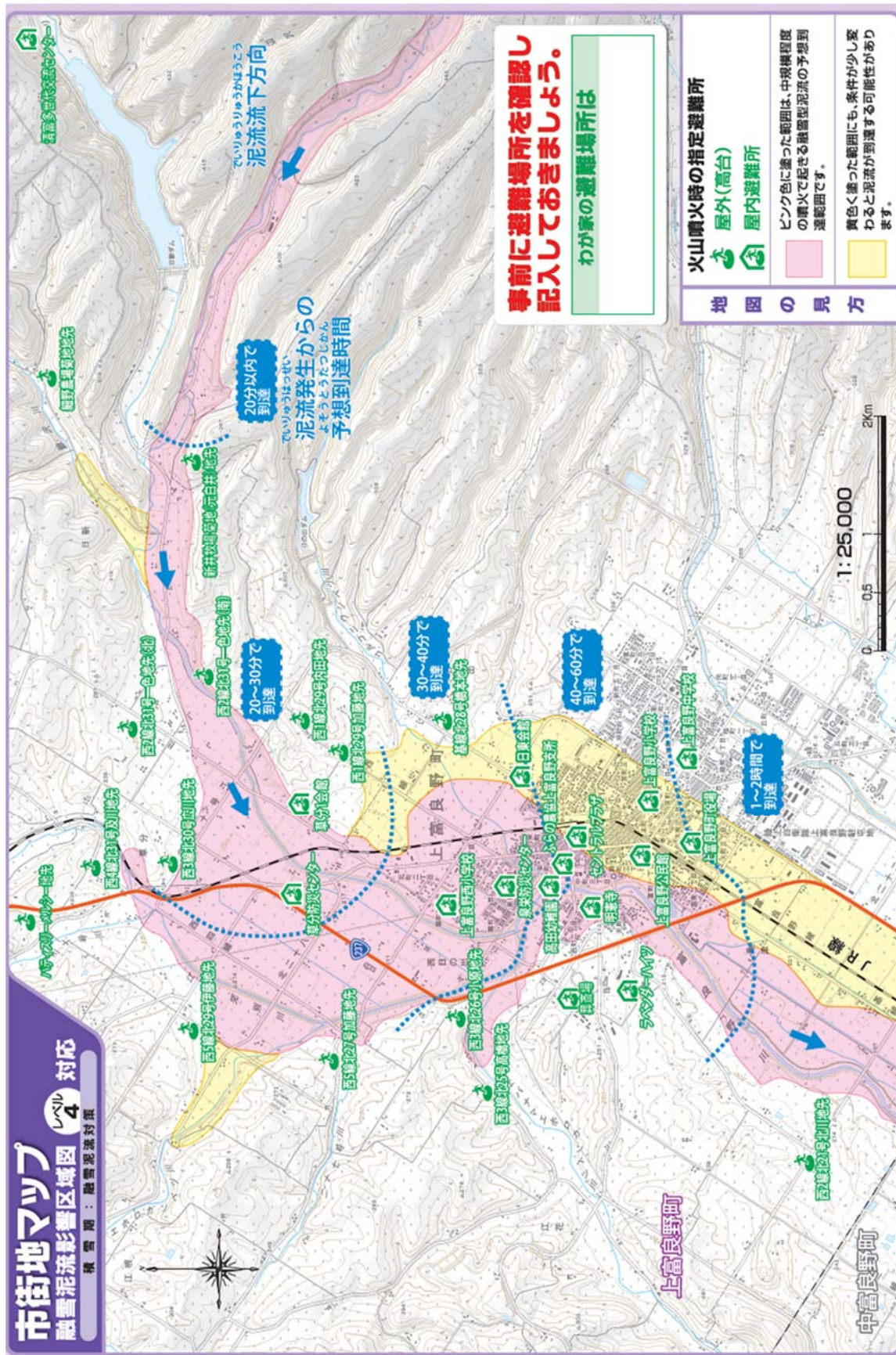


図 2-5 上富良野町融雪泥流影響区域図

(出典) 上富良野町十勝岳火山防災マップ

(6) かみふらの景観づくり計画（2011年4月適用）

上富良野町では、2004年3月に「かみふらの景観づくり条例」を制定している。

かみふらの景観づくり計画は、2007年に策定された「かみふらの景観づくり基本計画」を基本に景観法第8条の規定に基づく景観計画として、計画の区域、計画の理念、届出を要する行為、景観づくりの施策の基本的事項を定めたもの。

上富良野を代表する優れた景観を守るため「上富良野町全域」を景観計画区域としている。

上富良野の景観の目指すべき方向を、「十勝岳連峰を望むおらかな景観づくり」として、「十勝岳への眺望保全」と「北国の自然と農業のイメージ保全」という観点から、「色彩」「構造・意匠」「配置」に関する行為の規制基準を定めている。

表 2-8 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光産業の振興にもつなげる良好な視点場の形成：良好な景観づくりのためには、“見られる”景観資源だけではなく、“見る”場所（視点場）の形成が重要。観光客の「おもてなしの場」として、町民にとっては「町の魅力の再発見の場」としてふさわしい視点場を形成し、ひいては観光産業の振興と景観の模範づくりを目指す。 ・ 街道景観：視点場においては、地場産品の販売などを促進し、かつ、観光情報を提供し町内他地域への誘導を行うことで、観光経済の活性化を図る。良好な景観ポイントでの休憩所等の整備を進める。ホスピタリティ（おもてなし）の向上を図る。 ・ 丘陵・田園景観：農業と観光の連携を図る。（グリーンツーリズム・地元食材での料理）駐車場と視点場の分離による良質な視点場づくりを行う。 ・ 市街地景観：観光集客を市街地内に取り込み、市街地の活性化を図るためには、「北国」「田園」「十勝岳」という上富良野郊外の観光イメージを大事にして観光客を落胆させない工夫をこらす。
町民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客も町民も憩えるまちづくり：待ち合わせ場所や休憩場所などのちよつとした空間への配慮を行う。飲食店や観光施設でのオープンテラスなど景色を楽しめる空間づくりを行う。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民等と行政の連携：上富良野町の景観は、町だけでなく、町民・事業者との協働で作られられるもの。町民一人ひとり、事業者一つ一つが景観に関心を持ち、自ら景観向上に積極的に努めるとともに、互いに協力しあっていくことが重要であり、町は景観に関する情報の発信や景観を学び、話し合う機会づくりや町民活動への支援などに取り組む。 ・ （再掲）街道景観：視点場においては、地場産品の販売などを促進し、かつ、観光情報を提供し町内他地域への誘導を行うことで、観光経済の活性化を図る。良好な景観ポイントでの休憩所等の整備を進める。ホスピタリティ（おもてなし）の向上を図る。

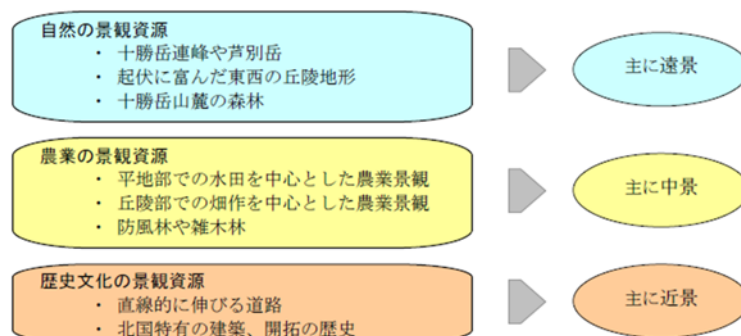


図 2-6 上富良野の景観要素

(出典) かみふらの景観づくり計画

(7) 上富良野町公共施設等総合管理計画（2016～2035 年度）

上富良野町公共施設等総合管理計画は、公共施設等の適切な規模、あり方を検討し、公共施設等の機能を維持しながら、効率的・効果的な公共施設等の配置、管理を行っていく指針となるもの。

上富良野町が所有する財産のうち、庁舎・学校・集会施設などの公共施設（50 m²以上）及び道路、上下水道などの生活基盤となるインフラ施設などを対象としている。

公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針として、施設の整備については、原則として施設の複合化・集約化、廃止・統廃合を行うものとしている。

(8) 第 2 次上富良野町定住移住促進計画（2019～2023 年度）

第 2 次上富良野町定住移住促進計画は、将来にわたって地域での安定的で豊かな生活を継続させるため、町内在住者の定住意識を高めることにより人口流出を抑制するとともに、町外居住者の移住意欲を刺激し人口流入・定住化を促していくための各種施策を定めたもの。

「町民がずっと住み続けたいと思えるまちづくりの延長線上に、町外からの移住がある」を基本方針としている。

表 2-9 複合拠点施設と関連する記述・施策等

切り口	関連施策等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある産業・働く場所づくり：中小企業等が行う新規開業、新事業展開、特産品開発に対する助成を通じ、新たな雇用を創出。 ・ 町の魅力にふれる機会の創出：「十勝岳ジオパーク構想」を通じ、本町の良質かつ貴重な自然環境、稀有な歴史などを伝える取組。全国的に利用者が増加しているふるさと納税制度を活用し、特産品をはじめ、まちの資源を広くアピール。町内で開催される各種イベントへの支援を通じ、町外から本町を訪れる機会を創出。
町民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代への支援：時間外保育事業、一時預かり事業、子育て援助活動支援事業、放課後児童健全育成事業などを通じ、保護者の負担軽減を図るとともに、児童の良好な養育・成長環境を提供。 ・ ターゲットの明確化と移住を実現するシステムづくり：移住に向けて重点的にアプローチする対象を現役世代とし、仕事を中心としたマッチングの仕組みづくり、「住まい」「仕事」「暮らし」を組み合わせた移住体験プログラムの導入について検討。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住ニーズの把握と適切な情報発信：移住に関するホームページや雑誌の広告掲載などの情報発信ツールにおいて、本町での生活を具体的にイメージし「行ってみたい」「住んでみたい」と思えるような内容に充実。ワンストップ相談窓口（企画商工観光課企画政策班）において庁内関係部署、各関係機関・団体との連携を密にし、仕事や住環境、福祉施策など、求められる多様な情報の整理と一元化、的確な提供。

2-2 上富良野町内の既存関連施設等の整理

2-2-1 既存関連施設の整理

産業振興、町民交流、情報発信等に関連する上富良野町内の公共施設・観光施設は以下の通りとなっている。

表 2-10 上富良野町内の既存施設（公共施設①）

分類	施設名/住所	設置年	機能
スポーツ	社会教育総合センター(緑町分館)/ 緑町1丁目9番4号	昭和62年	アリーナ、コミュニティ
	武道館/1丁目9番4号	平成6年	剣道場・柔道場・弓道場
	運動公園野球場/丘町1丁目1番	昭和52年	面積9,000平方メートル、両翼91 m×センター113m
	B&G海洋センター/緑町1丁目9番4 号	平成2年	一般用6コース25m・幼児用1 0m×6m・温水設備有
	運動公園 テニスコート/丘町1丁目 1番	昭和52年	クレーコート3面・全天候型3面・ (夜間照明設備5面)
	日の出スキー場/東1線北27	昭和60年	リフト
教育・文化	上富良野町図書館ふれんど/富町1丁 目3番25号	平成17年	閲覧室、読み聞かせ室
	上富良野町公民館/富町1丁目3番 25号	昭和46年	多目的ホール・会議室3・調理室・ 和室2
	上富良野町郷土館 /富町1丁目3番 30号	昭和53年	旧上富良野村役場庁舎をモデル、 上富良野の歴史と十勝岳爆発など
	上富良野町開拓記念館/西3線北28 号	平成9年	吉田貞次郎邸の一部を移築（十勝 岳噴火資料、吉田貞次郎資料、 100年の歴史年表、田中常次郎と 開拓資料）
福祉	保健福祉総合センター（かみん）/大 町2丁目8番4号	平成16年	保健福祉課、社会福祉協議会、訪 問看護ステーション、デイサービスセン ター
	子どもセンター/大町3丁目2-22	昭和48年	子育て支援センター、発達支援セン ター、児童相談支援センター、ファミ リ・サポート・センター
産業	農産物加工実習施設/丘町4丁目 4528-7	昭和44年	農産加工室、畜産加工室、研修室
	セントラルプラザ/中町1-8	平成2年	上富良野町商工会、かみふらの十勝 岳観光協会

表 2-11 上富良野町内の既存施設（公共施設②）

分類	施設名/住所	設置年	機能
農村地区 交流拠点	上富良野町公民館清富分館（清富多世代交流センター）/松井牧場	平成19年	学習室A～E・多目的ホール・講堂・屋外運動場
	上富良野町公民館日新分館/日新	昭和54年	集会室2（10畳・12.5畳）・作業室・調理室・図書室
	上富良野町公民館草分分館（防災センター）/西3線北28号	平成2年	集会室・研修室2（12畳・24畳）・会議室・厨房
	上富良野町公民館里仁分館/西11線北34号	平成21年	集会室(30畳)・和室(17.5畳)調理室
	上富良野町公民館江幌分館/西9線北29号	昭和50年	集会室（20畳）・調理室・研修室（10畳）・作業室
	上富良野町公民館江花分館/西5線北23号	平成15年	厨房（12.5畳・和室（14畳）・集会室（33畳）
	上富良野町公民館日の出分館（日東会館）/本町6丁目	昭和57年	休養室（25畳）・学習室・保育室・集会室・調理実習室
	上富良野町公民館島津分館/富町1丁目3番25号	昭和46年	多目的ホール・会議室3・調理室・和室2
	上富良野町公民館旭野分館/十人牧場	昭和55年	集会室2（12.5畳・15畳）・作業室・調理室・図書室
	上富良野町公民館富原分館/東3線北23号	平成5年	集会室（10畳）・厨房・和室（33畳）・会議室
	上富良野町公民館東中分館（東中会館）/東8線北18号	昭和51年	休養室（36畳）・学習室・保育室・集会室・調理実習室・図書室
	清富多世代交流センター/松井牧場	平成19年	学習室A～E・多目的ホール・講堂・屋外運動場
広場	社会教育総合センターコミュニティ広場/緑町1丁目9番4号	昭和62年	ラグビー・サッカー・パークゴルフ
	東中コミュニティ広場/東8線北18号	平成4年	パークゴルフ・ゲートボール
	富原コミュニティ広場/東3線北23号	平成5年	ゲートボール
	草分コミュニティ広場/西3線北28号	平成4年	パークゴルフ
	江花コミュニティ広場/西5線北23号	昭和56年	パークゴルフ
	江幌静修コミュニティ広場/西9線北29号	平成13年	ゲートボール
	日東コミュニティ広場/本町6丁目	平成6年	ゲートボール
	運動公園 多目的広場/丘町1丁目1番	平成6年	サッカー場・ちびっこ広場・健康広場
	運動公園 ジョギングコース/丘町1丁目1番	平成6年	
	ゲートボール場/本町6丁目	平成14年	ゲートボール場 6面
	島津球場/富町1丁目4番	昭和51年	
学校開放体育館/各学校の住所	昭和52年	上小、西小、東中小、上中	

表 2-12 上富良野町内の既存施設（観光施設①）

分類	施設名/住所	施設の概要
ラベンダー・花	日の出公園 /東1線北27	スキー場 ・管理：上富良野町役場 ・利用：12月下旬から3月上旬 ・設備：リフト、休憩所、公衆電話、自動販売機 ・料金：1日券が子供500円、大人1000円 オートキャンプ場 ・管理：富良野振興公社 ・利用：4月下旬から10月下旬 ・設備：コテージ、売店、コインランドリー ・料金：入場料1人500円、駐車場有 日の出ラベンダー園 ・管理：上富良野町役場（電話番号より） ・見頃：6月下旬から8月上旬 ・施設：展望台（1987年建設）、無料駐車場 ・概要：小高い丘の上に位置するラベンダー園。展望台の西側にラベンダー畑、東側には十勝連峰が広がるビューポイント。 ・料金：入場料無料
	深山峠ラベンダーオーナー園/西9線北34号線	・管理：かみふらの十勝岳観光協会（電話番号より） ・施設：展望台、観覧車、レストハウス ・見頃：7月中旬から7月下旬 ・概要：十勝岳を背景にヨーロッパの風景を想わせる丘陵地帯にラベンダーが美しく咲く。近くにはトリックアート美術館、レストランもある観光スポット。 ・利用：入場料無料
	かんのファーム/西12線北36号 美馬牛峠	・施設：ラベンダー畑、売店 ・概要：上富良野町と美瑛町の境界にある丘の農園。ラベンダーの他、数10種類の花々を栽培。 ・利用：6月中旬～10月中旬 ・料金：入館料無料
	ファーム富田 ラベンダーイースト/東6線北16号	・施設：ラワレの舎、展望デッキ、風香る丘 ・概要：日本最大級のラベンダー畑。香料作物としての生産のための畑として、水田だった土地を整備し、ラベンダーを植栽している ・利用：定休日は8月～6月 ・料金：入場料無料 ・見頃 7月中旬
	フラワーランドかみふらの/西5線北27号	・施設：花畑、団体用食事処、食事処なの花、ラベンダー製品手作り体験工房 ・概要：雄大な十勝岳を背景にして、広大な花畑にたくさんのお花が色とりどりに次々と咲き誇り美しい風景を楽しめる。 ・利用：12月～2月休業、花畑は6月1日～9月30日 ・料金：入館料は無料
直売所等	かみふらの見晴台情報ステーション・花のえ 野菜直売所/光町3丁目	・施設：観光案内所、休憩所、直売所 ・概要：無料観光案内所として富良野沿線の市や町のパンフレットがあり、ラベンダー製品の販売も行っている。 ・利用：5月上旬から9月下旬まで営業
	ふらの 香りの舎/東4線北26号	・施設：野菜の直売所 ・概要：富良野産の農産物、お土産品の販売。アスパラ、メロン、とうもろこし、じゃがいもなど富良野産のおいしい野菜を届けている。 ・利用：4月～10月は無休で営業、11月～3月は冬季休業

表 2-13 上富良野町内の既存施設（観光施設②）

分類	施設名/住所	施設の概要
アート・観光施設	土の館/西2線北25号	<ul style="list-style-type: none"> 施設：第1展示場、第2展示場、トラクタ博物館 概要：創業から変わらぬ理念と、農業の素晴らしさ、土と人間との関わりの大切さをひとりでも多くの人に知って頂き、土をとりまく自然環境や食べ物大切さを共に考えていく場として設立。 利用：9月1日～6月30日は土・日・祝祭日、年末年始休み 料金：入館料無料
	深山峠アートパーク/西8線北33号深山峠	<ul style="list-style-type: none"> 施設：トリックアート美術館、深山アイス工房、十勝岳ストリートビュー観覧車、アート体験コーナー、パーベキュー、パン工房、物産展、深山ギャラリー、地域アンテナショップ 概要：体験型ミュージアムであり、トリックアート美術館を中心に、物産展、観覧車など、遊び心が詰まった複合施設。 利用：トリックアート美術館（4月～11月31日） 物産店、アート体験工房（4月～9月30日） 観覧車（4月～10月31日） 料金：入館料無料、美術館入館料、観覧車料金別途
	後藤純男美術館/東4線北26号	<ul style="list-style-type: none"> 施設：第1～6展示室、素描展示室、アトリエ、ミュージアムショップ、資料室、十勝岳展望テラス、レストラン 概要：現代日本画壇を代表する画家、後藤純男画伯が純金やラピスラズリなどの天然岩絵具で描く色鮮やかな作品を約130点展示する美術館。横幅14mの超大作『雲海黄山雨晴』など中国を描いた作品の他、日本の大和路、北海道を描いた大作を展示している。 利用：休館12月29日～1月3日 料金：入館料は大人1080円、小人540円
	ノースランドギャラリー/西7線北33号深山峠	<ul style="list-style-type: none"> 概要：丘をはじめとする美瑛・富良野の魅力あふれる景色を独自の感性で表現した写真の作品展示。風景写真をはじめ雑誌等に多数作品掲載。 利用：11月～5月休館 料金：入館料無料
	ウッディ・ライブアートステージ ピラミッド風の丘/西9線北34号 深山峠	<ul style="list-style-type: none"> 概要：義手の大野勝彦の詩画70点、伊藤剛・中村謙の上富良野・美瑛の悠久の写真60点、濱本ファミリーが33年間、国内外採集した貝殻標本10,000点、夢と笑いの貝殻アート作品2,000点展示。 定休日は不定休 高校生以上500円

2-2-2 町内の飲食・小売施設及び観光・体験施設等の立地状況

飲食・小売施設の多くは市街地エリアに多く、深山峠エリアや農村部にも分散して立地している。観光・体験施設は、町内に分散しており、国道沿いに多く立地している。宿泊施設は、市街地、農村エリア、温泉地に分散して立地している。

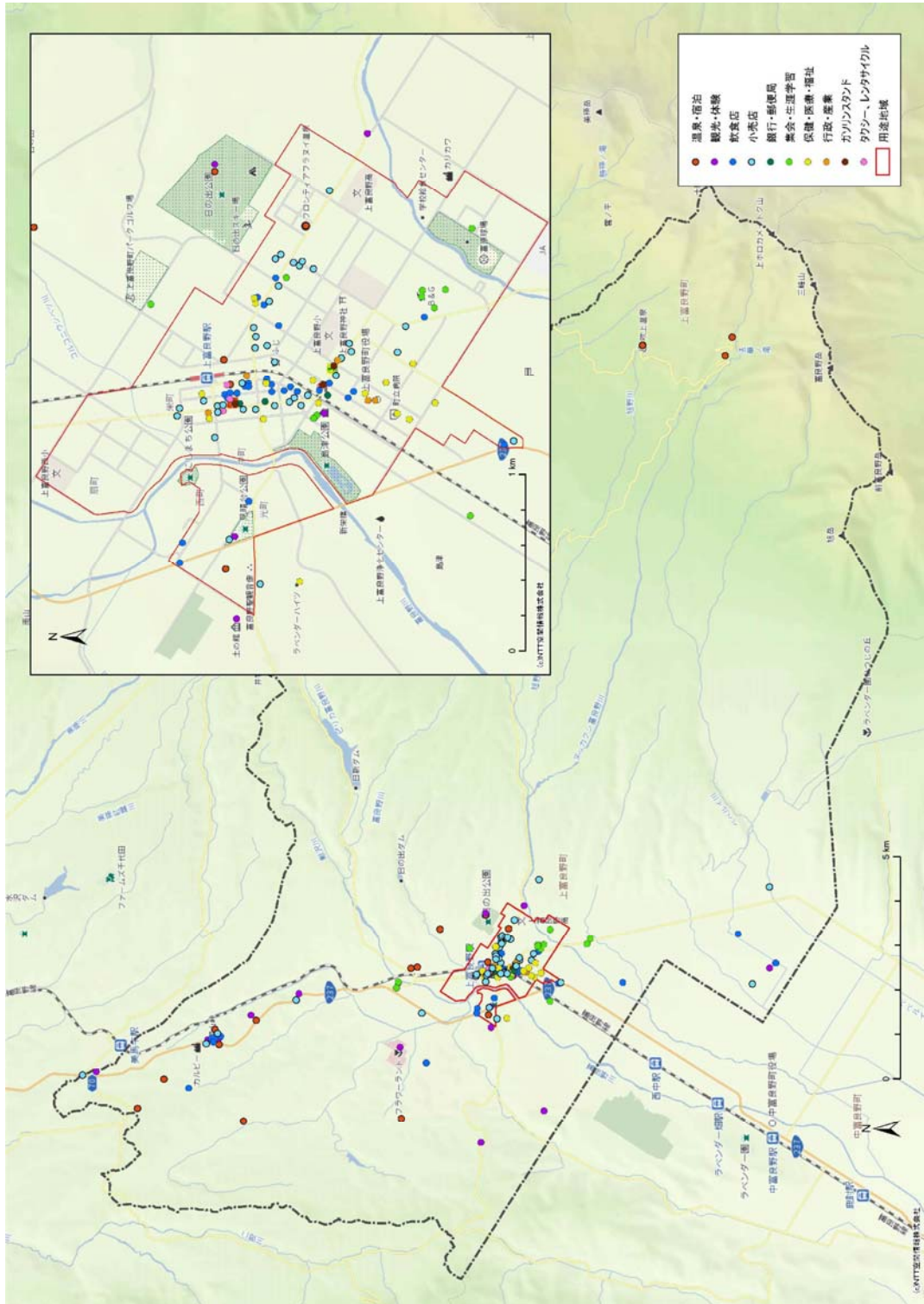


図 2-7 飲食・小売施設及び宿泊施設等の立地状況

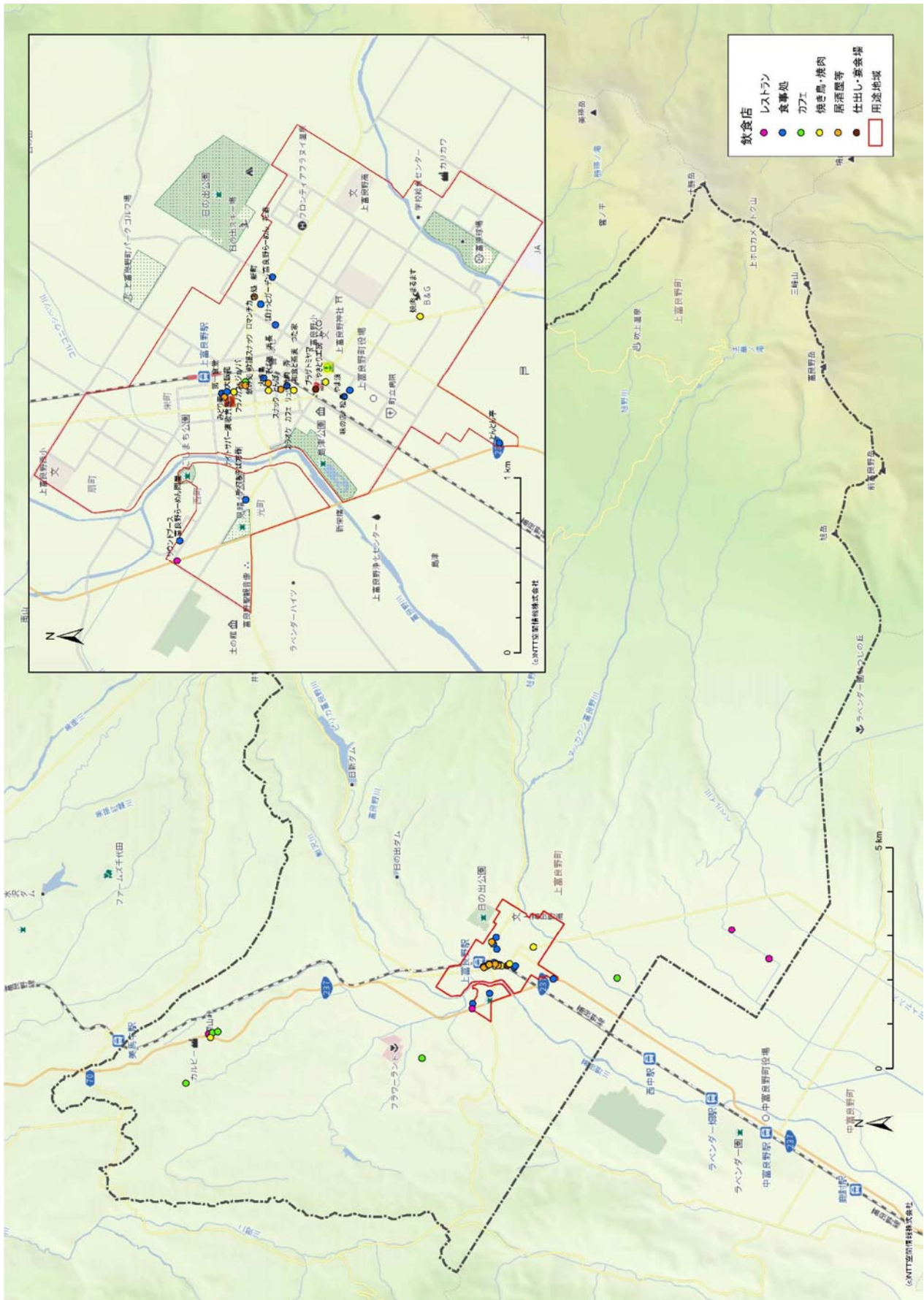


図 2-8 飲食施設の分類別立地状況

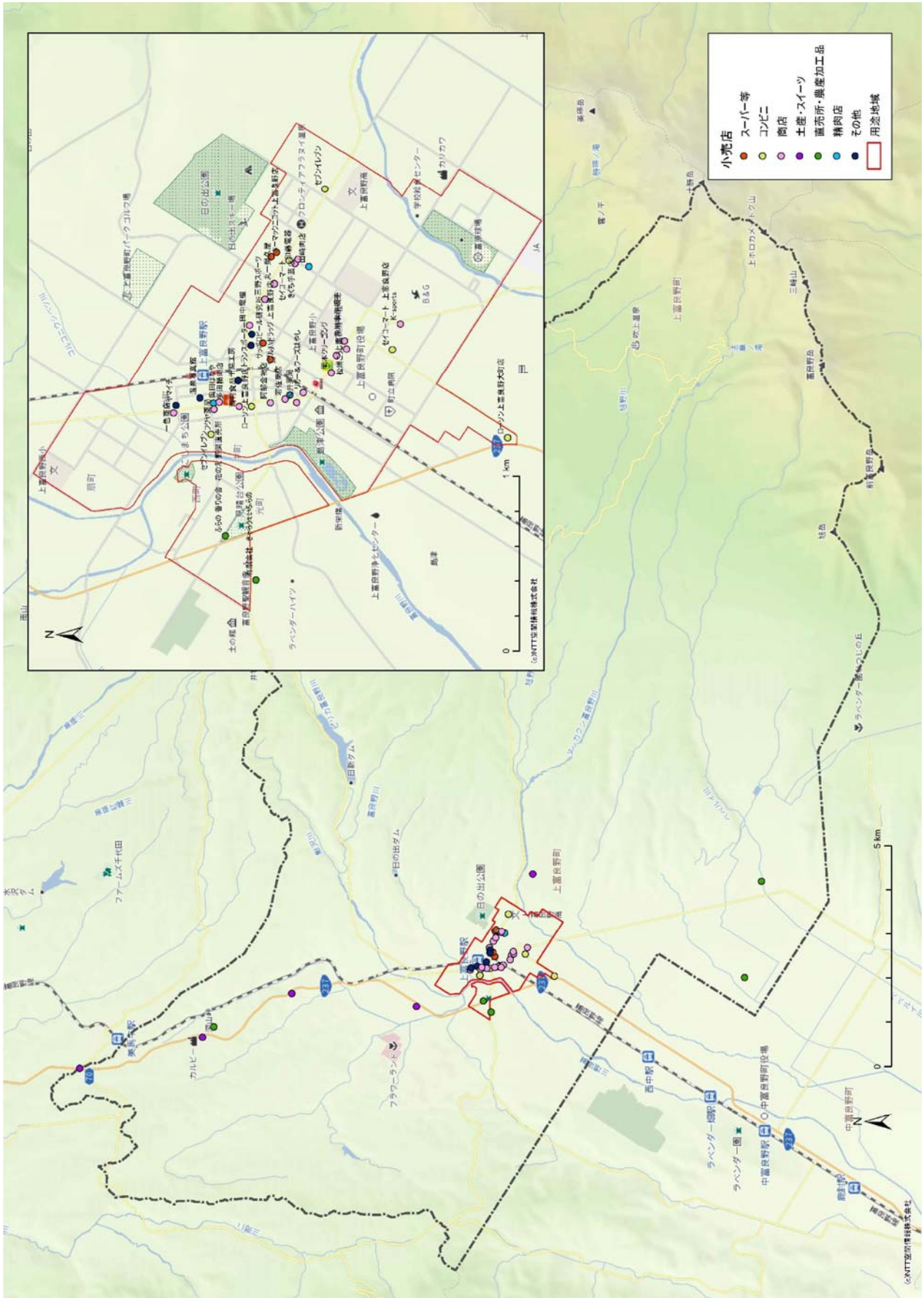


図 2-9 小売施設の分類別立地状況

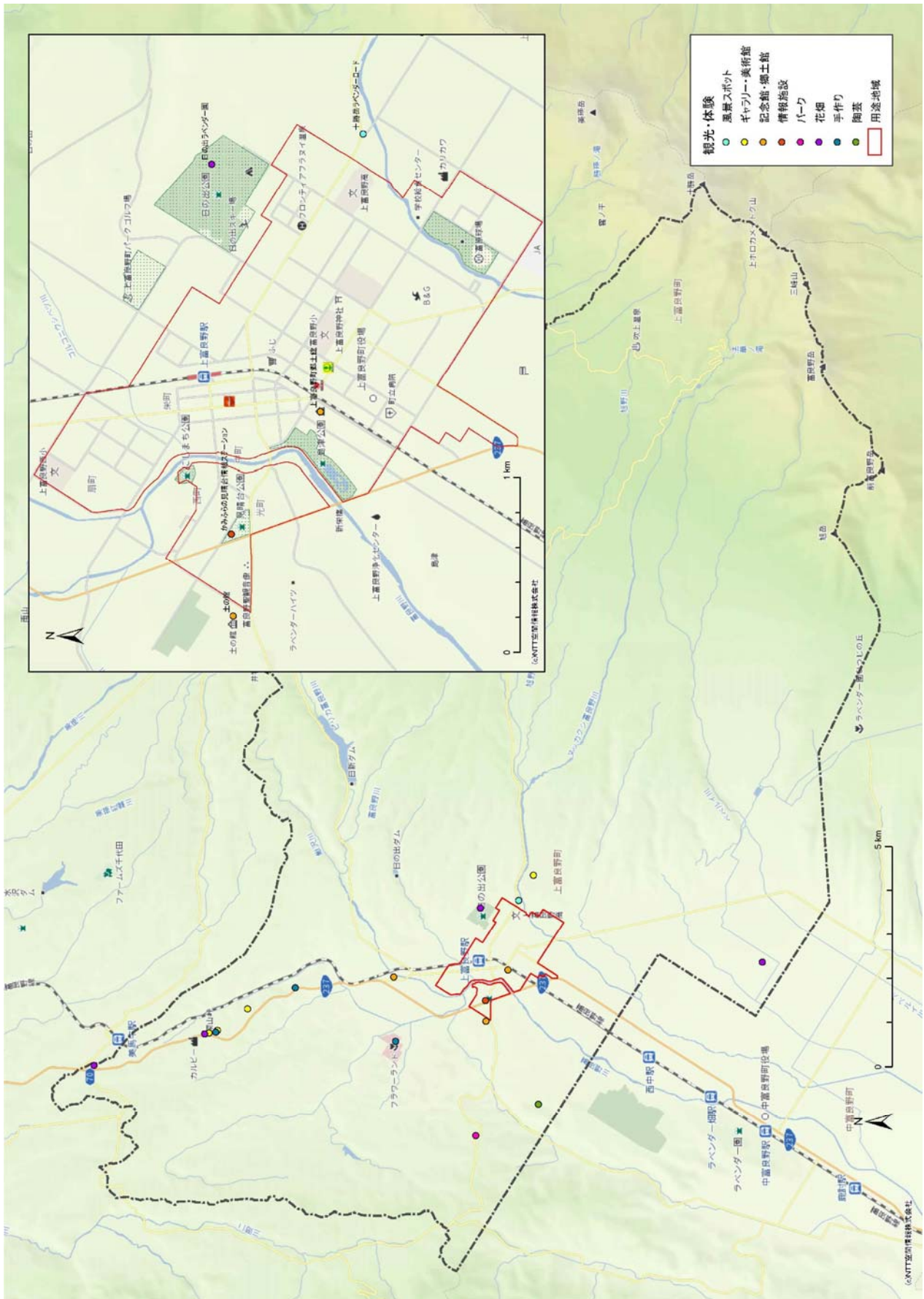


図 2-10 観光・体験施設の分類別立地状況

2-2-1 現在の上富良野町の商業・観光の特徴・課題

現在の上富良野町の商業・観光の特徴や課題について、商業・観光関連団体へのインタビュー結果をもとに整理する。

表 2-14 商業・観光の特徴・課題

観光客の特徴	観光客（外国人）が増えている
	駅で降車する観光客は、日の出公園・十勝岳・後藤純男美術館に行っている
	十勝岳温泉エリアでは、1・2月はヨーロッパからのバックカントリースキーヤーが多く、上川エリアを点々としている
	十勝岳温泉エリアに来た客は街の中に行かない（行けない）
特産品販売	上富良野の特産品を集めて売っている拠点がない
	上富良野ポークなどの特産品は、町民の手には届きにくい
	商品の販売規模が拡大すれば、現在の製造能力では生産が追い付かない可能性がある
	フジスーパーで買い物をしている旅行者が多い
	中茶屋は空き店舗を活用し NPO たんぽぽが平成 13 年から運営している施設で、農産物や趣味で作っている作品を販売しており、2～30 軒の事業者が入っている
	農業ではフラノマルシェに出品している人も多い
飲食業	飲食店の売上は上向きだが、数は減少している
	観光客による入込などの影響で、観光客向けのお昼の食事処は増えているが、スナックなど夜の飲食業は減少している（カフェやラーメンなどの店舗が東中地区に増えている）
	夜遅くまで食事できる所がない
	家族連れで夜に行ける地元の飲食店が少ない（飲み屋しかない）
	多言語化メニューの作成は、商工会で年に 5 軒くらいずつサポートしている
	地元の食堂は外国人にアットホームで人気があり、客がツイッターで発信している
	従業員は雇えず、後継者もいないので自分の代までという経営者が多い
宿泊	まちなかの宿泊施設が不足している
	観光客にはまちなかよりも、ロケーションのよい郊外の人気が高い
	キャンプ場も賑わっている
雇用	パートの雇用が不足している、ハローワークに出しても効果がない
イベント等	美瑛・富良野のエリア一体で、ご当地グルメカレーの取組を行った
	商工会の横のテントスペース（200 人程度収容、常設、夏期のみ）は、焼き肉やビアガーデンで町民に利用されている
	商工会でスタンプラリーはやっていないが、飲食部会でクーポンの配布やはしご酒などの企画を行ったことがある

2-3 上富良野町の来訪者特性

2-3-1 上富良野町及び周辺エリアの観光入込状況

上富良野町及び周辺エリアの観光入込数の推移をみると、上富良野町よりも観光入込が多い市町村（美瑛町、富良野市、占冠村、東川町、中富良野町）は、増加傾向であるのに対して、上富良野町は減少傾向となっており、周辺エリアと比較して集客力に課題がみられる。

また、外国人宿泊客の延べ数の推移をみると、上富良野町でも増加傾向にあるが、占冠村や富良野市、美瑛町など周辺の市町村に比べると外国人宿泊客数は少ない。

道外客と道内客の割合をみると、道外客の割合が45%と北海道全体と比較して高くなっている。

日帰り客と宿泊客の割合をみると、富良野市と占冠村を除いて、上富良野町及び周辺エリアでは宿泊客の割合が北海道全体と比較して低くなっており、エリア内での宿泊客に偏りがみられる。

月別の観光入込の状況をみると、中富良野町が突出して季節変動が大きいものの、上富良野町においても夏季の入込に比べて冬季の入込が非常に少なく、季節変動が顕著である。

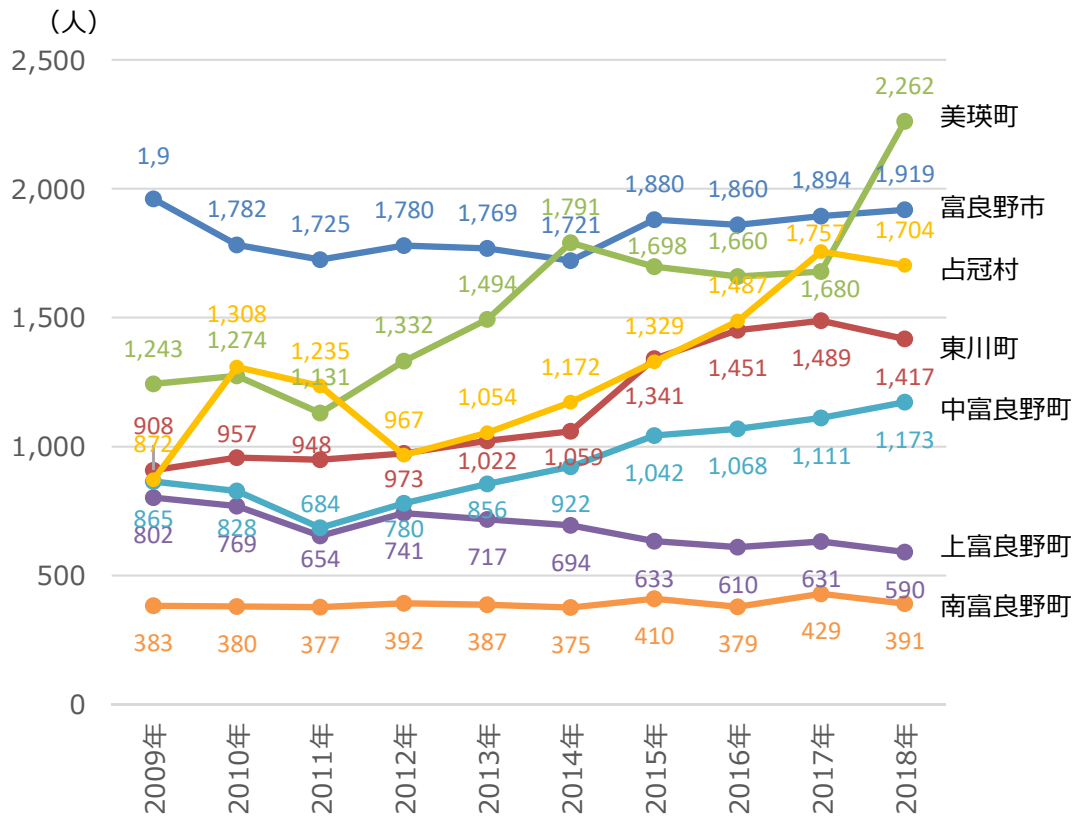


図 2-11 観光入込客数の推移

(出典) 北海道観光入込客数調査報告

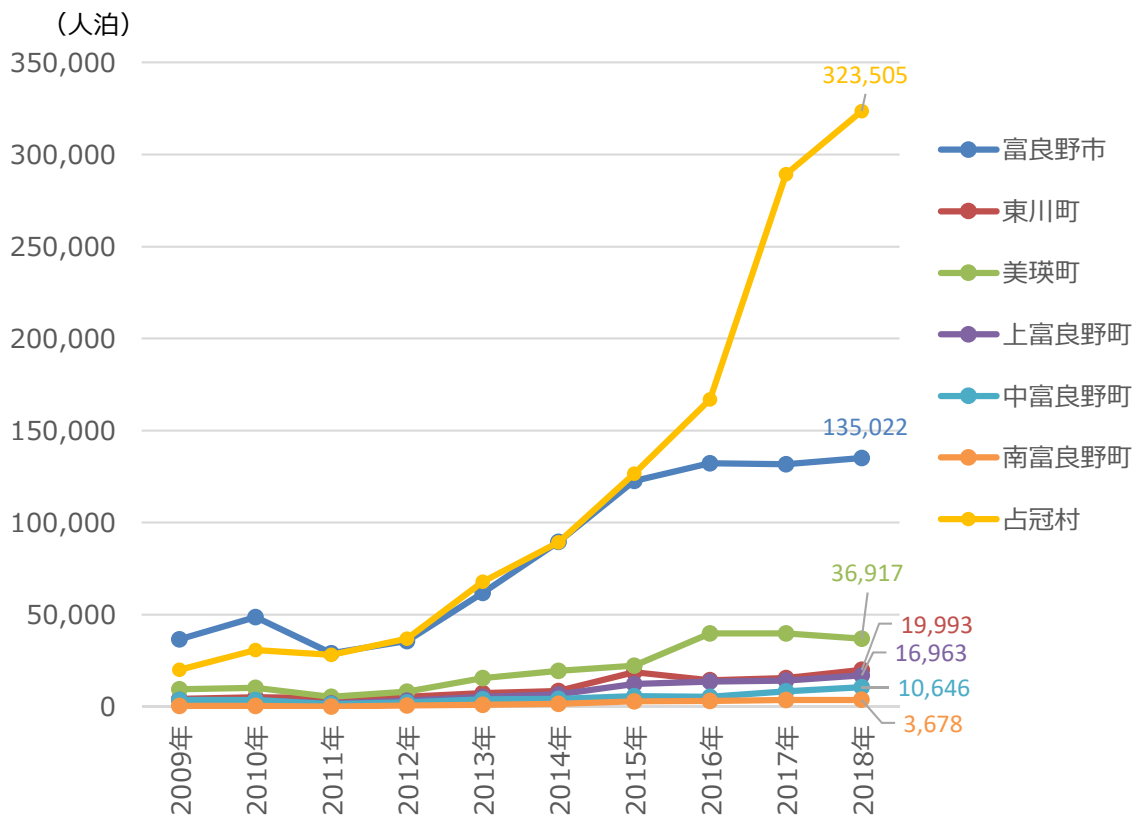


図 2-12 外国人宿泊客の延べ数の推移

(出典) 北海道観光入込客数調査報告

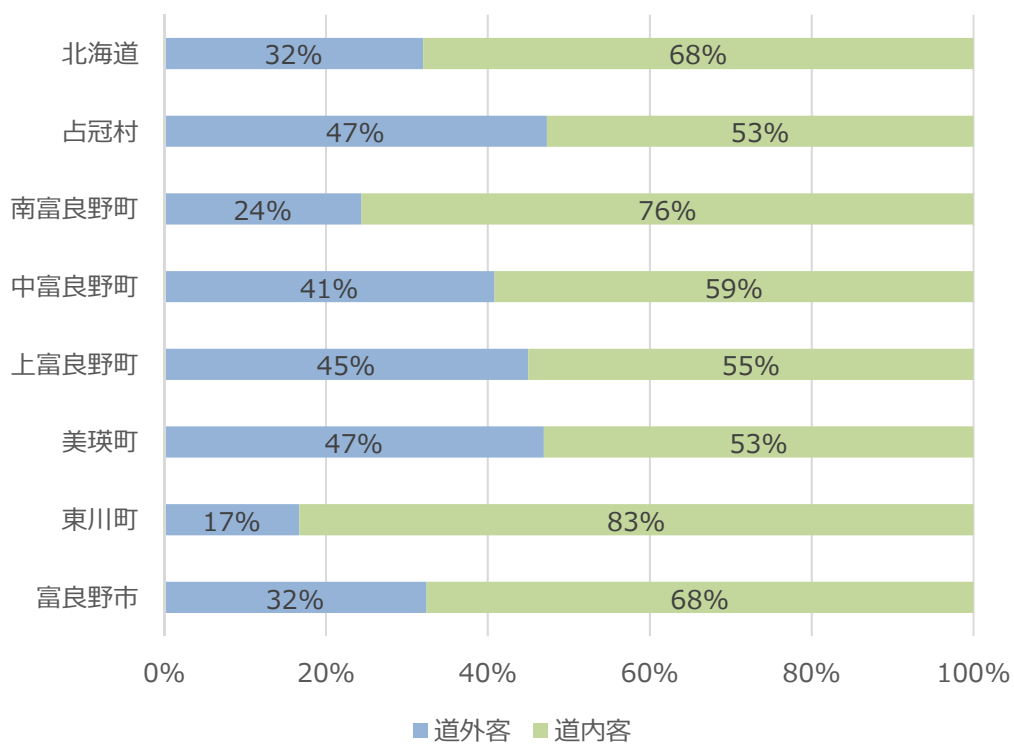


図 2-13 道外客・道内客の割合

(出典) 北海道観光入込客数調査報告 (2018 年)

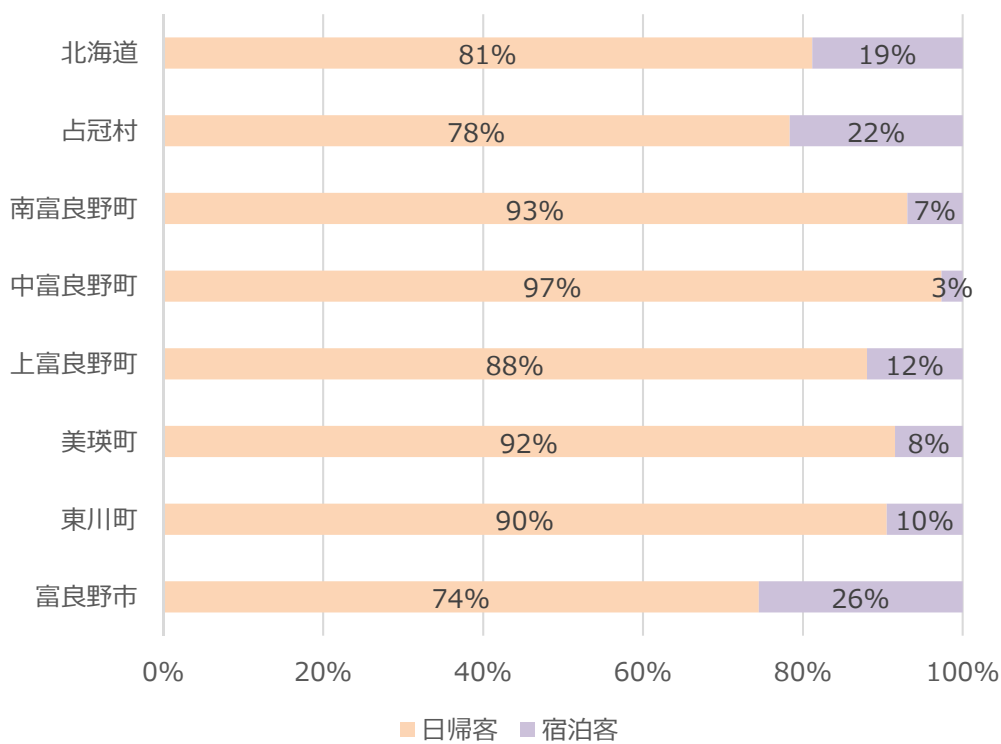


図 2-14 日帰客・宿泊客の割合

(出典) 北海道観光入込客数調査報告 (2018 年)

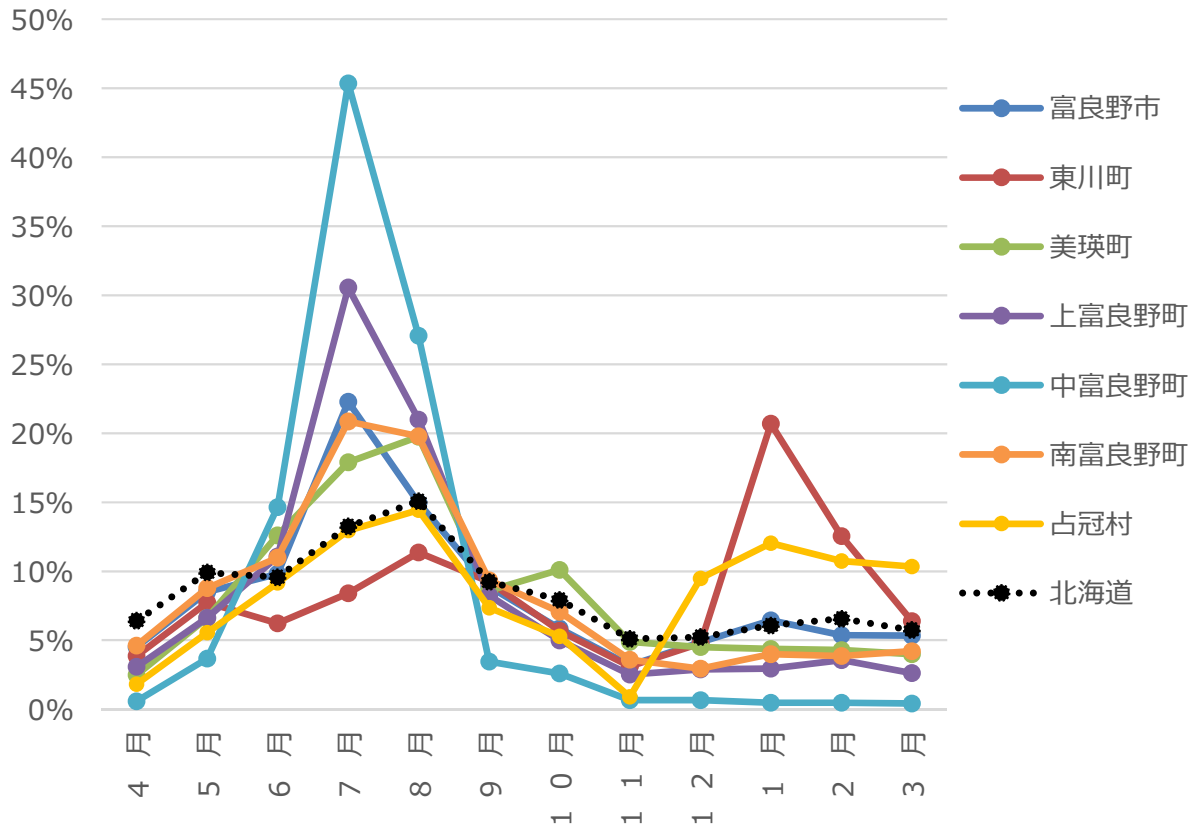


図 2-15 月別観光入込客比率 ※

(出典) 北海道観光入込客数調査報告 (2018年)

※月別の観光入込客数を年間の観光入込客数で除したもの

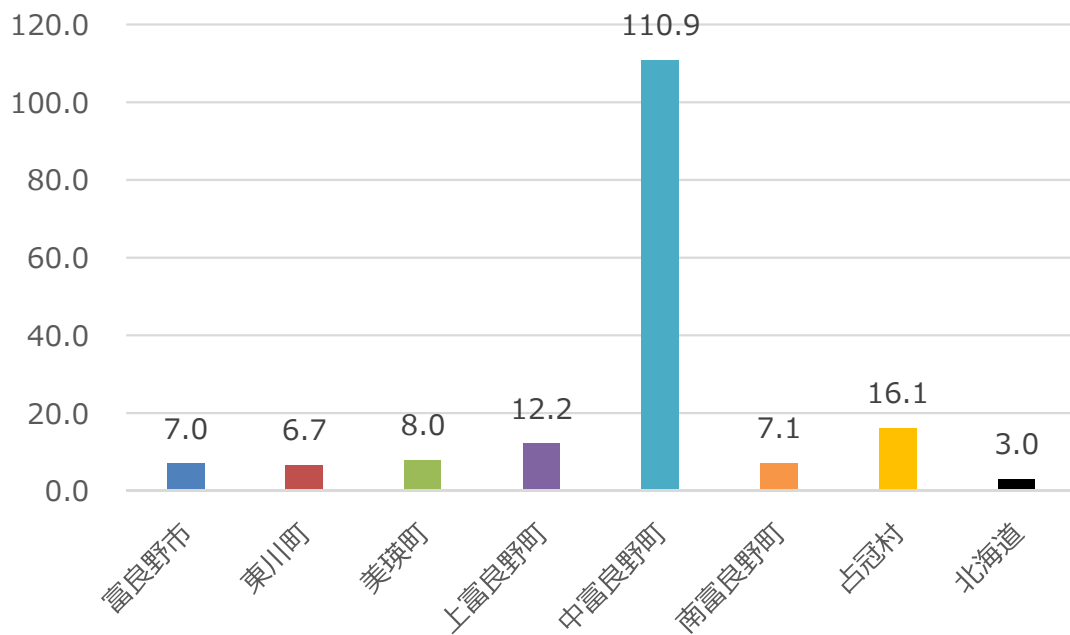


図 2-16 観光入込客数のピーク・オフピーク比率 ※

(出典) 北海道観光入込客数調査報告 (2018年)

※ピーク月の観光入込客数をオフピーク月の観光入込客数で除したもの

2-3-2 上富良野町のイベントの状況

上富良野町で開催されている主なイベントは以下の通りとなっている。町内外からの集客が見込まれるイベントは7月に開催される「花と炎の四季彩まつり」で、約12,000人が参加している。

表 2-15 上富良野町内の主なイベント

イベント名	時期	場所	運営	集客数 (H29)
かみふらの雪まつり	2月	日の出公園	上富良野町役場	2,500人
十勝岳山開き	6月	十勝岳	かみふらの十勝岳観光協会	95人
花と炎の四季彩まつり	7月	日の出公園 市街地公道	上富良野町商工会	12,000人
十勝岳紅葉まつり	9月	見晴台公園 十勝岳温泉	かみふらの十勝岳観光協会	2,813人
北の大文字	年末	日の出公園	上富良野町商工会	1,200人

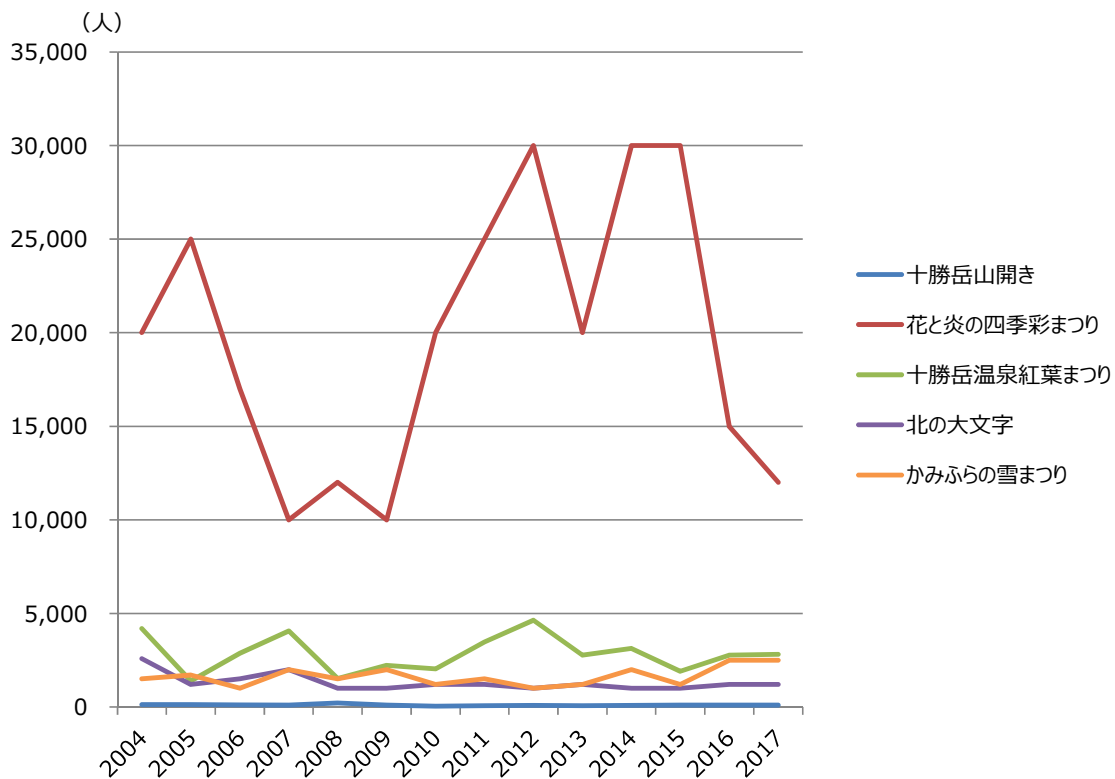


図 2-17 主なイベントの入込数推移

2-3-3 施設周辺の交通量

施設が立地する可能性のあるエリアにおける交通量の状況を整理する。小型車の24時間交通量を見ると、国道237号で7316台、吹上上富良野線と上富良野停車場線で1304～3424台と比較的交通量が多くなっている。

表 2-16 施設立地エリアの交通量

路線名等		昼間 12 時間自動車類交通量 (上下合計)			24 時間自動車類交通量 (上下合計)		
		小型車	大型車	合計	小型車	大型車	合計
①	一般国道237号	6029	321	6350	7316	445	7761
②	一般国道237号	6029	321	6350	7316	445	7761
③	吹上上富良野線	1093	345	1438	1304	422	1726
④	吹上上富良野線	2866	664	3530	3424	883	4307
⑤	上富良野旭中富良野線	990	490	1480	1207	569	1776
⑥	上富良野停車場線	2629	570	3199	3129	774	3903
⑦	上富良野停車場線	2629	570	3199	3129	774	3903
⑧	上富良野停車場線	2629	570	3199	3129	774	3903
⑨	留辺蕊上富良野線	849	166	1015	991	217	1208
⑩	留辺蕊上富良野線	849	166	1015	991	217	1208

(出典) 2015年交通センサス



図 2-18 施設立地エリアの道路状況

第3章 広域的なエリアにおける類似施設の調査



3-1 上川エリアの類似施設

3-1-1 観光施設

(1) インフォメーションセンター道草館

産業の振興と情報提供及び住民コミュニティの向上を助けるために作られた施設で、東川町の観光や農業、商工業情報の発信施設となっている。

表 3-1 インフォメーションセンター道草館の概要

場所	東川町東町1丁目1番15号
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：24時間トイレ、特産品展示販売コーナー、コミュニティホール、会議室、研修室、インフォメーション・ 2001年オープン
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 道の駅にも指定され、24時間トイレ、特産物を販売する売店もある。・ コミュニティホールや会議室を借りて、ギャラリーや打合せ場所として利用できる。（有料で一般と町民の区分あり）・ インフォメーションセンターとして設置しているため、レストランなど飲食機能はなく、周辺の飲食店を紹介している。・ 特産品展示販売コーナーは観光協会の会員が出店しており、農産物、農産加工品、クラフト、パン、ポストカード、日用品・飲料・菓子類、手作り雑貨などが販売されているほか、野外テントで生鮮品が売られている。・ 2012年に道の駅に隣接してアウトドアショップ「モンベルひがしかわ店」がオープンした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>

(出典) 東川町観光案内ホームページ、一般財団法人北海道道路管理技術センター「北の交差点」(第34号)

(2) 道の駅びえい 丘のくら

市街地商店街振興の中核として特産物展示販売や美瑛町食材を使用した食堂を備えた、町民と観光客が集える交流施設となっている。

表 3-2 道の駅びえい 丘のくらの概要

場所	美瑛町本町 1 丁目 9-21
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：軽食・レストランコーナー、特産品販売コーナー、イベントスペース、農畜産加工体験コーナー、ホテル、レストラン・ 2007 年 3 月に道の駅として登録・ J R 美瑛駅より徒歩 3 分の立地
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 大正初期に建設された美瑛軟石づくりの石倉庫を改装した建物で、内装には美瑛産カラマツを使用している。・ 美瑛産にこだわったソフトクリームやコロッケなどの軽食、農産加工品や町内にアトリエを持つ方々の作品を販売している。・ 2 階部分はイベントスペースとなっており、写真展や個展などが定期的で開催されている。・ 丘のくら横に宿泊施設「ホテル・ラヴニール」が併設されている。加工体験コーナーもあり、前日までの予約でパン作りやアイスクリーム作りなどが体験できる。 <div data-bbox="357 1120 1350 1462">The image block contains two photographs. The left photograph shows the exterior of the building, a large stone structure with a gabled roof and a small window, identified as a former granary. The right photograph shows the interior, which is a well-lit shop with wooden accents, featuring a counter, shelves of products, and a curved metal structure, possibly a display or part of the kitchen area.</div>

(出典) 道の駅びえい公式ホームページ、北の道の駅ホームページ

(3) 道の駅びえい 白金ビルケ

美瑛町の「美しい丘の観光情報」、十勝岳近郊の「山岳地域の観光情報」や「十勝岳火山エリア情報」を発信するとともに大雪山国立公園に面した地域の魅力を発信し、広域観光を推進するとともに、サイクリングや登山等のニューツーリズムに対応した拠点施設、レストラン、物販スペースにおける特産品提供による地域の魅力発信のために作られた施設となっている。

表 3-3 道の駅びえい 白金ビルケの概要

場所	美瑛町字美瑛原野 7514-1
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：パークゴルフ場、ドッグラン、キャンピングカーサイト、芝生広場、インフォメーションセンター、レストラン、お土産店 ・ 2018年5月オープン ・ JR美瑛駅より徒歩3分の立地
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白金ビルケの森インフォメーションセンターをリニューアルして、美瑛町の二つ目の道の駅としてオープンした施設。 ・ 白金エリアをはじめとした美瑛町全体の情報発信を行うほか、シャワールームの設置、アウトドアブランドの販売、美瑛町の食材を使用したハンバーガーショップなどが入っている。 ・ 80インチ大型モニターによる観光情報の提供や、VRを使った美しい映像等も楽しめる。
	 

(出典) 道の駅びえい公式ホームページ、北の道の駅ホームページ

(4) フラノマルシェ

富良野市民が「地元の食文化（食べること・作ること）」を楽しむための空間であり、大勢の市民が集い、語り、このまちに生きる楽しさと豊かさを享受する市民の憩いの場、さらに観光客や日々の交流者を街中へといざなう「おもてなしの拠点」として整備された活性化施設で、富良野を知る、まちの情報発信基地として利用されている。

表 3-4 フラノマルシェの概要

場所	富良野市幸町 13 番 1 号
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：カフェ、パン屋、農産物直売所、物産センター、イベント広場 ・ 2010 年 4 月にフラノマルシェがオープン、2015 年 6 月にフラノマルシェ 2 がオープン ・ ふらのまちづくり株式会社が運営
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラノマルシェは 3 棟からなり、ファーマーズマーケット オガール、スイーツカフェ サポール、富良野物産センター アルジャン、テイクアウトショップ フラディッシュの 4 つのゾーンからなっている。 ・ フラノマルシェ 2 は、居住空間、アトリウム、個人商店、商業が集積された商業賑わいゾーンの 1 階部分にあたり、介護付き有料老人ホームや保育所、クリニックなどがある医療福祉ゾーンを併せ持つ市街地再開発事業として進められた。四季を通した市民・観光客の交流空間（まちの縁側＝たまり場）として、全天候型アトリウムも設けられている。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

(出典) フラノマルシェホームページ

(5) コンシェルジュプラザ

富良野の2つの商店街が交わる商業発祥の地点に、「インバウンド」「簡易宿泊」「着地型観光」をキーワードとする、富良野の「新たな情報発信とおもてなしの戦略的拠点」として作られた施設となっている。

表 3-5 コンシェルジュプラザの概要

場所	富良野市本町 2 番 27 号
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：レストラン、物産展、フリーツアーデスク、ふらの観光協会、ホテル、ラジオ局、富良野市経済部観光商工課・ 2018年6月オープン・ ふらのまちづくり株式会社が運営
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 2016年3月に閉店した旧三番館ふらの店の空き店舗ビルを経済産業省の補助事業を活用し、再生させた。・ 1階には観光インフォメーションとガイド機能を主体に、インバウンド向けスーベニアショップ & プチコンビニ、富良野の食材にこだわった農村レストラン、2階には市商工観光課、商工会議所、観光協会などのシェアオフィス、3階にはドミトリー形式と個室からなる簡易宿泊施設などを配備、地下1階、地上3階建ての戦略的複合施設となっている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>

(出典) ふらのまちづくり株式会社ホームページ

(6) 美瑛選果

食のショールームをコンセプトに、アンテナショップとして、地域全体の農産物の情報発信することを目的として作られた施設となっている。

表 3-6 美瑛選果の概要

場所	美瑛町大町 2 丁目
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：マーケット、お菓子屋、レストラン、パン屋・ 2007 年 5 月オープン・ JA びえい運営
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 従来の地方発送、お米の定期購買などの直売所機能に加え、採れたて野菜や炊き立てのお米の試食ができるコーナーを用意した、美味しさを体験できる新しいスタイルの直売所。・ 丘のふもとのアンテナショップとして、旬の生鮮品から、焼きたてのパン、加工品までいつでもいいものを買うことができる。レストランでは野菜と肉が主役のフレンチを楽しめる。・ 新千歳空港、東京都有楽町にも出店している。

(出典) 美瑛選果ホームページ、美瑛町観光協会ホームページ

(7) びえいふるさと市場

昔ながらの美瑛町農産物とこだわりの畜産物、それを原料とする加工品や、手作りパン、まんじゅうなどの軽食を販売する施設となっている。

表 3-7 びえいふるさと市場の概要

場所	美瑛町北町 2 丁目（花人公園内）
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：農産物直売所・ J R 美瑛駅より車で 5 分の立地・ 10 月末まで営業、冬期休館・ ふるさと市場運営協議会が指定管理者
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 美瑛町農畜産物、加工品、手作りパン、まんじゅうなどの軽食を販売している。・ 地方への配送も行っている。・ 駐車場も 100 台収容可能となっている。

(出典) 美瑛町観光協会ホームページ、美瑛町ホームページ

3-1-2 交流施設

(1) せんとびゅあ

チャレンジキッチン、コミュニティーカフェ、図書館など人の集う場と仕掛けづくりによって、国際交流や住民の自主的な活動など、多様な交流の拠点となる施設となっている。

表 3-8 せんとびゅあの概要

場所	東川町北町1丁目1番1号
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：コミュニティーカフェ、ギャラリー、ライブラリー、日本語学校、多目的ホール、ラウンジ、チャレンジキッチン ・ 2016年10月にせんとびゅあⅠがオープン、2018年7月にせんとびゅあⅡがオープン
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧東川小学校舎を改修して作られた施設で、旭川家具をふんだんに使用している。 ・ 東川町の多様な文化芸術活動の発信拠点施設や、災害時等の非常用施設としても利用可能な宿泊施設を併設している。 ・ 拠点を作るとともに、拠点を知ってもらうためのイベントとして地元の食材を活かし町民等を対象とした「トマトジュースづくり体験」や「豆腐づくり体験」等の企画を行う。
	 

(出典) 東川町ホームページ

(2) bi.yell

幼児から高齢者まで町民が交流できる機能と、芸術家の作品や授業や趣味などで創作された作品の展示、物産紹介など商店街地区のコミュニティの中心となる施設となっている。

表 3-9 bi.yell の概要

場所	美瑛町本町 1 丁目 5 番 8 号
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：ギャラリー、事務室、娯楽コーナー、図書閲覧コーナー、子供遊びコーナー、カフェ & バー・ 2015 年 8 月にオープン・ 敷地面積 773.98 m²・ 一般財団法人丘のまちびえい活性化協会が運営（カフェの運営は美瑛物産公社）
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 使用されていなかった既存商業施設施設がリノベーションされ、町民や観光客が気軽に利用でき、さまざまな交流の輪が広がるように設計された複合施設。・ 内装には美瑛町産カラムツが使用されている。 <div data-bbox="371 936 834 1276"></div> <div data-bbox="863 936 1326 1276"></div> <div data-bbox="371 1314 834 1657"></div> <div data-bbox="863 1314 1326 1657"></div>

(出典) 丘のまちびえい活性化協会資料

(3) 大雪かみかわ ヌクモ

「カミワークプロジェクト」の一環で、廃校になった小学校を改装し、地元住民と移住者、観光客との「温もりあふれる」交流の場や、実践型の研修施設を整備することで、地方での起業や就業を目指す人の移住を促進していく目的として整備された体験型の新しい交流施設となっている。

表 3-10 大雪かみかわ ヌクモの概要

場所	上川町字東雲 1 3 9 - 5
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：カフェスペース、プレイスペース、フリースペース、スイーツ開発工房 ・ 2019年7月にオープン ・ 地域 DMO 大雪山ツアーズ株式会社が指定管理
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校になった小学校をリノベーションした施設。 ・ デジタルアートを中心とした作品を作るチームラボの「あそぶ！天オプログラミング」という体験型デジタルアートを国内初の常設展示している。（体験料は 500 円～1500 円） ・ コーヒーは町内で焙煎をしている人のものをカフェで提供している。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

(出典) 大雪かみかわヌクモホームページ

3-2 関連施設事例



3-2-1 観光施設

(1) 北欧の風 道の駅とうべつ

通過点になっている当別町にランドマーク施設として整備された道の駅で、多くの人をまちに呼び込み、農村と都市の交流人口を拡大させ、農産物販売を通じた農業の振興につなげるとともに、町内での購買の促進を目指している。

農産物直売所のほか、当別町の地元農産物を主原料にした加工品ブランド「とうべつ Brandeli」商品を中心に特産品を販売している。

表 3-11 北欧の風 道の駅とうべつの概要

場所	石狩郡当別町当別太 774 番地 11
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：レストラン、特産品ショップ、農産物直売所・ 2017年9月オープン・ 敷地面積 24,501 m²
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 「当別の将来を変える起爆剤」として位置づけ、いくつかの取り組みを通じて経済活動の活発化につなげることを目的としている。・ 北海道を代表するイタリアンレストランのシェフがプロデュースするレストランがあり、道の駅で当別の食材を使用している。・ 当別町副町長を代表者とする株式会社 tobe が指定管理者として当別町と契約している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>



(出典) 北欧の風 道の駅とうべつ公式ホームページ

(2) 北オホーツクはまとんべつ

道の駅機能に、屋内遊戯場「あそびの広場」など子育て・交流機能を充実させた施設。

町民誰もが気軽に交流でき、併せてまちの総合案内と宣伝機能を有し、様々な情報を内外に発信する拠点、更には町に訪れる人たちにもくつろぎ、町民がこうした人たちとも交流できる施設として整備された。

表 3-12 北オホーツクはまとんべつの概要



場所	浜頓別町中央北 21 番地 1
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：トイレ、交流館（幼児スペース、交流広場、多目的 ホール、イベント広場、特産品販売コーナー、カフェコーナー、観光インフォメーション、情報発信コーナー）、バスターミナル ・ 2019年5月1日オープン ・ 敷地面積 7,444 m² ・ 市街地の中心に位置している
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント広場・多目的ホール・特産品販売コーナー・パンの販売コーナーなどが整備され、地域の賑わいを創出するほか、バスターミナルが備えられ、多くの人が集う複合交流拠点施設となっている。 ・ 交流館は隣接する商店街や公共施設等をつなぎ、地域の新しい交流の拠点として人を呼び込む役割を担い、北オホーツク 100km マラソン大会や商店街などのイベント開催時にあっては周辺施設と連携した活用を期待できる位置にあり、「交流」「道の駅」「バスターミナル」の 3 機能に対応した「新しいまち拠点となる場（プレイス）づくり」をコンセプトとしている。 ・ 子育て応援として、幼児スペースや 24 時間利用可能なベビーコーナー（授乳コーナー、おむつ交換スペース）が完備されているほか、ばら売りおむつや液体ミルク等を販売する自動販売機が道内の「道の駅」で初めて設置されている。
	 

(出典) 浜頓別町役場公式ホームページ、北海道開発局プレスリリース

(3) 道の駅「みそぎの郷（さと） きこない」

イメージづくり、ひとづくり、ネットワークづくりなど広域観光の取組と連動して、道南西部 9 町の旬な魅力の情報発信拠点施設となっている。

表 3-13 道の駅「みそぎの郷（さと） きこない」の概要

場所	木古内町字本町 3 3 8 - 1 4
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室: レストラン、ショップ、観光案内、多目的ルーム、レンタカー窓口、バス待合など ・ 2016 年 1 月 13 日オープン ・ 敷地面積 2,128 m² ・ 新幹線と在来線の駅前、かつ木古内町の中心街に位置している
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域おこし協力隊」制度を利用して、「観光コンシェルジュ」として育成し、道の駅を起点とした体験観光「木古内みそぎまち歩き」の実施している。町民ガイドと共に北海道新幹線木古内駅からぶらりまち歩きを楽しむ体験プログラムで、ボランティアや立ち寄った地域の店にもお金が落ちるようにして持続的な観光地づくりにつなげたいという思いから取り組まれている。 ・ 道内 24、道外 25 のイベント等で PR 活動を実施し、9 町の滞在型・体験型観光メニュー「千年北海道プラン」と連動させた江差・松前周遊フリーパスの取り組みも行う。 ・ 道南西部 9 町のディープな情報に詳しい「観光コンシェルジュ」が常駐している。 ・ 観光協会が窓口となって道の駅を起点とした体験観光「木古内みそぎまち歩き」（1,000 円/1 人）の実施。 ・ 施設内でレンタカー店舗が営業しているため、広大な北海道をレンタカーで自由に旅する発着点となっている。
	 

(出典) 木古内観光協会ホームページ

3-2-2 交流施設

(1) みらいる

通常の児童館・児童クラブ機能に加え、赤ちゃんから中高生までが集う異年齢交流の場として整備された施設で、使う人・用途に応じて活用できる柔軟な拠点づくりとともに、参加型の子育て支援に取り組んでいる。

表 3-14 みらいるの概要

場所	木古内町字本町 3 3 8 - 1 4
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室：図書室、ホール、児童クラブ室、遊戯室、多目的室、子育てルーム、音楽活動室、相談室 ・ 2015年5月オープン ・ 延床面積 999㎡
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館の拠点に位置付けられており、ほかの児童館の職員が交代で担当している。 ・ 中高校生の建設プロジェクトチームを結成し「ありのままの自分でいられる場所」をコンセプトに、基本構想～設計まで要望や意見を取り入れた。 ・ 間仕切りはスライド式で時間帯によって使い方を変えることができる。 ・ 子育てサークルの連絡協議会で、サークル間の交流を行っているほか、OB会による、子育てサークルへの応援体制が取られている。 ・ チャイルドアドバイザーとして高齢者の方も関わっている。
	 


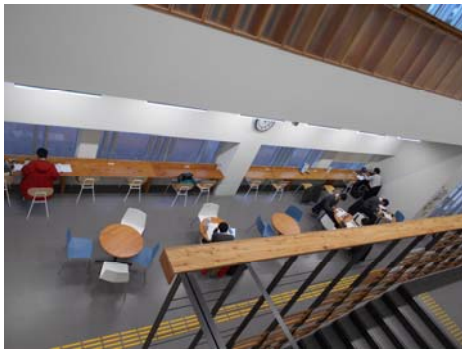
(出典) 中標津町資料

(2) えにあす

恵庭駅周辺における公共機能の集約と民間施設の誘致による賑わいの創出を目的とした官民連携事業として民間事業者が市有地を借地して建物を整備した施設で、公共施設と民間テナントが入っている。

表 3-15 えにあすの概要

場所	恵庭市緑町 2 丁目 1-1
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室：スポーツクラブ、コンビニ、市民活動センター、図書館等・ 2018 年 4 月オープン・ 延床面積 3,703 ㎡
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 恵庭市の駅周辺地域には人通りが少なく、「サードプレイス」としての市民の居場所が少ないことが課題となっており、市内に散在していた保健センターの移転や市民活動センター及び図書館分館のバリアフリー化・児童館の老朽化対策の必要性が高まっていたことから、これら機能を利用性の高い恵庭駅周辺地域に集約する事業として実施した。・ 遊休地となっていた市所有の未利用地について、定期借地権方式により公共機能と民間機能を複合的に整備した。・ 公共施設と民間テナントが賃貸借契約により建物に入居。<ul style="list-style-type: none">➢ 公共施設：市民活動センター、保健センター、夜間・休日急病診療所、図書館恵庭分館、公共の機能（学童クラブ、子どもひろば、子育て支援センターなど）➢ 民間施設：宮の森スポーツクラブ、セイコーマート、地域 FM 放送 e-niwa



(出典) 恵庭市ホームページ、国土交通省総合政策局事例集

(3) にじの森

子育てサポート拠点としてまちなかに整備された子供から高齢者まで多世代が利用できる施設となっている。

表 3-16 にじの森の概要

場所	枝幸町栄町 1272 番地 4
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 諸室: レンタル室、サークル活動室、研修室、防音室、カフェ、キッズスペース、交流スペース・ 2018年4月オープン
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 枝幸地区において、地方創生拠点整備交付金を活用し、旧すがの医院を改修整備した。・ 「手の空いた時間に気軽に立ち寄れる場所があれば…」 「困っている事やちょっとした悩みを聞いてほしい」といった子育て世代からの声で整備された。・ 地域おこし協力隊を配置し、運営は、子育てコーチの数名が新たな団体「にじをつなぐ会」を設立し、町からの運營業務、ファミサポ業務の他、カフェ経営などの自主事業を展開している。・ 防音室、レンタル室、サークル・研修室は有料・予約制となっている。・ レンタルボックスがあり、1か月単位で使用でき、商品を出品して委託販売することができる。 <div data-bbox="365 1182 828 1529"></div> <div data-bbox="850 1182 1318 1529"></div>

(出典) にじの森パンフレット、枝幸町資料

第4章 町民の複合拠点施設に対するニーズの把握

4-1 調査の種類と概要

上富良野町の複合拠点施設について、町民1,050人にアンケート調査を行った。アンケートの概要は下記に示すとおりである。

表 4-1 上富良野町複合拠点施設に関するアンケート調査の概要

項目	内容
配布対象 及び 配布数	在住の15歳以上の上富良野町民 1,050人
配布方法 回収方法	郵送配布 郵送回収・インターネット回答
回収数 (回収率)	236票 (22.5%)
調査項目	・回答者属性 ・複合拠点施設に求める機能 ・複合拠点施設の利用アイデア

4-2 調査票

配布した調査票は下記に示す通りである。

複合拠点施設に関するアンケート調査票				
◎回答する方について教えてください。(あてはまるもの1つに○)				
性別	1. 男性		2. 女性	
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	6. 60代	7. 70代以上		
職業	1. 農林業	2. 製造業・建設業	3. 卸小売業・飲食業	
	4. その他サービス業等(公務員を含む)		5. パートタイム・アルバイト	
	6. 専業主婦(主夫)	7. 生徒・学生	8. 無職	
	9. その他()			
同居している12歳以下の子どもの有無(弟・妹を除く)			1. いる	2. いない
質問① あなたは、次のテーマのうち、特に複合拠点施設で重点を置いたら良いと思うものはどれですか？(あてはまるもの1つに○、記入)				
①産業振興 ②町民交流 ③情報発信 ④安全安心 ⑤その他()				
→ 質問①-1 その理由を教えてください。				
記入欄				
→ 質問①-2 そのテーマに関連して、上富良野町にあったらいいなと思う施設(機能、サービス)は何ですか？				
記入欄				
質問② 上富良野町に複合拠点施設ができれば、どんな風に過ごしたり、施設を活用したりしたいですか？あなたのアイデアを教えてください。				
記入欄				
質問③ そのほか、複合拠点施設の整備に関するご意見があれば教えてください。				
記入欄				
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。				

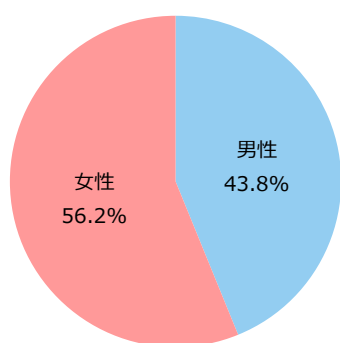
図 4-1 アンケート票

4-1 調査結果

4-1-1 回答者属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が43.8%、「女性」が56.2%と、女性の割合が高くなっている。



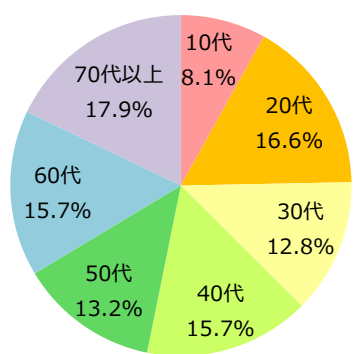
設問	回答数	割合
男性	103	43.8%
女性	132	56.2%
合計	235	100.0%
無回答	1	

N=235

図 4-2 性別

(2) 年齢

回答者の年齢は、「70代以上」が17.9%と最も多く、次いで「20代」が16.6%、「40代」と「60代」が15.7%となっている。



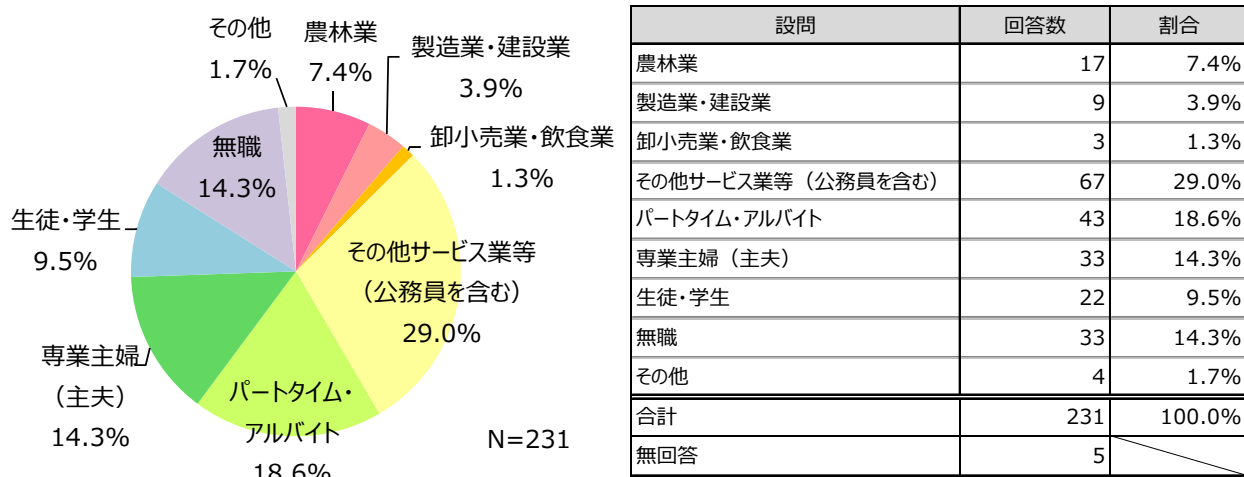
N=235

設問	回答数	割合
10代	19	8.1%
20代	39	16.6%
30代	30	12.8%
40代	37	15.7%
50代	31	13.2%
60代	37	15.7%
70代以上	42	17.9%
合計	235	100.0%
無回答	1	

図 4-3 年齢

(3) 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等（公務員を含む）」が29.0%と最も多く、次いで「パートタイム・アルバイト」が18.6%、「専業主婦（主夫）」と「無職」が14.3%となっている。



<その他の内訳>

・自営業

図 4-4 職業

(4) 小学生以下の同居家族

回答者の小学生以下の同居家族は、「いない」が78.8%、「いる」が21.2%となっている。

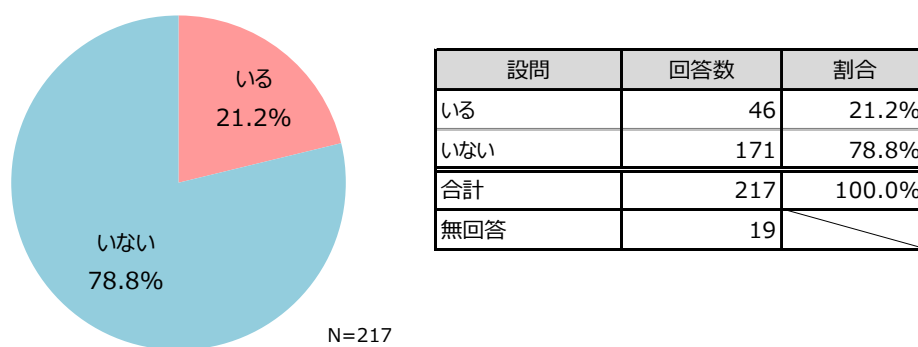


図 4-5 小学生以下の同居家族

4-1-2 複合拠点施設への要望

(1) 重点を置いたら良いと思うテーマ

重点を置いたら良いと思うテーマは「産業振興」が 42.4%と最も多く、次いで「町民交流」が 21.7%、「安全安心」が 18.9%となっている。

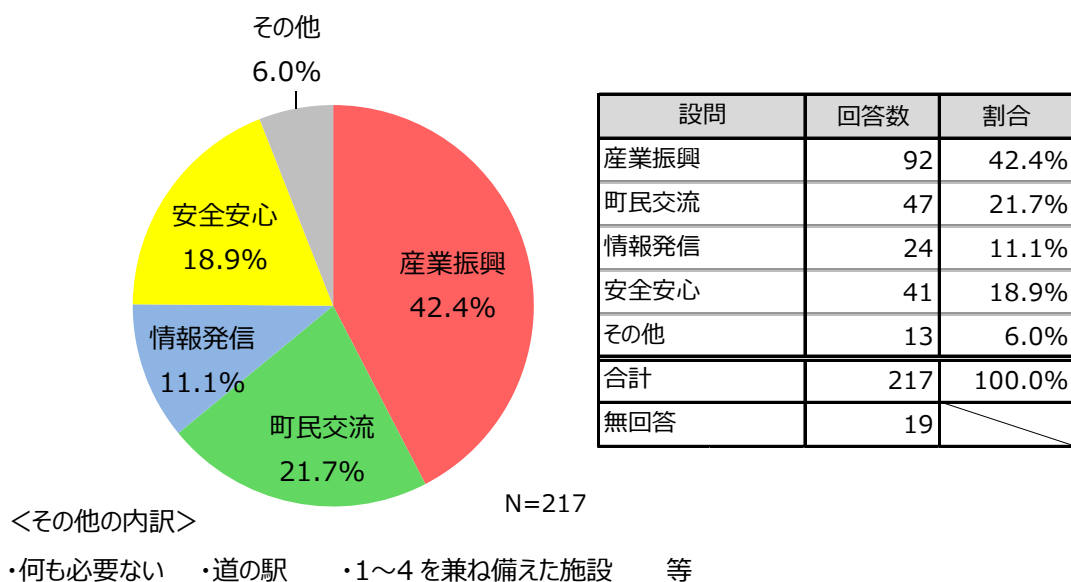
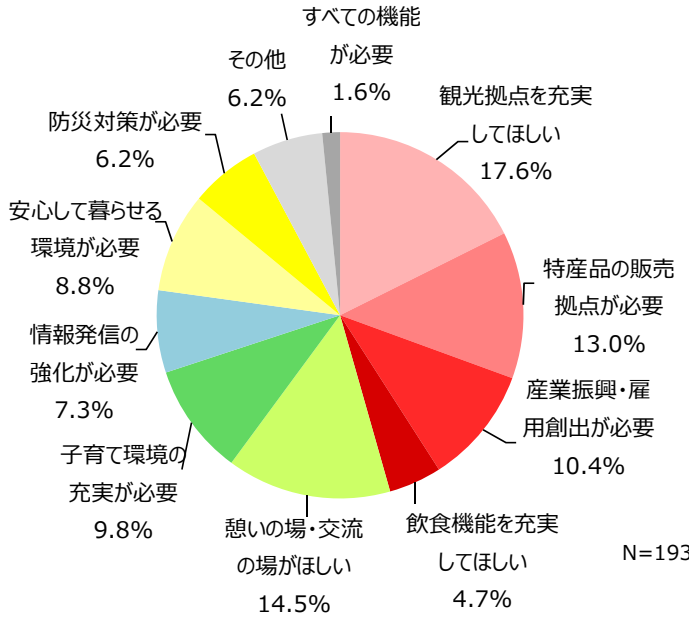


図 4-6 重点を置いたら良いと思うテーマ

(2) 重点を置いたら良いと思うテーマを選択した理由

選択した理由については、「観光拠点を充実してほしい」が最も多く、次いで「憩いの場・交流の場がほしい」が 14.5%となっている。



分類	理由	回答数	割合
産業振興	観光拠点を充実してほしい	34	17.6%
	特産品の販売拠点がほしい	25	13.0%
	産業振興・雇用創出が必要	20	10.4%
	飲食機能を充実してほしい	9	4.7%
町民交流	憩いの場・交流の場がほしい	28	14.5%
	子育て環境の充実が必要	19	9.8%
情報発信	情報発信の強化が必要	14	7.3%
安心安全	安心して暮らせる環境が必要	17	8.8%
	防災対策が必要	12	6.2%
その他	その他	12	6.2%
	すべての機能がほしい	3	1.6%
合計		193	100.0%

図 4-7 テーマを選択した理由

表 4-2 テーマを選択した理由

分類	No.	性別	年代	内容
観光拠点を充実してほしい	1	男性	10代	色々な地方の人が集まる。人が集まりたい場所、行ってみたい場所。
	2	男性	10代	上富良野についてもっといろんな人々に知ってもらいたいから。
	3	男性	20代	観光地なので、泊まりやすい町にした方が良い。
	4	男性	20代	観光地であることを生かすべきだと思うため。
	5	男性	20代	もっと上富良野の知名度を上げて豊かにしたい。
	6	男性	30代	観光施設が少なく、機会損失しているから。
	7	男性	30代	もう少し町のものをPRできると思うから。
	8	男性	40代	町外からの観光客が町にお金をおとしていく場所がない（特に昼）。
	9	男性	40代	もっと観光地を増やし、客や町民を呼び込む。
	10	男性	40代	観光でお客さんが多くなると活気づくと思うから。
	11	男性	40代	町外からお客さんが来て上富良野の食べ物、お土産が必要な時に連れて行ける場所がない（特に冬季間）。
	12	男性	50代	来町者を増やして、町をより活性化させたいため。
	13	男性	50代	観光客に立ち寄ってお金をおしてもらおう。
	14	男性	60代	観光案内所がない。
	15	男性	70代以上	上富良野町は農業の町であり、観光客向けにそれを特化した施設が良い。町民へは既存の施設を改修するなど対応できると考えられます。
	16	女性	10代	上富良野に行って良かったと思う観光客が増えると思うし、観光に来ていた人がお土産を買い、「もう一度行きたい！」と思えるような町になると思うから。
	17	女性	20代	観光客の方が多く来るので、もっと特産品の宣伝や町に興味を持ってもらえるような場所があった方が良いと思います。
	18	女性	20代	上富良野には観光スポットや温泉がたくさんあるため、それをもっとアピールしたら良いと考えるため。
	19	女性	20代	上富良野には良い所がたくさんあるのに、うまく外に伝わっていない気がするし町民でも知らない人が多いから。
	20	女性	30代	日の出公園や温泉等のメイン観光をした後、お土産を買ったりリピートして立ち寄りやすい施設がないため。富良野はマルシェ、美瑛は美瑛選果。

分類	No.	性別	年代	内 容
観光拠点を充実してほしい	21	女性	30代	今はどこに行っても道の駅がある。そういった場所ができれば観光客も助かるだろうし、町の人が働く場所も増える。
	22	女性	30代	とにかく楽しい所がない。買物も食材を買うための所なので。
	23	女性	40代	テレビ番組などで、もっと観光案内をしたら良いと思います。
	24	女性	40代	人が集まる
	25	女性	40代	上富良野町に住んで8年になるが、「上富良野の特産品は?」「名所は?」と聞かれても答えられない。もっと気軽に「美味しいもの」「楽しい場所」に触れられたい。
	26	女性	40代	上富良野にはたくさん良いものがある。現在でも頑張ってPRしているとは思いますが、まだまだ周知不足があるので、せっかく観光客が訪れてもお金を落としていける施設が少ないと感じる。
	27	女性	50代	この町はせっかくラベンダーを見に観光客が来ても、他に何も無い。富良野、美瑛地区の中で最もつまらない町だと思う。町外の人々が来て地元の特産を買ったり、楽しめる所があれば良いと思う。
	28	女性	50代	あまりに観光に力を入れてないし、「上富良野町」の外部からのニーズを理解していないから(しようしない)。
	29	女性	50代	町民に来てもらうのはもちろんですが、それ以外の人にもたくさん来てもらうため。
	30	女性	50代	我が町は美瑛に比べて外国人観光客が少ないように思いますので。美瑛駅前には活気があり、人が大勢いる。
	31	女性	60代	上富良野町に町外の人々が訪れる場所。
	32	女性	60代	我町上富良野の良さを更に発信しなければならないし、町民が様々な分野で関わり(年代を問わず)、人としても成長すると思う。
	33	女性	60代	もっと上富良野町をPRし、町の特産品、美しい食べ物で観光客も地元の人々も楽しめる町に。
	34	女性	70代以上	観光客を増やす
特産品の販売拠点が必要	35	男性	20代	お土産を購入すると考えた時、パッと出るお店がないため。
	36	男性	20代	上富良野町の特産品やお土産がまとまっている所がないと思うから。そういった機能のある施設は必要だと思う。
	37	男性	30代	上富良野のお土産、特産物を買えるところがないから。
	38	男性	30代	町を発展させるには観光客はもちろん、住民が日常的に納得して手を出したくなるものがなくてはならない。
	39	男性	50代	上富良野町の良い商品を買ってもらえ。良い商品を生み出す。
	40	男性	50代	道の駅をつくって上富良野産の野菜や肉など特産品を売ったら良いと思う。
	41	男性	60代	道内を比較しても我町ぐらい気候、風土に恵まれている所は他にないと思う。様々な食材(米、野菜、豚肉など)が全て揃う環境にあるにも関わらず、それを十分に生かしてない。
	42	男性	70代以上	上富良野町の美味しい食べ物をアンテナショップでお土産に買えたらいいなと思います。道の駅などで。
	43	男性	70代以上	道の駅をつくって品物売る。
	44	男性	70代以上	道の駅(旭川～富良野237号線の間)、これはといった道の駅がないので必要だと思う。産業振興にもつながる。深山峠付近。
	45	女性	10代	上富良野町の食べ物をいろんな人に広めるため。
	46	女性	20代	上富良野町にお土産ショップが少ないため。
	47	女性	20代	上富良野町には特産品となり得るものが数多くあるのに、現状では特産品を開発したところでそれを披露する場所がない。上富良野町は富良野と美瑛にはさまれた通過型の観光地であるため、一定の集客力のある道の駅などをつくり、特産品等の周知を行う。
	48	女性	30代	地元の人々も利用できる肉や野菜などの直売所
	49	女性	30代	上富良野町には農産物をPRする場が少ないため。また、あっても場所がバラバラで町内外の人誰もが「上富良野産のものはここで買ったらい！」という場所がない。
	50	女性	30代	ちよっとお土産、ちよっと軽食、ちよっと暇つぶしの場所がない。
	51	女性	40代	農産物が豊富なので、野菜などを販売することで農家などが潤う。結果、町は元気になると思うから。
	52	女性	40代	上富良野町の生産物を活用し、魅力的な町に。
	53	女性	40代	私は地元が上富良野ではないので、お土産を購入する場所が詳しくわからないのでアンテナショップや飲食店などが一箇所にあれば便利です。観光客の方々も利用しやすいと思います。

分類	No.	性別	年代	内 容
特産品の販売 拠点が必要	54	女性	50代	上富良野町で生産している農産物など（とれたてのもの）が買えたり、食べたりできれば人が自然と集まるのでは。
	55	女性	60代	道の駅のような施設で特産品の豚肉（かみふらのポーク、さがり）を中心に近隣の名産を販売してほしい。夏は野菜を。（観光と買い物）
	56	女性	60代	お菓子屋さんが少ない。お土産の特産品販売場所も少ない。
	57	女性	60代	地元の物で（野菜、肉等）、道の駅等、安く簡単に買えたり、送れたら良いと思いま
	58	女性	70代以上	農業の野菜を販売するコーナーなどがほしい。
	59	女性	70代以上	上富良野の特産品を本州の親戚に送りたい。
産業振興・雇用 創出が必要	60	男性	20代	野菜をもっと多くしてほしいから。
	61	男性	20代	道内にいる学生友達に「上富良野出身」と伝えると「ラベンダーで有名だね」とラベンダーのイメージしかないことが多い。もっと上富良野には豚肉、米、野菜など良いものが沢山あるので情報と共に産業振興が大切だと思います。
	62	男性	50代	農業を維持、発展してほしいから。
	63	男性	60代	大学や専門学校を出ても仕事がなく、町に戻れない。
	64	男性	60代	産業振興を通して6次化やその他の業種もアイデア次第で町内産物の商品化が進むので。
	65	男性	60代	高齢者が働ける所。道の駅とか村の駅。
	66	女性	10代	強い産業、稼げる観光を目指すなら産業振興だと思いました。
	67	女性	20代	人口が少ないせいか、会社（正社員）といえる数が少なすぎる。仕事をするとすると、町外へ出ることも考えなくてはならない。自活するのに苦労する。
	68	女性	20代	今回は雇用の増加を目的とした方が良いと思う（商業をメインに）。情報発信はSNSなど使った方がもっと効率的だと思う。安心安全は役場、消防、町立病院を建て替える時で良いと思う。
	69	女性	30代	町の活性化に一番つながると思うため。
	70	女性	40代	上富良野で主婦でも働ける場所がもっとあれば良いと思う。
	71	女性	40代	経済的に町が豊かになれば良いと思うからです。
	72	女性	40代	町民交流なども大切だが、町としての収入の場にしたほうが良いと思うので。
	73	女性	40代	上富良野町の基幹産業である農業を発展させるため。
	74	女性	50代	②④は上富良野町は充実していると思う。
	75	女性	50代	駅前が寂しい
	76	女性	60代	農業、商業、工業が互いに協力し、刺激し合える施設。
	77	女性	60代	②および④の場としては、かみんがあるが①に対する場がない。
	78	女性	70代以上	本町は農業を主体とした町であります。第一産業を基本とし、あらゆる分野・裾野を広げ活性化が向上する。
79	女性	70代以上	若い人達の働く場所があれば良いと思う。	
飲食機能を充 実してほしい	80	男性	20代	豚サガリが美味しかった店を国道沿いに出店してほしいです。
	81	男性	20代	飲食店はあるが種類が偏っているため、地元の食品を使った安く食べれる店を出してほしい。
	82	男性	70代以上	サガリなどを食べられる所をつくる。
	83	男性	70代以上	富良野のオムカレーみたいなものを考える。
	84	女性	10代	色々美味しい店やおしゃれなお店が増えたらもっとたくさんの方が来てくれるようになり、町全体が良くなると思います。美瑛や富良野に負けてるので。
	85	女性	20代	先日、日帰りでとある町へ食事に行ってきました。食事以外でも散策して楽しめて、食べ歩きもできました。そんな色々なテナントが入った施設など、どうでしょうか？
	86	女性	40代	地産地消の飲食店やお弁当屋が増えたら利用したいから。
	87	女性	40代	町のソウルフードになるような食べ物（加工品）を開発してみても。町内外の食の場に提供できるようなもの。（例）給食に提供、冷凍食品、観光客が手軽に作る体験や試食できたり町民が手軽に購入できるもの。
	88	女性	60代	美瑛、富良野の様な観光客が喜ぶ美味しい食べ物。老若男女が楽しく過ごす。
憩いの場・交流 の場がほしい	89	男性	10代	なんとなく
	90	男性	20代	町の人と交流する場所が少ない。
	91	男性	20代	町民同士が交流できる場が少ないと思ったので。
	92	男性	20代	人口が多い高齢の方が利用できるスペースを確保しつつも、若者や学生が入りやすいように図書室や学習できる環境をつくり、町民間での交流があったら良いなと思ったから。
	93	男性	20代	本を読みたいから

分類	No.	性別	年代	内 容
憩いの場・交流の場がほしい	94	男性	20代	老若男女が集まりやすい施設がないため。公民館、社会教育センターはそれぞれ目的がないと行きづらいので、強い目的がなくても立ち寄れる施設があると良いと思う。年代の違う者が集まることで、老人は若い人から刺激を得て若々しく、若い人には老人ばかりの現状を見て危機感を身近にし、人によっては町の未来を案じてくれるだろうから。
	95	男性	20代	10代、20代の遊ぶ所が少ないから。できると町に人がいると思います。
	96	男性	30代	町民同士のつながりが大事と思うから。
	97	男性	40代	近隣住民でさえ人間関係が希薄になっている昨今、町民の交流は重要。
	98	男性	50代	富良野周辺にないから
	99	男性	60代	冬が長いので老人は家にこもりがち。低料金でコーヒーなどが飲めて、映画、ミニコンサート、読書ができる場所があると良い。
	100	男性	60代	町民の憩いの場が町内にはないから。
	101	男性	70代以上	高齢化が進み、交流が少なくなる。
	102	男性	70代以上	老若男女が一堂に集う場所があれば賑わうと思う。
	103	男性	70代以上	限られた所だけ交流があり、全体的に交流は少ない。
	104	男性	70代以上	ヘルス、ウェルネスフェア
	105	女性	10代	ゆっくりと過ごせる場所が少ないと感じたから。
	106	女性	10代	町民交流する場所をつくったら良いと思ったから。
	107	女性	10代	カフェが好きなので、あれば嬉しいと思ったから。
	108	女性	20代	本州より引っ越してきましたので、知り合いが1人もいない。冬支度の事を聞きたくても相談できる人がいない。また、どこで聞けるかもわからない。子供もいないので、友達作りも難しいと実際に感じているからです。
	109	女性	20代	町民が気軽に利用でき、落ち着く居場所づくりが大切だと思うからです。
110	女性	30代	気軽に友人、知人と集まって話したり飲食できる場所がないので。	
111	女性	30代	赤ちゃん、赤ちゃんや子連れのママ・パパ世代から小中高、社会人の大人、近所の大人、ご老人を含めたすべての町民が集える場所があったらいいなとずっと思っていたから（でも、そんなたいそうな複合拠点施設！まで必要ですか？）。	
112	女性	40代	気軽に集まり、交流できる場がない	
113	女性	60代	田舎なのに人と人の交流が薄れている感じがします。	
114	女性	70代以上	趣味でできるようなスポーツ施設。軽食ができる施設。	
115	女性	70代以上	高齢者、障害者、子供みんなが自然と一緒にいつでも好きな時に一緒に過ごせる場	
116	女性	70代以上	多くの町民と交流できる飲食できるサロン型。	
子育て環境の充実が必要	117	男性	10代	高齢者が多いこと、小さい子が児童館や社教センター、公園以外でも楽しみ、その間に親が買物等を済ませられる施設の方が子供のストレスや町のイメージ作りに効果的だと思ったから。
	118	男性	20代	町内に子供が遊ぶ施設があまりない。子育て環境の充実化。
	119	男性	20代	子どもの遊ぶ場所が少ない。特に室内。
	120	男性	30代	子供と遊ぶ所がほしい。
	121	男性	40代	子供がいつでも遊べる場所が少なすぎる（特に西小区域）。
	122	男性	70代以上	子育てに重視。美味しい食べ物にアイデアを、プラス町民も参加したい。
	123	女性	10代	上富良野は山に近いので、いつ噴火が起きてもおかしくないから。
	124	女性	20代	子供と一緒に立ち寄れるカフェ等があったらいいなと思いました。
	125	女性	20代	母子家庭の方や父子家庭の方、お子さんがあるご夫婦で共働きの方が安心して子供を預けられ、人間形成ができたと思います。就職口が増える事にもつながると思い
	126	女性	20代	小さい子供がいるため室内の遊び場があったら利用したいからです。
	127	女性	30代	今子育て真っただ中で上富良野に必要！と思うからです。子育てする母たちが集まる場所、気軽に子連れでいける場所ができれば嬉しい。
	128	女性	30代	子育てをしていく上で安全安心が重要と考えたから。
	129	女性	30代	安心して子育てできる環境
	130	女性	30代	室内で子供が遊べる場所があったら嬉しい（特に冬になると遊び場に困るため）。
	131	女性	30代	冬子供が遊べるところが少ない。観光客も地元の人を楽しめる大規模な屋内遊び場や複合施設があれば助かる。
	132	女性	40代	学校等以外でも子供だけでなく親も交流できる場があれば、より交流が深まる。私は転勤族ですが学校に行くことも少ないので（ほとんどない）大人との交流がなく、知り合いが増えません（いません）。なので町にもまだなじみなくて。

分類	No.	性別	年代	内 容
子育て環境の充実が必要	133	女性	40代	冷暖房完備でゆっくり勉強、読書のできるような安全なスペースの確保。手芸サークル等、子供とでもできる場所。
	134	女性	40代	冬に屋内で遊べる場所。富良野のマルシェにあるような感じではなく、小学6年生と乳児も遊べるところがほしい。
	135	女性	50代	親子で安心して身体を動かして遊べる施設があれば良い。幼児はもちろん、小中高生も行きたいと思える場所を作ってあげたい。その場所に行くと、話ができる人も居てくれると嬉しいと思います。
情報発信の強化が必要	136	男性	10代	上富良野より富良野の方が知っている人が多いから、上富良野の事も知ってほしい。
	137	男性	10代	自衛隊の方にばかり力を入れて、地元産業の発信などに力を入れていない。どうせなら、自衛隊の町として自衛隊と協力し、全面的に前を出して某町のように発信すべき。
	138	男性	20代	町の情報を発信（町民向け、町民以外向け）する場所が少ない。
	139	男性	20代	らべとんがまもんのように有名になってほしい。
	140	男性	30代	上富良野にはおいしい物や、ここにしかないものがたくさんあるから。
	141	男性	70代以上	ネット関連をやっている人は情報を共有していると思うが、やっていない人は知らない事が多いのでは。
	142	男性	70代以上	上富良野町は優れた自然景観と恵まれた気候風土にあり、良質で魅力的な農畜産物もとれ、ブランド化できる特産物がたくさんあると思うのでそれらを集約化し、観光客の誘因や地産地消と結びつけ、地域の経済効果がもたせられるような情報発信と産業振興の施設づくり。
	143	女性	10代	上富良野町は町で生産されているもののPRを具体的にしていないので、まず町を発展させるには上富良野町で有名な豚肉などを商品化して販売してみたら良いと思うから。
	144	女性	20代	旭川にあるライナー（地域の情報誌）の様なものがあれば移住してきたばかりの人などにわかりやすく、上富良野や富良野の良い所や店側ももっといろんな人を知ってもらえ、集客も増える。
	145	女性	40代	せっくらバンダーが有名なのだから、大きな花畑があると良いと思う。
	146	女性	40代	美瑛、富良野の情報は入りやすく、上富良野は富良野市の一部として認識している観光客が多い。私も実際数年前に引っ越してくるまでは、ほとんど上富良野について知らなかった。他の市町村に比べ、情報発信が弱いと思う。
	147	女性	50代	上富良野の情報発信をしてほしい。町内に住んでいますが子供達も高校は町外へ行き、仕事も町外で働く状態です。
	148	女性	50代	町内でやっている趣味の会やイベントの発信が弱いと思うので、短期でも参加できる趣味の会を企画・発信して施設で開催してほしい。
	149	女性	60代	素晴らしい景色と美味しい食材のたくさんある我が町の特徴が発信でき、伝え知ってもらうことは全てにつながっていく様に思います。
安心して暮らせる環境が必要	150	男性	10代	他の市町に比べて、飲食や衣料、娯楽施設が不足していると感じる事が多いから。
	151	男性	20代	買い物できる所が少ないから。
	152	男性	30代	田舎すぎるので買い物に困る。
	153	男性	30代	町内に店が少ない
	154	男性	50代	町道の夜の道路は明るいけど、郊外の農道は歩行者が夜散歩していて、反射している服を着ていないのでこわいです。
	155	男性	60代	将来的に健康不安がある。
	156	女性	20代	本屋さんや食料品を売るスーパー等増やした方が良い。
	157	女性	40代	長寿社会を健康で生活するため。
	158	女性	50代	今後、人口減少に伴い高齢化が進み、住みやすい町づくりが必要。
	159	女性	50代	安心して住みたいから。
	160	女性	50代	自然エネルギーを生活に利用して、安全で火山や雪に耐える技術を開発する町のモデルになってほしい。
	161	女性	60代	高齢化社会の傾向も考慮し、町内において全て間に合う生活は望ましいと思う。
	162	女性	60代	子育てや親のこと、安心して暮らせる街のシステムがあったら良いです。
	163	女性	70代以上	病気の看護は大変です。9年間我が家で世話をしましたが、リハビリ等はヘルパー・看護師が帰った後、短い時間では大変です。
	164	女性	70代以上	高齢者が不安がある時に相談に乗ってくれる所。保健室です。
	165	女性	70代以上	安心して老後をすごせるように

分類	No.	性別	年代	内 容
防災対策が必要	166	女性	70代以上	上富良野駅前から山手線の東中8線18号までの町営バスがあったら良いと思います。
	167	男性	20代	昨今、災害が多発しているため
	168	男性	20代	安全面が確立していなければ使用する際、不安だから。
	169	男性	30代	災害時の安全確保
	170	男性	40代	災害が増えているから。
	171	男性	50代	災害がいつあるのかわからないため。
	172	男性	50代	災害が多く、他人事ではないから。
	173	男性	60代	十勝岳の噴火が心配
	174	男性	60代	防災意識の啓発、十勝岳噴火被害の後世への伝達が大切。昭和63年の噴火から30数年、記憶の風化が懸念されている。教訓を後世に伝えていくため。
	175	男性	70代以上	近年災害（十勝岳、水害）が多く、安全安心できる町にしてほしい。
	176	女性	10代	最近台風や地震など災害が多くなっているため、安全安心で暮らせる町になってほしい。
	177	女性	20代	十勝岳の噴火が怖い。自然災害に不安がある。
	178	女性	40代	この頃災害が多く、上富良野でもこんな時のためのハザードマップを町民の方にわかりやすくしたらと思います。去年の停電で亡くなられた方もいたので。川もあるし、火山もあるので。
その他	179	男性	20代	必要ないと思うため。
	180	男性	40代	トップダウンではなく、共に考える、行動する。その先に産業振興。
	181	男性	40代	新たな施設は不要！
	182	男性	40代	町内会を脱退したい人がいる。
	183	男性	40代	選択は消去法です。産業振興は、深山峠観光エリア、ハーブガーデン富良野等、既存の商業施設との競合が予想され十分に力を発揮できないことが予想されます。町民交流はかみんや公民館、社教センター等で事足りない理由が見当たりません。お洒落さや目新しさを求めるのであれば積極的にカフェ等を利用した方が町内消費拡大にも繋がり一石二鳥だと思います。情報発信についてはまずは町内のwi-fi環境や町のホームページの整備が先決だと思います。美晴台案内所の存在に気づかない観光客も多いと思いますから、見せ方の工夫が必要かとも思います。上記理由により、安心安全と選択しました。
	184	男性	60代	拠点施設には反対ではないが、事業運営はどかが主体になるのか。法人、会社？行政が運営するのでは反対です。もっと今ある施設の活用、例えば多目的テントでの朝一。
	185	女性	10代	駅から出てすぐに田舎すぎる風景でなんの魅力も感じないし、駅自体も汚いから観光に力を入れるためにも新しくしてほしい。
	186	女性	10代	複合拠点施設は必要ないと思う。今ある施設を上手に活用してほしい。
	187	女性	30代	考えたけれど、アイデアが思い浮かばなかった。
	188	女性	50代	ただでさえ近隣の町より高い税金を施設建設でまだ上げるのですか？
189	女性	50代	その場所に造るかによって、テーマは変わってくると思う。	
190	女性	70代以上	不特定多数の人が集まる所は行けないから。	
すべての機能が必要	191	男性	30代	上富良野町は、もう全国どこの町に比べても危機感がない。町長、町議の方々が全く町政を動かしていない。そのため、複合拠点を作っていくのであればどれが重点かではなく全てを兼ねそなえる施設が必要。町民がお年寄りから子供まで安全安心で皆で情報発信して町の産業振興を進めていく必要がある。
	192	男性	50代	産業振興、町民交流、情報発信、安全安心が道の駅の必要な要素に当てはまっていることからです。
	193	男性	70代以上	1と2と3の内容と、4の防災（避難所）が必要と考えています。

(3) 上富良野町にあるといい施設（機能・サービス）

また、上富良野町にあるといい施設（機能・サービス）については、「道の駅」が最も多く、次いで「町民交流拠点」が 11.7%となっている。

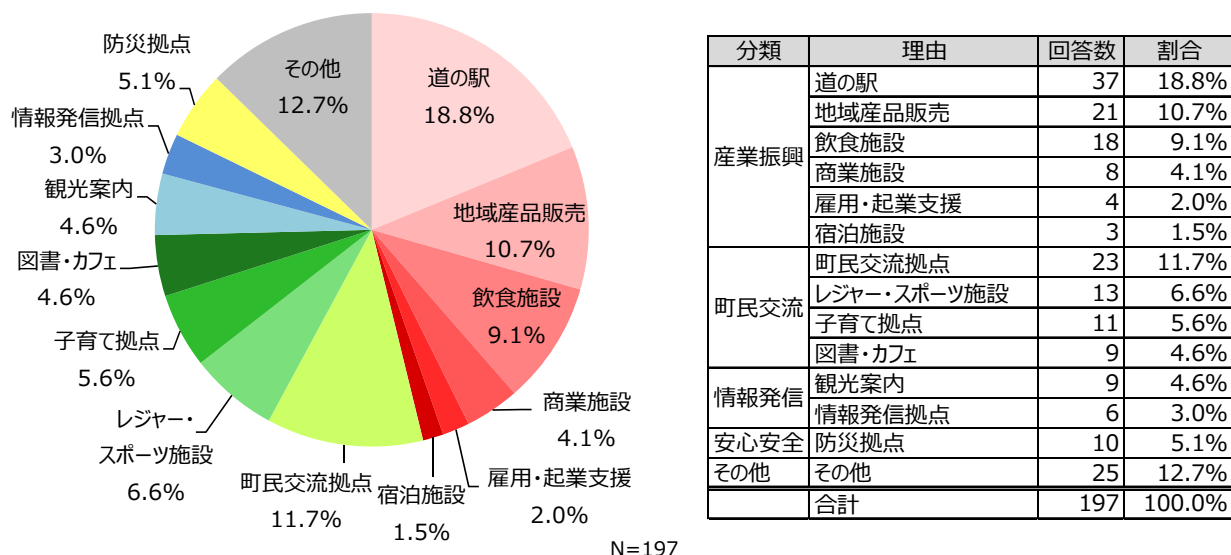


図 4-8 上富良野町にあるといい施設（機能・サービス）

表 4-3 上富良野町にあるといい施設（機能・サービス）

分類	No.	性別	年代	内容
道の駅	1	男性	10代	道の駅のように色々な人が上富良野をアピールできて買ってもらえるようにする。町を知ってもらう。
	2	男性	10代	道の駅、見晴台につくるべき。自衛隊と協力し大きな施設、歴史の歩みなどをアピールできるハコ物をつくるべき。
	3	男性	10代	上富良野でとれた野菜やお肉などの食べ物を売る「道の駅」をつくと良いと思う。ペットと一緒に遊べる施設など。
	4	男性	20代	上ふマルシェ、道の駅
	5	男性	30代	道の駅、農産物の市場（野菜等が安く買えるところ）
	6	男性	30代	道の駅
	7	男性	40代	道の駅、夜まで営業しているカフェ、広い駐車場
	8	男性	40代	ここに行けば飲食やお土産、何でもあるという施設（道の駅的な）。
	9	男性	50代	道の駅
	10	男性	50代	道の駅
	11	男性	60代	道の駅
	12	男性	60代	道の駅（温泉、宿泊、特産品販売、飲食、子供の遊具）
	13	男性	60代	道の駅
	14	男性	60代	道の駅、村の駅、町の駅
	15	男性	70代以上	道の駅（東川町道の駅は安価に自動販売機で飲み物が購入でき、トイレもきれい）。
	16	男性	70代以上	現在多くの自治体では、地域の特産品販売等、観光客を誘因する「道の駅」の知名度が高まっており、全国の優れた所を調査研究し我が町の立地に適った特色ある「道の駅」を構想しては。
	17	男性	70代以上	道の駅機能
	18	女性	10代	道の駅
	19	女性	10代	道の駅をつくり、その中で商品化されたものを販売し、上富良野産の食べ物だけでランチ等に良い定食をつくり、観光客だけでなく町民も寄ってくるようなサービスをしてみると良いと思う。

分類	No.	性別	年代	内 容
道の駅	20	女性	20代	上富良野町は富良野と美瑛には生まれた通過型の観光地であるため、一定の集客力のある道の駅などをつくり、特産品などの周知を行う。
	21	女性	30代	道の駅（地元の人も利用できるような飲食店付き）
	22	女性	30代	道の駅
	23	女性	30代	道の駅のような特産物が買える、または味わえるような施設（温泉があれば尚良し）。上富良野はランチしたりデザートやスイーツが食べられるお店が少ない。
	24	女性	30代	道の駅
	25	女性	40代	道の駅のような場所。農家さんたちが自分の家のものにバーコードを付けて並べる。木工品なども、お弁当なども地元のお店が並べる。
	26	女性	40代	道の駅
	27	女性	40代	「道の駅」です！メディアにも取り上げられるし、スタンプラリーなど集客がある。普通に施設をつくっても町民がわかるだけ。なんの発展もないと思う。隣の美瑛町には2ヶ所も道の駅があり、あとは南富良野までない。とてももったいないと思う。現在の農産加工センターの老朽化がひどいので新施設に取り入れてほしい。
	28	女性	40代	道の駅
	29	女性	40代	地産地消がメインの飲食店、アンテナショップ、屋内遊技場、図書館、カフェ、観光案内所がすべてそろった施設。
	30	女性	50代	道の駅的な地元の特産品が買えて、観光案内などの情報発信もあれば良いと思う。また、趣味のカルチャー教室や展示スペースもあると良い。
	31	女性	50代	道の駅的な地元の特産物や、美味しい物を買ったり飲食できるような場所。
	32	女性	50代	道の駅があれば良いと思います（ドッグランがあると尚良いです）。
	33	女性	60代	道の駅または大きな娯楽施設（料理をして楽しむ食す、手芸、麻雀、カラオケ、運動）
	34	女性	60代	道の駅、4月GW～11月3日まで営業。焼きたてパン工房（安平町のパンはおいしいです）。
	35	女性	60代	道の駅的な施設
	36	女性	60代	道の駅のような場所
37	女性	70代以上	国道沿いに道の駅を造り、情報の発信（農産物、観光、第6次産業のPR）を行うことができる。	
地域産品 販売	38	男性	20代	富良野市にある「マルシェ」のような施設
	39	男性	20代	アンテナショップ
	40	男性	30代	そこに行けば上富良野のものをそろえられる。
	41	男性	50代	町の特産物やそれを食材とした料理の提供、観光スポットの案内掲示やその場所を活用したそこでしか販売しないキーホルダーなどの作製。
	42	男性	50代	特産品の販売や地元産の食材を使った食事の提供。
	43	男性	60代	特産品、農畜産物の販売、新鮮・安いでない消費者は集まらない。
	44	男性	70代以上	直売所、加工施設
	45	女性	10代	上富良野の特産品やお土産を買える施設があったらいいと思う。
	46	女性	10代	お土産屋さん
	47	女性	10代	お土産屋さん。観光客が来て、お土産を買ったり、地元の人が贈り物として買ったりできる場所。
	48	女性	20代	フラマルシェのようなお土産や食事等で町を盛り上げるような施設があると良いと思います。雇用も増えるので。
	49	女性	20代	お土産ショップや地元の飲食店がある複合施設、子供や高齢者の方が休まるような所。
	50	女性	30代	国道沿いに①上富良野特産（商工会で作ったものの知名度が低い）、②産地直送品、③パンなどの携帯食、④夏はアイス等の子供が喜ぶもの
	51	女性	30代	ハンドメイド作品、農家産直物、ラベンダー商品、お年寄りでも楽しめる所。
	52	女性	30代	わかりやすく言えばフラマルシェ的な。もう少しリーズナブルな値段で。
	53	女性	40代	お土産屋さんやテイクアウトのお弁当や地元の商品が購入できる施設があったらいいなと思います。
	54	女性	50代	駅前にある空き店舗を利用してアンテナショップを開いたら良いと思います。ふるさと納税制度の活用。
	55	女性	60代	アンテナショップ

分類	No.	性別	年代	内 容
地域産品 販売	56	女性	60代	上富良野町の特産品と飲食ができる施設。
	57	女性	60代	農産物や特産品を日常的に販売する場所
	58	女性	70代以上	上富良野の特産品があれば良いと思います。御中元、御歳暮セットがあれば良いと思います。
飲食施設	59	男性	20代	ハーブガーデンさんのような一見すると道の駅に見えるデザインでなく、焼肉店であることを全面的にアピールできるお店。豚サガリ宣伝のため。
	60	男性	20代	22時以降まで営業している飲食店（居酒屋を除く）。食べる店が少なく、営業時間も短い
	61	男性	20代	飲食店が少ないように感じる。観に来た人がゆっくりと食事ができる場所が増えると良いと思う。
	62	男性	20代	フードコート、健康ランドの様な施設、ジム。
	63	男性	20代	地元の飲食店。
	64	男性	30代	オシャレに焼肉が食べられる場所。
	65	男性	30代	飲食店
	66	男性	40代	フードパーク、上富良野は「豚」の食品が盛んなのでミート食品を多く取り入れたい。
	67	男性	60代	地元の人々、来客、観光客の利用において大人から子供まで誰が来ても満足のできる楽しめる地産地消をテーマとしたレストランの建設。
	68	女性	20代	ファーストフード、子供（赤ちゃん）と一緒に食べることのできる飲食店。授乳室のある飲食店。
	69	女性	40代	夜でもちょっと寄ってお茶できる所があったら嬉しい。
	70	女性	40代	サガリを食べられるお店。
	71	女性	40代	コロッケがホットドックの店（上富良野の特産）
	72	女性	50代	とても美味しい例えばカレー屋、ラーメン屋、パン屋、カフェなどランチできる店が少ないと思います。特別美味しいと思えないとダメです。行ってみたいけどいたことないで終わる店は人がリピートしてくれません。リピートしてもらって口コミで広がったり、ネットにあげてもらって広がっていくのが良いと思います。
	73	女性	60代	ファミリーレストラン、回転寿司など気軽に入れるお店があったら良いと思う。
	74	女性	60代	上富良野産のポークやビーフを食べられる場所
75	女性	70代以上	地産地消で地元にも観光客にも「美味しい」と喜んでもらえるような食事処を増やす。	
76	女性	70代以上	大勢で食事ができる所がほしい。	
商業施設	77	男性	10代	様々な種類の店舗を収容した百貨店のような施設。
	78	男性	20代	イオン（上記のテーマが全て達成できると思う）
	79	男性	20代	チェーン店があると、なお良いと思います。
	80	男性	20代	デパート
	81	男性	30代	イオン、すき家、マクドナルド、ミスド、コストコ
	82	男性	40代	デパート、スーパー
	83	女性	30代	マックなどのファーストフード店や、富良野のマルシェのような1つの建物の中に色々な店舗が入っている施設があったら良い。
	84	女性	30代	ネットカフェ的な感じの所
雇用・起業 支援	85	男性	50代	いろいろなアイデアのある人、やる気のある人の手助けになるような施設。
	86	男性	60代	大きな企業
	87	女性	20代	若い人達が多く（人数）仕事ができる会社をつくってほしい（パートではダメ）。
	88	女性	70代以上	障害者も健常者（高齢者）も働ける場所
宿泊施設	89	男性	20代	ホテル
	90	男性	40代	宿泊施設
	91	女性	20代	駅付近に宿泊することのできる施設。
町民交流 拠点	92	男性	20代	自習室やサークル活動、〇〇教室等に使用できるような部屋など、小～中規模の団体が利用しやすい特性があると良いと思う。自習室や演奏関連のサークルなら防音とか。
	93	男性	40代	現存の施設を有効に利用し、様々な交流や情報交換ができるソフトが必要。
	94	男性	40代	町民同士の交流が気軽にできる施設。
	95	男性	60代	もっとかみんの活用で町民の集まる所。
	96	男性	70代以上	高齢者、障害者、子供みんなが自然と一緒に過ごす場所があると良いです。

分類	No.	性別	年代	内 容
町民交流 拠点	97	男性	70代以上	参加（簡単に出入り）ができる所。
	98	男性	70代以上	高齢者、障害者、子供が自然と一緒に過ごせる場所。
	99	男性	70代以上	町民による地産地消の加工施設
	100	女性	10代	観光客と地元の人が交流できる施設。
	101	女性	20代	町民交流の中でお互いの相談ができる施設になる事や、誰でも利用可能な場所が良い（入りやすさも考慮）。高齢者やお子さんの利用も考えるとご飯が提供されるなど健康促進にもつながると思います。
	102	女性	20代	引っ越してきた人はもちろん、町内の人も観光に来た人も立ち寄れる、和やかに会話ができる交流施設が良いと思います（常に1～2人在籍して相談を受けたり、観光案内したり、町の事を説明する、冬支度のパンフレット作成）。
	103	女性	30代	遊び場兼カフェ
	104	女性	30代	多世代が集える地域交流スペース（子供から高齢者、子連れママも気軽に来られる）。
	105	女性	30代	（こども）地域食堂。かみんをもっと有効利用すべき（例えば調理室があるんだから地域食堂を開催するとか）。
	106	女性	40代	多世代交流の場
	107	女性	40代	健康相談やそこでヨガやピラティスなどのエクササイズができた、カフェ等落ち着けるスペース。
	108	女性	50代	困った時、苦しい時に受け止めてくれる人、寄り添ってくれる人が居てくれると嬉しいと思います。サービス化するのではなく、自然な形でできることが望ましいです。
	109	女性	50代	料理教室、パン作り、物作りなど日ごとにやることを変えて色々な年齢の人が交流できる場所があると良いと思います（防災無線や回覧板で流してほしい）。
	110	女性	50代	ふれあい
111	女性	60代	色々なサークルがあると思いますが、年金暮らしの人に安く提供できるピアノ教室、オカリナ、英語などあれば嬉しいです。	
112	女性	60代	質問②と関連しますが、世代間交流できる、いつでもフラット行って良いスペースがほしい。	
113	女性	70代以上	いつでも好きな時に囲碁、将棋、健康マージャン、おしゃべりなどして過ごせる場所（交流センター）。	
114	女性	70代以上	多くの町民と交流できる飲食できるサロン型。	
レジャー・ス ポーツ施設	115	男性	20代	カフェ、ダーツバー、スポーツ教室
	116	男性	20代	24時間営業の健康ランド（飲食店、宿泊、売店、風呂等を含む）。
	117	男性	20代	ボウリング場やスケートボードパークなどあれば良いと思います。
	118	男性	30代	保養施設、銭湯や体を癒す施設の充実
	119	男性	40代	夏でも冬でも元気に体を動かして遊べる屋内施設。遊具があたり人がたくさんでもサッカーが延々とできるような広い場所があると良い。
	120	男性	50代	きちんとした指導者がいるトレーニングジム
	121	男性	50代	高齢者の人の歩く施設。社教センターの上の所にありますが。
	122	男性	60代	ミニシアタールーム。普通の映画館ではやらない社会現象などを取り上げた作品を見たい。
	123	男性	60代	充実した運動施設と、汗をかいたら体の手入れができる部屋。
	124	女性	30代	土日祝関係なく、いつでも利用できる遊び場。
	125	女性	40代	温泉（スーパー銭湯）
	126	女性	40代	子供も大人も楽しめる花畑。
	127	女性	40代	アンテナショップ、農業体験、「泥流地帯」ツアー、「キッズニア」のような施設。
子育て拠点	128	男性	20代	子どもの遊ぶ所
	129	男性	40代	子供の遊び場もあると良い。
	130	男性	70代以上	孫と一緒に遊べる施設及び食事のできる所。
	131	女性	20代	屋内で0歳から小学生くらいまで遊べる所があったら嬉しい（土日も開けてほしい）。
	132	女性	20代	雨や雪でも遊べる室内の遊び場はほしいです。また、持参したお弁当を食べる（飲食スペース）ところもほしいです。
	133	女性	30代	⑤子供が遊べる遊具を含めた複合施設。
	134	女性	30代	子連れでもゆっくりごはんが食べられるお店（キッズルームとか）。

分類	No.	性別	年代	内 容
子育て拠点	135	女性	30代	多世代が交流できる仕組みのある施設。東川のせんとびゅあのような施設は参考になる。私は子育て世代です。0歳～3歳までの時期は仕事をしない（できない）女性にとって孤独です。そんな人に寄り添ってくれる人が常にいる場所がほしい。音更町子育てサロンのようなところ。
	136	女性	30代	屋内外の大規模遊具、赤ちゃん、幼児、小学生や中学生、高校生や大人も楽しめるようなコーナーがあると良い。上富良野は冬、中で遊べる所が少ない。かみんや子どもセンターは狭いので、年齢が違うとお互い気を使ってしまい遊びきれない。赤ちゃんがいるから今日はやめておこう、お兄ちゃん達が遊んでるから赤ちゃんは難しいね等となる。できれば、スーパー銭湯やプール、温泉とキャンプ場と抱き合わせであれば訪れるお客さんも多いと思う。少し高度なアスレチック的なものもあれば大人も挑戦できるのでは？また、上富良野ならではのお食事やお安い普通の軽食までとれる食堂も一緒にあると尚嬉しいです。一日中いても飽きない場所がほしい。
	137	女性	40代	①-1のような所。そこにカフェでもあれば、お昼にちよつと買いたい。スキーはできるようになっても、やっぱり中でゆっくりと思う日もある。おむつ替えシートは男女両方につけてほしい。
	138	女性	70代以上	子供たちの安心して遊べる場所。
図書・カフェ	139	男性	10代	wi-fiが使える、読書や勉強ができるカフェ。
	140	男性	20代	高齢者や学生が入りやすい学習スペースやwi-fiを整えるなどのサービス。
	141	男性	20代	図書館に大学レベルの本、教科書がほしい。
	142	男性	70代以上	フラノマルシェの様なまったく気兼ねなく利用できる場所（もちろん無料）。フラノマルシェは提供される商品が高価なのでそこが残念。
	143	男性	70代以上	町民カフェ
	144	女性	10代	本がたくさん置いてある喫茶店
	145	女性	10代	長時間いても大丈夫な回線の速いwi-fiのあるカフェ。
	146	女性	20代	富良野のマルシェにあるようなカフェ
	147	女性	40代	本屋さんがあって良いと思います。観光ガイド本やポストカードを置くと良いです。
観光案内	148	男性	10代	観光案内所
	149	男性	20代	観光案内所（総合窓口的な）
	150	男性	20代	ガイドセンター
	151	男性	40代	ガイドセンター
	152	男性	60代	観光についても個々に魅力がないと人は来ない。
	153	女性	20代	観光マップ、街歩き会
	154	女性	40代	夏はラベンダー、冬は十勝岳山スキー、外国人観光客に向けて積極的に商業施設を設けると良いと思う。夏季は日の出公園のあたりでもっと飲食、土産店があって良い、富良野スキー場に来ている外国人向けに温泉・十勝岳の魅力を知らせるとか。
	155	女性	60代	オープンな観光発信施設
	156	女性	70代以上	観光客に良いイメージを与える（美しい町、ラベンダー発祥の地としての清々しさを感じられるようにする）
情報発信拠点	157	男性	10代	自衛隊と協力し大きな施設、歴史の歩みなどをアピールできる八口物をつくるべき。
	158	男性	60代	相談に乗ってくれる保健室。
	159	男性	70代以上	観光、移住等の情報は発信していると思います。が、町内は各種小団体が多数活動しております（外見は大きな団体です）。その活動を生活情報として発信する場所を一括してできる場所。
	160	女性	20代	機能として空いている物件や飲食店の広告（クーポン）、求人や物を買ってほしいや、買いたいですなど市民の声。町や近郊での行事の案内等が良いと思います。この様なことが一つの誌面として超薄型新聞のような形として週に1～2あればと思います。
	161	女性	40代	ガイドする方がいて、おすすめはここ！とかあったら良いと思う。もちろん、外国語でも。景色がどこよりも最高だと思う。自信を持ってアピールしてください！
	162	女性	40代	町おこし協力隊はあるのでしょうか？現在もFacebookやホームページで情報はありますが、若い人がSNSで写真付きで情報発信をもっと積極的にしていった方が良いと思います。他の市町村の真似をしてみるのも一歩かと思います。

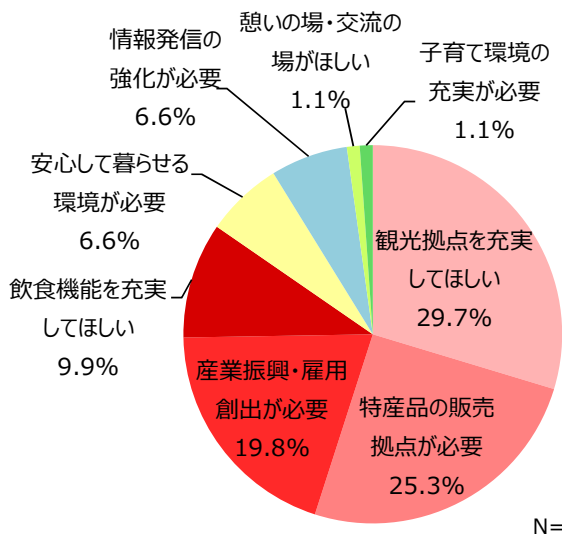
分類	No.	性別	年代	内 容
防災拠点	163	男性	20代	災害訓練施設
	164	男性	30代	台風等の避難施設の充実、洪水時の避難場所
	165	男性	30代	災害用情報掲示板
	166	男性	40代	十勝岳噴火災害は勿論、豪雨災害の常態化が予想される中、施設というよりは堤防、排水路の整備、死者を出さない避難計画等に注力していただきたいと思いません。
	167	男性	50代	被災したときに仮住まいになるような施設（自前で発電）。
防災拠点	168	男性	60代	防災コーナー。実際の泥流の地層や溶岩、そして流れてきた巨石などの展示、泥流の流れる模型、水害による土砂崩れなどの模型など。
	169	男性	70代以上	災害時の避難施設（緊急炊き出しも出来る）
	170	女性	10代	小学校や中学校だけではなく、もっと色々な場所でも防災訓練や避難訓練を積極的に行う。
	171	女性	20代	避難場所（高齢者や子供、障害者も利用できるような）。
	172	女性	70代以上	私自身、まだ災害にあった経験がないため、わからない事も多い。
その他	173	男性	20代	畑
	174	男性	30代	複合施設
	175	男性	30代	意外と犬を飼っている方が多いので犬もOKだとより良い。
	176	男性	30代	あればいい施設というより、お金がないのであれば今ある施設を活用していくべき。社教センター、かみん、公民館など色々もったいない使い方をしている。具体的なサービスは大きなジムをつくらしたりして一日ではなく、ずっと通えるような施設運用をするべきである。
	177	男性	40代	ペットの避難所、医療機関の充実。
	178	男性	50代	今ある施設を利用すれば良いと思う。
	179	男性	70代以上	産業振興も必要であり、情報発信も必要であるので複合施設は早期に設置すべき。
	180	男性	70代以上	老人が増加する中で福祉用員が少ないように思う。町の人口が減少しつつあり、移住できるシステムを考えては？
	181	女性	10代	社教のような所。
	182	女性	20代	ざっくりだけと需要と供給がマッチングする場所。
	183	女性	30代	小児科病院
	184	女性	40代	これといった案が浮かびません。候補があれば選べるかも。
	185	女性	40代	町は赤字だと思うので、このような施設とかでも今後の施設だと言っても実現には難しいのではないのでしょうか？ 去年の停電で今後の対策とかとっているのでしょうか。
	186	女性	50代	町外で働いていると、施設の利用する時間が難しいです。
	187	女性	50代	老人にやさしい介護付き住宅。
	188	女性	50代	まず施設に見合う産業、名物、行事を確立するのが先では？ 箱だけ造っても中身がなければ意味がない。
	189	女性	50代	上富良野駅周辺を再開発して活気のある町をつくる。駅前が無理のようでしたら、駅裏を検討してはどうでしょうか？
	190	女性	50代	その施設がどこにできるかによって、必要な機能は変わってくると思う。
	191	女性	50代	地熱・排熱を利用して、地域での発電、浄水、湧水利用、融雪、小型電動車、給湯、ハウス栽培、肥料作り。
	192	女性	60代	四季折々で楽しめる
	193	女性	60代	これから公営住宅を建設する予定があるならば、高層5階以上に集約してスーパー、病院等の近い所に建設しては。また、保育所等も近くにあると活気が出てくると思います。
194	女性	60代	住みやすい町です。十分です。	
195	女性	70代以上	親切な場所、人間味のある場所を望むだけです。	
196	女性	70代以上	予約タクシーはありますが、予約しておかないとだめですし、途中で降りて用事をたすこともできませんので不便です。バスだと停留所で降り、用足しをしてまた停留所で乗り帰ってこれるので。	
197	女性	70代以上	低費の老人施設や充実した病院。	

(4) 重点を置いたら良いと思うテーマ別の集計

① 産業振興

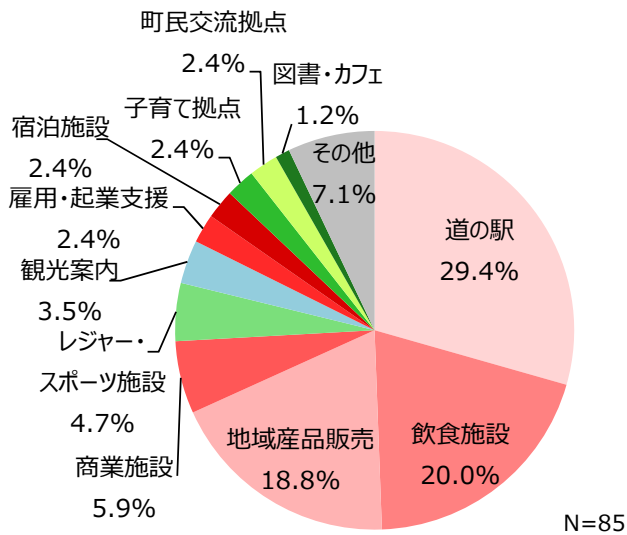
(1)の設問にて「産業振興」と回答した方の選択した理由は、「観光拠点を充実してほしい」が29.7%と最も多く、次いで「特産品の販売拠点が必要」が25.3%、「産業振興・雇用創出が必要」が19.8%となっている。

関連する希望の施設は、「道の駅」が29.4%と最も多く、次いで「飲食施設」が20.0%となっている。



理由	回答数	割合
観光拠点を充実してほしい	27	29.7%
特産品の販売拠点が必要	23	25.3%
産業振興・雇用創出が必要	18	19.8%
飲食機能を充実してほしい	9	9.9%
安心して暮らせる環境が必要	6	6.6%
情報発信の強化が必要	6	6.6%
憩いの場・交流の場がほしい	1	1.1%
子育て環境の充実が必要	1	1.1%
合計	91	100.0%

図 4-9 「産業振興」を選んだ理由



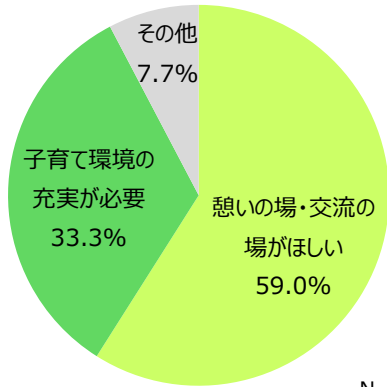
理由	回答数	割合
道の駅	25	29.4%
飲食施設	17	20.0%
地域産品販売	16	18.8%
商業施設	5	5.9%
レジャー・スポーツ施設	4	4.7%
観光案内	3	3.5%
雇用・起業支援	2	2.4%
宿泊施設	2	2.4%
子育て拠点	2	2.4%
町民交流拠点	2	2.4%
図書・カフェ	1	1.2%
その他	6	7.1%
合計	85	100.0%

図 4-10 「産業振興」に関連する希望の施設

② 町民交流

(1)の設問にて「町民交流」と回答した方の選択した理由は、「憩いの場・交流の場がほしい」が59.0%と最も多く、次いで「子育て環境の充実が必要」が33.3%となっている。

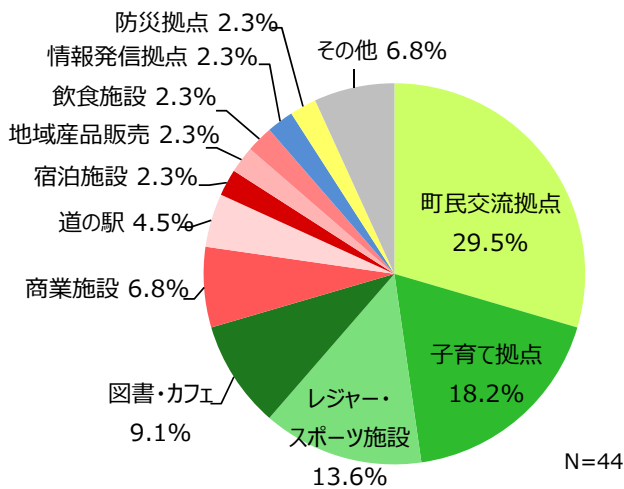
関連する希望の施設は、「町民交流拠点」が29.5%と最も多く、次いで「子育て拠点」が18.2%となっている。



N=39

理由	回答数	割合
憩いの場・交流の場がほしい	23	59.0%
子育て環境の充実が必要	13	33.3%
その他	3	7.7%
合計	39	100.0%

図 4-11 「町民交流」を選んだ理由



N=44

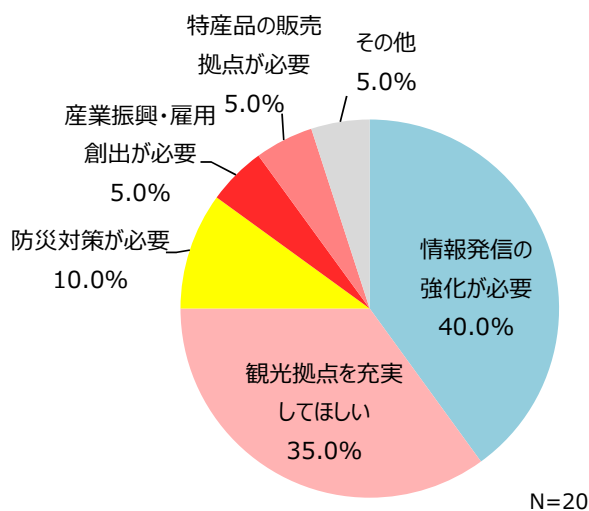
理由	回答数	割合
町民交流拠点	13	29.5%
子育て拠点	8	18.2%
レジャー・スポーツ施設	6	13.6%
図書・カフェ	4	9.1%
商業施設	3	6.8%
道の駅	2	4.5%
宿泊施設	1	2.3%
地域産品販売	1	2.3%
飲食施設	1	2.3%
情報発信拠点	1	2.3%
防災拠点	1	2.3%
その他	3	6.8%
合計	44	100.0%

図 4-12 「町民交流」に関連する希望の施設

③ 情報発信

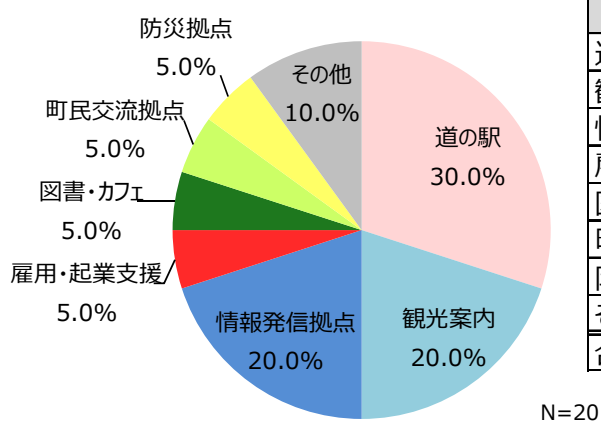
(1)の設問にて「情報発信」と回答した方の選択した理由は、「情報発信の強化が必要」が40.0%と最も多く、次いで「観光拠点を充実してほしい」が35.0%となっている。

関連する希望の施設は、「道の駅」が30.0%と最も多く、次いで「観光拠点」と「情報発信拠点」が20.0%となっている。



理由	回答数	割合
情報発信の強化が必要	8	40.0%
観光拠点を充実してほしい	7	35.0%
防災対策が必要	2	10.0%
産業振興・雇用創出が必要	1	5.0%
特産品の販売拠点が必要	1	5.0%
その他	1	5.0%
合計	20	100.0%

図 4-13 「情報発信」を選んだ理由



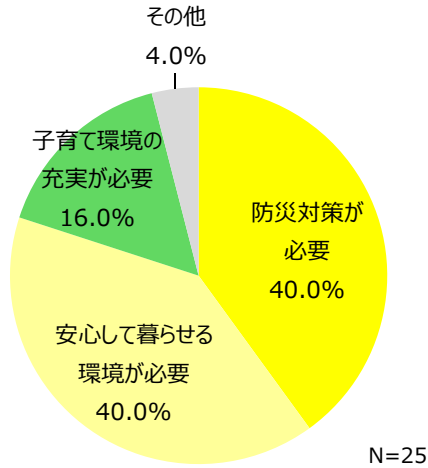
理由	回答数	割合
道の駅	6	30.0%
観光案内	4	20.0%
情報発信拠点	4	20.0%
雇用・起業支援	1	5.0%
図書・カフェ	1	5.0%
町民交流拠点	1	5.0%
防災拠点	1	5.0%
その他	2	10.0%
合計	20	100.0%

図 4-14 「情報発信」に関連する希望の施設

④ 安心安全

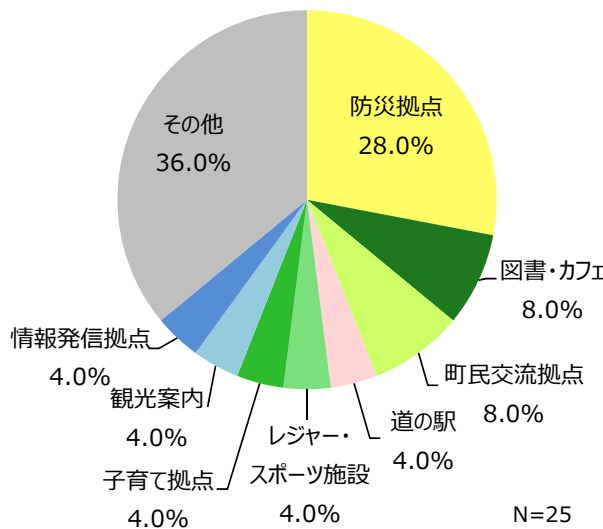
(1)の設問にて「安心安全」と回答した方の選択した理由は、「防災対策が必要」と「安心して暮らせる環境が必要」が40.0%と最も多く、次いで「子育て環境の充実が必要」が16.0%となっている。

関連する希望の施設は、「防災拠点」が28.0%と最も多く、次いで「図書・カフェ」と「町民交流拠点」が8.0%となっている。



理由	回答数	割合
防災対策が必要	10	40.0%
安心して暮らせる環境が必要	10	40.0%
子育て環境の充実が必要	4	16.0%
その他	1	4.0%
合計	25	100.0%

図 4-15 「安心安全」を選んだ理由



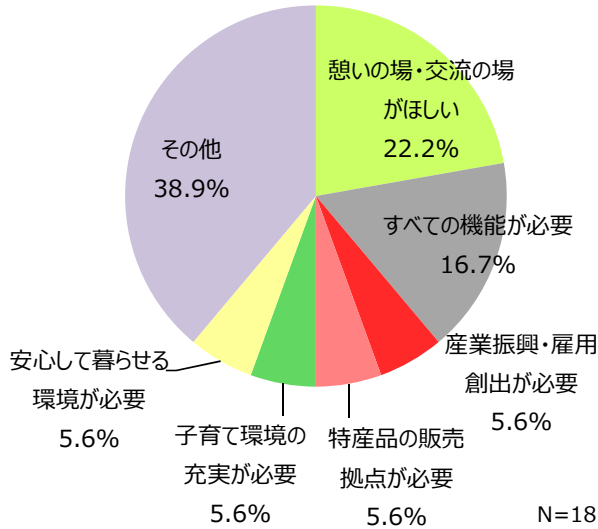
理由	回答数	割合
防災拠点	7	28.0%
図書・カフェ	2	8.0%
町民交流拠点	2	8.0%
道の駅	1	4.0%
レジャー・スポーツ施設	1	4.0%
子育て拠点	1	4.0%
観光案内	1	4.0%
情報発信拠点	1	4.0%
その他	9	36.0%
合計	25	100.0%

図 4-16 「安心安全」に関連する希望の施設

⑤ その他

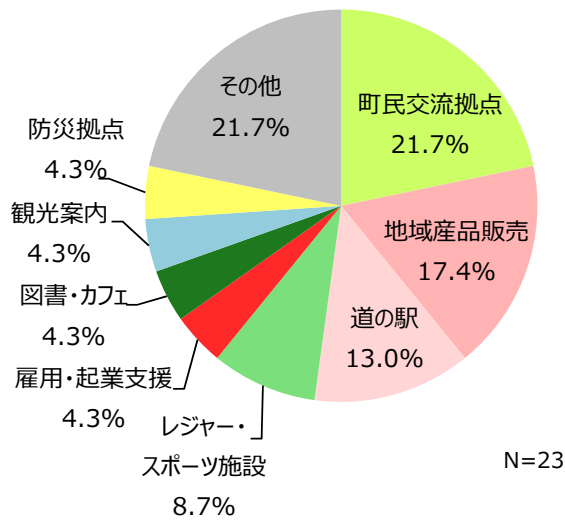
(1)の設問にて「その他」と回答した方の選択した理由は、「憩いの場・交流の場がほしい」が22.2%と最も多く、次いで「すべての機能が必要」が16.7%となっている。

関連する希望の施設は、「町民交流拠点」が21.7%と最も多く、次いで「地域産品販売」が17.4%となっている。



理由	回答数	割合
憩いの場・交流の場がほしい	4	22.2%
すべての機能が必要	3	16.7%
産業振興・雇用創出が必要	1	5.6%
特産品の販売拠点が必要	1	5.6%
子育て環境の充実が必要	1	5.6%
安心して暮らせる環境が必要	1	4.0%
その他	7	38.9%
合計	18	100.0%

図 4-17 「その他」を選んだ理由

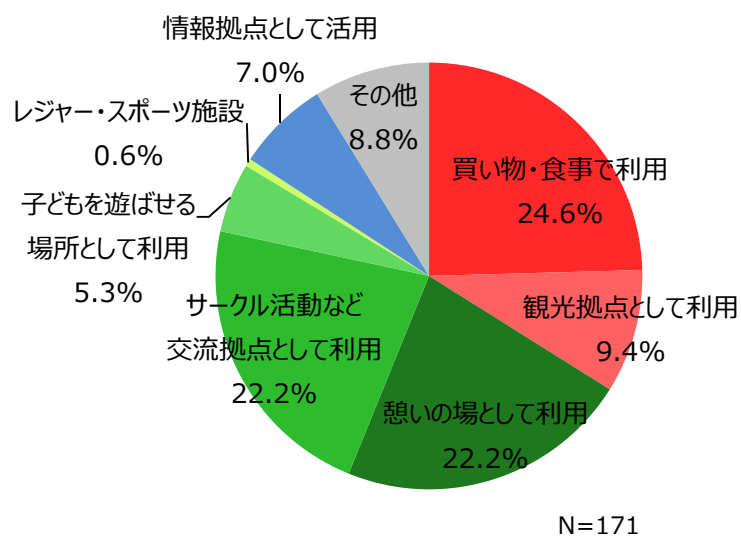


理由	回答数	割合
町民交流拠点	5	21.7%
地域産品販売	4	17.4%
道の駅	3	13.0%
レジャー・スポーツ施設	2	8.7%
雇用・起業支援	1	4.3%
図書・カフェ	1	4.3%
観光案内	1	4.3%
防災拠点	1	4.3%
その他	5	21.7%
合計	23	100.0%

図 4-18 「その他」に関連する希望の施設

4-1-3 複合拠点施設の活用方法

複合拠点施設の活用方法としては、「買い物・食事で利用」が24.6%と最も多く、次いで「憩いの場として利用」と「サークル活動など交流拠点として利用」が22.2%となっている。



分類	理由	回答数	割合
産業振興	買い物・食事で利用	42	24.6%
	観光拠点として利用	16	9.4%
町民交流	憩いの場として利用	38	22.2%
	サークル活動など交流拠点として利用	38	22.2%
	子どもを遊ばせる場所として利用	9	5.3%
	レジャー・スポーツ施設	1	0.6%
情報発信	情報拠点として活用	12	7.0%
その他	その他	15	8.8%
	合計	171	100.0%

図 4-19 複合拠点施設の活用方法

表 4-4 複合拠点施設の活用方法

分類	No.	性別	年代	内 容
買い物・食事 で利用	1	男性	10代	日用品や衣料品を買うための手段の一つにしたい。
	2	男性	20代	地域活性化、観光客集客率向上、知名度向上
	3	男性	20代	「イオン」フジ以外に買い物する場所がなく、旭川へ行き買い物することが多い。若者は苦ではないが高齢者は大変。全ての年代の方が利用しやすいと思う。
	4	男性	20代	子供から大人まで楽しめる施設。
	5	男性	20代	ショッピング等を休日に行う
	6	男性	20代	休日など息抜きにゆっくりしたい。
	7	男性	20代	遊べて何か食べるところとかあれば活用したいと思う。服屋とかがあれば尚良いと思います。
	8	男性	20代	上富良野の美味しいものが食べれたり、名産品を買えるように。
	9	男性	30代	特産物を買いきに行き、親戚や友人（道外）に送ったり紹介したりしたい。
	10	男性	30代	売上アップ！ブランド認知アップ！自分の仕事と結び付けたいです。
	11	男性	30代	町の特産物への販売、それを活かした販売。店舗。
	12	男性	30代	お土産を買う。行くところに困ったら、子供を連れて行く。
	13	男性	40代	休憩等もできるフードコートやついでにちょっとした食品が買物できるようなお店もあると、子供ともっと一緒に過ごしながら楽しめると思います。
	14	男性	40代	イトインがあればランチで使いたい。上富良野に遊びに来た人を連れて行く。町外に帰省する時、お土産を買に行き。
	15	男性	50代	特産品を知人に贈ったり、自分で購入したりしたい。
	16	男性	50代	地元の農作物を購入。観光客にも利用してほしい。
	17	男性	60代	親戚や兄弟、友達など来客があった場合に我町のすばらしさを直接PRできる場所として是非利用したい。新たに豚肉、サガリ、野菜を活用した「ここでしか食べられない」地産地消メニューの開発やそれと併せて「ここでしか飲むことができない」ビール、ワイン、どぶろくも楽しめるようにする。
	18	男性	60代	町の特産物を売れば良いと思う。
	19	男性	70代以上	地元の農畜産物や加工食品等を紹介すると共に購入できるような施設。
	20	女性	10代	イオンモールのフードコートみたいなところがあったら、学生も主婦とかも楽しめる空間になると思う。
	21	女性	10代	野菜やお土産を買いたい
	22	女性	10代	お土産屋の隣に農家さん持ち寄りの果物や農作物を売ったら良いと思います。でも、手作りの工芸品とかは誰も買わないのでいいです。
	23	女性	10代	もし上に書いたような道の駅ができるのなら、遠くに住む友達や祖母、祖父にお土産としてあげたいと思う。
	24	女性	20代	親戚や友人のところへのお土産を買う
	25	女性	20代	町全体を活性化してほしい。例えば話題になりそうなスポットやお店を増やしてほしい。
	26	女性	20代	別紙にある複合拠点施設はあっても使わないかなと思うものが多いですが、産業振興では居酒屋（チェーン店）があると嬉しいです。
	27	女性	30代	買い物に行ったり、飲食店を利用したい。
	28	女性	30代	観光に来た友人や知人に紹介したり、自身が他地域に行く際にお土産を買ったりする。
	29	女性	30代	休みの日に友人と過ごしたり、道内・道外の友人や知人が遊びに来た時など上富良野の良さや名産品を紹介して知ってもらいたい。
	30	女性	30代	他市町から来た友達を連れて行き、ランチ・デザートを楽しみたい（子育て世代でもゆっくりできるよう、ちょっとした遊べるスペースもあれば良い）。
	31	女性	30代	子供、大人、老人、観光客が行きたくなる場所・施設。雑誌が売っていたり飲食ができたり、涼めたり（水遊び的な）足湯できたり？
	32	女性	40代	今ある商店街を潰すのではなく、活かせる工夫をしてほしい。この辺りのお土産というつついついラ・テルカ赤川さんで購入。もっと色々選べて楽しい場所にしてほしい。
	33	女性	40代	地元の野菜を買える場所
	34	女性	40代	地元の新鮮な野菜や上富良野ボークや加工食品の買物。地元の食材を使ったカフェやレストランなどでランチやテイクアウト。
	35	女性	40代	気軽に立ち寄れるような施設が良いです。お休みの日などに利用したいです。
	36	女性	40代	子供と一緒に花を見たりお土産を買ったりしたい。

分類	No.	性別	年代	内 容
買い物・食事で利用	37	女性	40代	特産物はもちろん、いろんなイベントもできる。
	38	女性	50代	犬が居るので、ドッグランへ行くついでに新鮮な野菜を買ったり、外で飲食できるスペース（公園みたいな）があると嬉しいです。
	39	女性	50代	買い物に行ったり、友達と行き何かをそこで食べたりして時間を過ごすのもいいかなと思いました。1年を通して人が集まる所にしてほしいです。
	40	女性	60代	日の出公園での夏限定の野菜販売（7月8月）、キャンプの人向けにいっぱい売れます（豚サガリ、かみふらのポークの販売）
	41	女性	60代	農産物、加工品の販売
	42	女性	60代	買い物や散歩、食事などで立ち寄りたい。
憩いの場として利用	43	男性	10代	休みに家族皆で行きたい、一日いても楽しい場所にしてほしい。郷土館、資料館、図書館、体育館、飲食全てを一つに。郷土館、資料館、図書館は今でも維持費、管理費がかかっているのが大変。
	44	男性	10代	休日などにのんびりできる施設。格安でカフェなどを併設させる。コーヒー100円など。高齢者や障害者の施設をまとめるべき。あちこちにあって無駄。
	45	男性	10代	学校外での勉強会や待ち合わせ時間までの暇つぶし、読書をしながらカフェでつろぐ、高齢者へのセブピー効果、年齢に関係なくふれあいを楽しむ等。
	46	男性	20代	お茶を飲む
	47	男性	20代	時間があったら立ち寄り、本を読んだり勉強して家に帰るという一連の流れ（ルーティーン）をつくって、勉強することを習慣としたい。
	48	男性	20代	休日等に過ごす機会が増えると思う。そもそも現在、休日を上富良野で過ごすことが少ない。
	49	男性	20代	観光客がいても地元の人が入って落ち着ける空間でなければ利用しないと思う。
	50	男性	30代	スポーツセンター、風呂やコミュニティー等の施設があると良いと思う。
	51	男性	30代	上にも書いたが、大きなジムや図書館など全ての施設を集めるのが一番良い。なんにせよ、子供から大人までずっと通ってメリットがある施設にするべき。特にお年寄りを気にせず子供達のためにつくっていく、子供達のためにつくれば町外からの利用が増える。秩父別が良い例。お年寄りのための施設しかないのが異常である。
	52	男性	40代	トレーニングジムがあれば体を鍛えたり、多くの方が健康に役立つ。
	53	男性	40代	就業後や休日の余暇を過ごすために活用したい。
	54	男性	40代	休憩や憩いの場として使いたい。
	55	男性	50代	ジムとカフェみたいな感じ。
	56	男性	50代	休日の憩いの場
	57	男性	50代	健康のためのウォーキングしか運動をしないので。そんなコースなどを整備してもらえば。
	58	男性	60代	のんびりと体を動かして時間を過ごしたい。
	59	男性	60代	展示物の見学、特産品の買物、観光スポットと新たな発見と確認、探索、カフェでのつろぎ、ミニ図書館での読書など。
	60	男性	70代以上	町内の会館等を利用して、もっと運動のできる所を提供してほしいです。
	61	男性	70代以上	老人、大人、子供がいつでも（特に冬）運動できる施設。
	62	男性	70代以上	茶談会などで集えられるようなカフェ機能もあればベストかな。
	63	女性	10代	リラックスや息抜き
	64	女性	10代	休みの日に行ってゆっくりしてみたい。
	65	女性	10代	休みの日や放課後に友達と寄り道したり遊んだりしたい。
	66	女性	20代	散歩がてら立ち寄ってのんびりしたい。
	67	女性	20代	休日に友人、家族などと気軽に過ごす。食事できるお店、足湯、ご当地ソフトクリーム店、手作りで短時間に何かできる場所（パン、チーズ、アイスクリームなど）。休憩スペースが広いと良いと思う。
68	女性	30代	カフェ等があれば日常的に利用したい。観光客にも便利で町民も利用しやすい施設をつくってほしい。	
69	女性	30代	親を連れ、カフェ的な利用や映画を観るなどしたい。	
70	女性	40代	広大な土地を利用して、畑の作り方（安心安全な）などを教えてくれる場があれば良いと思う。	
71	女性	40代	友人たちと話をしたりするカフェとか勉強したりする場所（今の図書館がせまいので）	

分類	No.	性別	年代	内 容
憩いの場として利用	72	女性	40代	冬場スポーツを楽しめるドームの様な所（体育館も冬場は取り合いで、子供達の部活や少年団も思うようにできない）。
	73	女性	40代	図書館の本をゆっくり読みながらカフェでくつろぎたい。帰省する時、または上富良野に道外からの友人が来た時、すぐに地元のお土産を購入したい。インターネットでも購入できるようにしてもらいたい。
	74	女性	40代	休みの日や仕事帰りなどに立ち寄って過ごしたい。
	75	女性	50代	上富良野にはあまりカフェがないので、友人とゆっくりお茶して過ごしたい。
	76	女性	60代	映画鑑賞、踊り披露、カラオケ、高齢者の運動
	77	女性	60代	ウォーキングコース、公衆トイレやベンチ等も整備し、個人の健康管理に役立てては。
	78	女性	70代以上	季節によって参加できるような屋内でできるスポーツ、運動等
	79	女性	70代以上	その施設にちょっと一服できるような場所があると良いと思います。
	80	女性	70代以上	展望台、カフェ、図書館、食堂を併設し、町内外が集合できる憩いの場とする。
サークル活動など交流拠点として利用	81	男性	10代	その施設を使ってイベントを開いたり、町の人だけではなく他の町からも来てもらえるような事をする。
	82	男性	20代	友人を連れて行きたいです。
	83	男性	20代	自身は外出をほとんどしないので活用はしないだろうが、そういった消極的な人間でも利用したくなる所があると良いと思う。実現可能性を度外視するなら、月に一度か2ヶ月に一度程度くじやビンゴをすれば多少興味は湧くし、子供なら尚のこと参加したがるのではと思う。
	84	男性	40代	町民の交流（世代間含む）はかみん、公民館を活かすべきと考えます。
	85	男性	50代	普段の生活で困っている人のためにボランティアの活動があれば参加してみたい。
	86	男性	60代	特に冬季は幼児・小学生・中学生・高齢者などが集えて交流ができ、そこにはコーヒー店やレストランがあれば一日過ごせる拠点（子供の遊び場、ボランティアセンター、読書、イベント等）。
	87	男性	60代	丸1日楽しめるような老若男女が集まれる施設
	88	男性	70代以上	趣味の会が無料で使用できるようにして、多くの町民が利用できる様に願う。
	89	男性	70代以上	週1か月1でも良いのでポケットティッシュ、玉子（無料もしくは10円などの破格）などのイベントがあれば多数集まること間違いなし。
	90	男性	70代以上	現在の社教センターを利用しては。
	91	男性	70代以上	高齢者が最近は多くなり、もちろん私もそうですがその分子供が少なく感じますので、絵画を描いたり、趣味、展示会等で、又障害者の方もコミュニケーション等ができる楽しい毎日を過ごすこと！
	92	男性	70代以上	各町内会等、各市町村の交流、競技。
	93	男性	70代以上	地元の人達が地産地消の食品を製造できる施設。
	94	女性	10代	年代関係なく、町民全体が交流できる。少しの休憩など。
	95	女性	10代	友達と交流したい。
	96	女性	10代	友達とかと気軽に行ける場所になると良いと思う。
	97	女性	20代	1日のんびりできる施設が良い。温泉やご飯を食べたり、知らない人と何気なくお話ができる施設で本音が聞けるリラックスした場所がほしい。体育館（小さめ）や図書館があっても良いと思います。
	98	女性	20代	上記の施設ができれば利用させていただきたいですし、同じように困っている人を助きたいので是非働きたいと思います。
	99	女性	20代	子供と一緒に他家族との交流
	100	女性	20代	町民交流は夏休み等で学校や公園を使いラジオ体操などでお年寄りから子供まで集まれ、健康面も良くなるので良いと思います（参加で飲み物をつける）。
	101	女性	20代	今の上富良野の憩いの場的なところは行っても誰かしら知っている人がいてゆっくりできないので、一人や少数で本当にリラックスできる環境がほしい。個室とか。音楽療法などを軸に交流が生まれる場所がほしい。
	102	女性	30代	ちょっとしたワークショップができるスペースがあると様々な講師を招き、例えば上富良野産小麦のパン作り、ハーバリウム、ソーセージ作り、チーズ作りなどを皆で楽しみ、住民同士の交流を深める。

分類	No.	性別	年代	内 容	
サークル活動 など交流拠点 として利用	103	女性	30代	私は妊・産婦、産後のママ、不妊の方、小中高の女子学生などの女性全員から女性に関わる人々（男性・マイノリティなど）全ての方々が気兼ねすることなくフラット立ち寄れて、時間を過ごせたり何かのお教室ができるスペースがあったりするくらいいいのでは？と思う。	
	104	女性	30代	色々な年齢層の方が楽しめる施設なら、こんなところもあるよと道外の知り合いも呼びやすいので友人とキャンプをしたい。誰かの家ではなくて、そこに自然と子供達も集まれば地域の交流の場になると思う。温泉や休憩場所もしっかりあれば高齢の方まで楽しめる。	
	105	女性	40代	加工所は古いので、きれいな加工所みたいなのがあったら冬楽しそう。	
	106	女性	40代	お友達を呼んだり、同窓会を開いたり、自分の町に招待や町を紹介したいです。	
	107	女性	50代	人とのつながりを楽しめる地域をつくれることが望ましいです。上富良野の人口であれば福祉にもっと力を入れれば素敵なまちづくりができると思います。福祉分野に力とお金をかけてください。現場の声もしっかり聞いてください。	
	108	女性	50代	1人でも友人とでも気楽に参加したり、異年齢の方とも交流していきたい（カフェもあるといいですね）。	
	109	女性	50代	独居老人のための参加しやすい場所と催し物。	
	110	女性	50代	人と人のふれあい、催しで、イベントのような物をして欲しい	
	111	女性	60代	趣味の会。豊かな暮らしに結びつく様に楽しめる物を選んで参加したい。買物（質の良い物）。お客さんが来た時に連れて行きたい。家族がそろった時、出かけて行ける場所。	
	112	女性	60代	上富良野町では、主婦の8割以上はパートやアルバイトに従事していると聞きます。利用するとしたら、お年寄りか子供が多いかと。私たちの年代以上になれば、何かしら交流の場として利用したいです。	
	113	女性	60代	特産日と考えた時、情報発信も必要であり、三世代の交流の場は必要不可欠ではと考えます。趣味の会、イベント、サークル等が必然的に関わってくる事を考えた時、どの様な部分を共有の場にできるかを思います。当然、行政との部分の大切さを感じます。	
	114	女性	60代	お茶したり話したり気軽にいける所	
	115	女性	70代以上	自分の好きな時に囲碁、将棋、健康マージャン、おしゃべりなどして過ごせる交流の場所。	
	116	女性	70代以上	友人とおしゃべりしたり、食事したり、体操したりのんびり過ごす。	
	117	女性	70代以上	お友達と自由に使用できる施設があると良いと思います。	
	118	女性	70代以上	心身共に健康でいられるような充実した行事や催し。町民が自由に使えるような施設。	
	観光拠点として利用	119	男性	20代	観光のために親戚や友達に紹介したい。
		120	男性	20代	町民の利用も大切ですが、観光客の集客も狙いたい。
121		男性	50代	この管内はキャンプ場やホテルを含め、観光客の拠点として利用されることが多く、情報発信として道内の観光に関する豊富な情報集約施設をつくれれば多くの観光客が集まるのではないかと？観光資源は他の市町村が頑張れば良い。	
122		男性	50代	道の駅のようなドライブしている人が寄れるところ。	
123		男性	60代	観光ガイド	
124		男性	60代	道の駅と上富良野駅、商工会、観光協が入る複合施設。	
125		男性	70代以上	道の駅のように、観光客を立ち寄れる施設にしてほしい。	
126		女性	20代	地元や観光客が気軽に利用、休憩できてコミュニケーションなど交流できたらいいなと思います。	
127		女性	20代	観光の情報収集、町民によるイベント	
128		女性	40代	観光客に上富良野のおすすめスポットとして紹介できる場所にしたい！豚肉や地ビール等が食べれたり、買えたりする場所。	
129		女性	40代	観光客との交流をし、上富良野の人口を増やす。	
130		女性	40代	町外から友人や親戚などが来た時に案内したい。	
131		女性	40代	農場体験できる場所は富良野圏でも意外と少ないので、牛・豚等の農場や畑など、観光客が気軽に「上富良野」を体感できるスポットとそれらを気軽に食べたり、買ったりできるスポットがあると楽しいのでは？と思います（地元民はあまり来ないかな）。安く野菜が買えれば地元民も来やすい。	

分類	No.	性別	年代	内 容
観光拠点として利用	132	女性	40代	町民以外の知人が上富良野に遊びにきたら案内したいです。新鮮で美味しい野菜はとても魅力です。
	133	女性	50代	観光客も地元の人にも楽しめるような「フラノマルシェ」を見本にした施設が良いのでは。
	134	女性	50代	なにか全国に伝わる大きな話題というか、有名な物、建物作れば良い。上富良野ならではの・・・の。旭川の旭山動物園みたいなイメージ。
情報拠点として活用	135	男性	20代	情報交換の場にします
	136	男性	30代	災害用の情報収集等
	137	男性	50代	炊き出し訓練をし、その後町民との交流。
	138	男性	60代	町の全ての情報が確認でき、案内のエキスパートを配置してある施設。
	139	男性	60代	病院に行ったら良いのかもしれないが。
	140	男性	70代以上	情報の収集。参加できることは参加したい。
	141	女性	20代	町でのイベント等の情報を得たりしたいです。
	142	女性	20代	町内全体（地域ごとにでも）、避難訓練を行ってみては。
	143	女性	20代	情報では移住情報は必要かと思います。
	144	女性	20代	十勝岳を有しているため、防災の拠点となる使い方が良いのではと思う。
	145	女性	40代	気軽に立ち寄れる場所。町の情報が得られる場所。
146	女性	50代	身近ないろんな相談事を気軽に言える場所があれば良いと思います。	
子どもを遊ばせる場所として利用	147	男性	20代	「マルシェ」子供が室内で遊べる遊具があれば親子で行ける交流も取れそう。他の年代、子供がいない方はカフェにイスがあれば利用する方もいると思う。
	148	男性	20代	外で遊べない時に活用したい
	149	男性	30代	休日は子供と遊ぶ
	150	女性	20代	小さい子供がいるので、わざわざ遠い所に行かないで遊ばせたい。
	151	女性	20代	自衛隊が駐屯しているおかげが町の出生率が高いほうである。しかし、子育てに関する施設が少ないように感じるため、子供と遊べる施設が良い。
	152	女性	20代	仕事をしているため、利用するとしたら土日、祝日になるかなと思います。休みの日はできるだけ子供の体力を削りたいので、走り回れるスペースがあるとありがたいです。ただ、年齢別のスペースが必要だと思います。
	153	女性	30代	主人がいない日（土日なども）、お友達親子と誘い合ったり、時には親子だけで遊びに行き子供が飽きるまで遊ばせたい。できれば昼ごはんも済ませたい。持って行ったお弁当を食べれる場所があったり、カフェ的な場所があったりするとゆっくり過ごせていいなと思います。
	154	女性	30代	子育てで活用したい
	155	女性	30代	私は子育て世代なので、その視点になりますが0歳～3歳までの子育てはとても孤独で大変なので、フラッと行って安らげる場所をつくってほしい。音楽が流れる中、安価でランチやお茶ができる場所。
レジャー・スポーツ施設	156	男性	40代	運動系は社教センター（ただしジム系のマシン類はもっと設備の充実を求める）と現状を活かすべきと考えます。
その他	157	男性	20代	活用しない（たぶんみんな最初だけ興味を示して見に行くとと思うが、すぐ飽きると思う）。
	158	男性	40代	入口と出口をしっかりとらせる
	159	男性	40代	個人的に複合拠点施設は必要だと思いません。「あつらいいな」という安易な考えで着手せず、我々の次の世代の事も考えながら「白紙」も選択肢に含めて時間をかけて議論していただければと思います。
	160	男性	50代	地方で働けるシェアオフィスを設けてはどうか。
	161	男性	60代	自分は活用しない
	162	男性	60代	雇用の場
	163	男性	60代	複合拠点でなに。
	164	男性	70代以上	他の市町村を見学してよく見て来てください。イベント等も含みます。
	165	男性	70代以上	多くの町民が必然的に利用し易い施設。
	166	女性	20代	とにかく仕事ができる会社（正社員）が町にきてほしい。土地は空いているのでしょから。次々に新しいアパートが建っていくなら、会社もつくと若者が戻ってくる町になってほしい。

分類	No.	性別	年代	内 容
その他	167	女性	50代	まず施設に見合う産業、名物、行事を確立するのが先では？箱だけ造っても中身がなければ意味がない。
	168	女性	50代	自然災害に備えるだけでなく、エネルギー問題を解決する町になれば、住みたい人が増えるように思います。鉄道の存続にも一役果たすものだと思います。
	169	女性	60代	どこにできるかによって歩くことしか移動手段を持たない老人はそうそう利用できません。町民主体なら街中が良いのか？
	170	女性	70代以上	家は農村地区で年寄りです。町へ出るのも遠いですし、病院に行くにしても大変です。ハイヤーも予約ですし、施設利用はあまり考えられません。若い人の考え、アイデアで町発展よろしくお願いします。
	171	女性	70代以上	高齢になってきているので、交通の手段の充実を希望します。

4-1-4 複合拠点施設の整備に関する意見（自由回答）

複合拠点施設の整備に関して、施設整備の方向性や具体的な希望、場所についての意見が多い。

表 4-5 複合拠点施設の整備に関する意見

分類	No.	性別	年代	内 容
方向性	1	男性	10代	よく考えますが、上富良野は今のままでも良い。
	2	男性	20代	上富良野の名物である豚サガリや温泉、十勝岳、ホップ、ラベンダーなどを全て体感できるようなところがあったら良いと思う。
	3	男性	30代	子供を連れて遊びに来る共園（昼間）やコミュニティーの場所。
	4	男性	40代	美瑛や富良野の観光地の隙間という存在になってほしくない。
	5	男性	40代	上富良野には素晴らしい観光資源が多くあり、同時に素晴らしい人材も多く存在していると思います。これらの個の力を「複合」してラグビー日本代表のようなワンチームとなるために絶対に施設が必要なのか？問われれば私はNOだと思います。観光協会、商工会、住民会が最大限の力を発揮できるよう行政の方の働きかけを切に願います。
	6	男性	50代	廃校等、もったいない施設等を宿泊施設、合宿施設とし、産業振興課はPRに頑張ってもらおう。中国人に土地は売らないこと。
	7	男性	60代	他町村にはないアイデアが詰まった施設を望む。
	8	男性	60代	無料で施設利用ができること。
	9	男性	60代	何か一つ、日本一のものをつくる。
	10	男性	60代	商工会と観光協会を一体化することが必要。
	11	男性	70代以上	色々なものを一つにする人ではなく、何か特徴的なものにすればインパクトがあり、町外からも訪れる人が増えると思う。
	12	女性	10代	田舎すぎない田舎にしてほしいです。
	13	女性	10代	社会教育総合センターとは何が違うのですか？
	14	女性	10代	季節ごとに展示するものが変わるコーナーをつくと、それを見に来る人が増えると思う。
	15	女性	30代	上富良野はかみんのお風呂やプールなど規模が中途半端だと思う。お風呂ならサウナや水風呂まであればいいのに。プールも狭いし、対象がウォーキングの高齢者？せつかくの温水プールなのだから、子供のプール教室などももっと開けばいいのと思う。道外の子に比べてまともに泳げる子が少ないのでは？惜しい施設が多い。せつかくお金をかけるならしっかりとそれなりに大規模な施設をつくってほしい。
16	女性	40代	私は道外から北海道へ移住してまだ数年です。北海道は道民は気づいていないすばらしい物事がたくさんあり、いつももったいないなあと感じています。都会には何でもあるけど、田舎にはお金では買えない物が山ほどあります。それは都会にはありません。【星がとてもきれい】私は天の川を人生で初めて上富良野で見ることができました。去年の地震の時の停電時には、それはもう鳥肌が立つほどの満天の星空を見ることができ、家族で停電を楽しんだほどです。【十勝岳のPRをもっとしてほしい】以前洞爺湖に行った時、有珠山ジオパークを散策しました。噴火当時の生々しい建物を目の当たりにしつつ中々ハードな散策路を歩きました。子供達も一緒に歩きました。十勝岳も子供の学校で「親と子の～」という砂防ダム見学に行きましたが、あそこに参加するまで十勝岳の怖さもこんなにすごいダムがあるのも知りませんでした。なんと言っているかわかりませんが、活火山に親しむ場があっても良いのかなと感じます。登山客は今もたくさん来ますが、もうちょっとライトな層に周知するもしくは周知できる施設があると楽しいかなと思います。【お水も空気も食べ物も美味しい】しかも、源泉掛け流しの温泉もある。野生動物もたくさん、雪もたくさん、自然もたくさん。すごい魅力的なところですよ（しかもお金かからない！）。（私は関東から越えて来て、中々私のように長年住んだ都会から田舎へ移住する人はいないと思いますが、みんな北海道に憧れがあり行ってみたい、できれば住みたいと思っています。でも、住む・移住はハードルが高い。雪が多くて氷点下の世界なんて死んじゃう。車の運転怖すぎるとしています。だから住むのは無理でも体験してもらおう方向で考えていると良いかと思っています）。長々すみませんでした。より良い上富良野になりますように。	

分類	No.	性別	年代	内 容
方向性	17	女性	40代	採算がとれる施設にしないとダメだと思います。
	18	女性	40代	せっかく造るのだから、立派な物を！そうすることで、立ち寄る人も増え、無駄ではなくなる！道の駅が大好きなので、いろんな所に寄りますが、子供が遊べる所、ドーム、温泉等めずらしいものがあれば遠方からも人が来ると思います。ファミリーランドとか？ちょっと遊べる所もほしい！
	19	女性	40代	複合拠点の施設の外にもペットと過ごせる施設も考えてみてはいかがでしょうか。
	20	女性	40代	町民のためであると思いますが、外の人を受け入れない雰囲気がないようにしてほしいです。道内のある町では、観光に力を入れていましたが実際には内輪でかたまり、外から来た人を受け入れない雰囲気がありました。悲しかったです。
	21	女性	50代	上富良野の規模であれば方向性が決まれば動けるはずで。将来をしっかりと考えていけたら幸せになれると思います。福祉、子育てに力を入れてほしいです。
	22	女性	50代	我が町が近隣市町より観光で後れをとっている事実を重く受け止めるべきです。立派な用紙使ってますね？
	23	女性	60代	現状維持
	24	女性	60代	あまり多くの機能を兼ね備えと中途半端な施設になる可能性が大きいので、内容を絞らないと町の財政に大きな負担がかかると思う。
	25	女性	60代	道の駅的な誰でも気軽に立ち寄りできる所で町の特産品等の入手ができれば良いと思う。
	26	女性	60代	公共的施設がそれぞれ離れている事も気になる一つであります。
	27	女性	60代	複合拠点施設ありきになっていませんか？集中させれば管理費など安くなることもあるでしょうが、不便もないです。道の駅的なものはよほど特徴がないと来客はできないでしょう。他にたくさんありますから。許すなら病院を共に考えてください。一番心配です。
	28	女性	70代以上	小さな場所を各所につくる（現在ある中茶屋のような場所）。空き店舗の活用で多くの場所（色々な地域）に点在させる。自分の家のすぐ近くにあること。
	29	女性	70代以上	図書館の充実
30	女性	70代以上	若人方の働く場所、又は年寄りの買い物等とても不自由です。	
施設	31	男性	10代	駐車場は施設と同じくらいの面積で、駐輪場もあると嬉しいです。
	32	男性	20代	ハーブガーデンさんよりも、富良野市のフラノマルシェのような開放的で中に何があるのかが一目でわかるような施設であってほしいです。
	33	男性	20代	マルシェ感を出してほしい、SA感でも可
	34	男性	20代	美瑛のピエール、すごく良かったです。
	35	男性	70代以上	誰でも気兼ねなく出入りできることが重要。冷暖房完備で室内適温。
	36	男性	70代以上	駐車場スペースの確保
	37	男性	70代以上	施設のバリアフリー化と水洗トイレの充実化
	38	女性	10代	自転車を多く止めれる駐車場
	39	女性	20代	雰囲気の良い、居心地の良い施設を望みます。
	40	女性	20代	きれいでバリアフリー、光がたくさん入る開放的な空間。
	41	女性	20代	それなりの駐車場はほしいです。
	42	女性	30代	ごはんを食べる場所はイスではなくて、座敷のような感じが良い。
	43	女性	30代	室内、室外の大きな公園もあつたら良いと思う。ちつくとカピ・エールのな。
	44	女性	40代	道の駅のような駐車場は広めでWCも利用できる感じだと、立ち寄った際に施設内ものぞいてみようかなと思う人が多くいると思います。大変ですが、頑張ってください。
	45	女性	40代	駐車スペースは広いほうが良い。冬は雪と遊べるような何か。
	46	女性	40代	明るく、バリアフリーの施設。
	47	女性	50代	ニセコ町に「綺羅の湯」という温泉がありました。広い休憩所、地元の野菜や手作り品、パン屋さんもありFMの放送もしていました。会議室のような所もありました。そのパンが美味しいからと温泉に入りパンを買って帰る人がいました。目玉になるものが何かないとダメですね。
	48	女性	70代以上	現見晴台を拡張し、大型駐車場をつくる。
49	不明	70代以上	公民館を回収、大型施設を建設。町民の憩いの場所や多目的広場、各種行事ができ、または道の駅など入居、観光にも力を入れてはどうか。	
場所	50	男性	10代	観光客や通勤通学している人達のためにも、駅の近くに設置してほしい。
	51	男性	20代	夏場に観光客で渋滞になる場所は避けてほしい。
	52	男性	50代	人が集まりやすい駅周辺に整備してください。町がさびれていきます。

分類	No.	性別	年代	内 容	
場所	53	男性	50代	国道沿いに道の駅を作ってほしい（既存の施設を利用しても良い）。	
	54	男性	60代	上富良野の特徴として観光の目玉の観点から、駅の近くに施設があれば最適と思います。1階はイベントや情報、案内、ボランティアセンター。2階は遊び場（木を使用した用具）、飲食、くつろぎ場、会議場。3階は展望台など。	
	55	男性	60代	交通の便が良い所（離合集散に適していること）。	
	56	男性	60代	建設する場所は深山峠、里仁地区の国道沿いや、江花地区が食事と併せて景観を楽しめることができるため希望する。	
	57	男性	70代以上	景観も良く観光客の交通アクセスが良い所	
	58	男性	70代以上	街中から歩いて行ける近さの国道に隣接しているといいな。（通過客も呼び込めるような。）当別の「道の駅」のような感じですかね。	
	59	女性	20代	複合拠点施設が完成した場合、町のイベントが開催されることが予想されるため現在の日の出公園よりも使い勝手の良い会場があったら良いと思う。	
	60	女性	30代	車で立ち寄りやすい場所（国道沿い）、大きな駐車場があると寄りやすい。JRはあてにならない。	
	61	女性	40代	場所の予定地が日の出公園の横かも？と聞きました。あそこは冬、スキー少年団とかで車が結構来るし、道が混みそう。国道沿いが理想です。	
	62	女性	40代	普段、私は車に乗らないので徒歩で移動します。なので、家から遠い所にできて利用する機会は少ないと思う。	
	63	女性	40代	十勝岳が見える場所（見晴らしが良い所）に建設してほしい。2～3階に宿泊できるスペースをつくっては。	
	64	女性	50代	建設する場所がどこかによって、必要な機能は変わってくると思う。国道沿いなど観光客も使用する可能性があるなら、産業振興の機能は必要だと思うし、あまり観光客が立ち寄りそうにない場所に造るのなら住民サービスの機能は必要だと思う。	
	機能	65	男性	30代	買物など旭川とかに行かなくてもそろえられる施設。天気が悪くても子供が魅力ある遊び場。
		66	男性	50代	大型温泉浴場、泊まり、日帰り施設。
67		男性	50代	ちょっとしたパン屋さんやソフトクリームや、ちょっとした和菓子とか提供できる施設。田舎を売る。空港でお土産を買うので、現地で消費するもの。	
68		女性	10代	富田ファームや富田メロンハウスみたいにオリジナルの商品が上富良野にもあったら良いと思います。	
69		女性	10代	wi-fiと半個室のようなくつろげるスペースや席。	
70		女性	20代	何かあった時に困るので、非常用の施設があっても良いのかと思います。	
71		女性	20代	複合ではないですが、設備のしっかりとした会員制のスポーツジムがほしいです。	
72		女性	30代	「販売」できるスペースがあると町も盛り上がると思います。ハンドメイドも盛り上がっているし（これまで何かのイベント等でPRする他なく、かといってスーパーだとマージン等があるので気軽に）。	
生活	73	男性	20代	旭川や富良野に行かなくても生活用品、家電等充実してほしい。	
	74	男性	30代	全般的に物価が高いと思うので、特に食品がもう少し安く手に入るような環境をつくってほしい。ちなみに水道代も高いと思います。どうにかならないものでしょうか。	
	75	男性	70代以上	主人は2年前より町立老健に入所。時々外出（家）する時、送迎を使用できるようにしてください。	
	76	男性	70代以上	特老施設の増床。今の親でも他の市町村にお願いしなければ入所できる場所がない状態です。これから団塊世代が益々入所するところがなく、大変だと思います。人口が半分の中富良野ができて上富良野町ができない。話題にならないのも不思議です。早急をお願いします。	
	77	女性	50代	森林浴が楽しめる公園があれば良い。	
	78	女性	60代	ラベンダー号や十勝岳線などのバス停があると良い。	
	79	女性	70代以上	病人さんが安心できる所、これから老人が多くなります。	
	80	女性	70代以上	車で行くことができない人達にバスなどの送迎。	
	既存施設	81	男性	10代	町民は社教などの施設はただにすべき。たいした収入にはならないのなら、利用時間延長など利便性を上げる。
82		男性	20代	施設の建設に多額の税金を使うのではなく、既存の建物に機能を追加し、町民の日々の生活のため子供の医療費を無料にするなどのところに税金を使ってほしい。	
83		男性	70代以上	公民館が老朽化しているので、その機能も兼ねる施設としても必要と考える。	

分類	No.	性別	年代	内 容
既存施設	84	女性	30代	役場、保育所各行政機能を分ける必要はないと思う。役場に行ったついでに子供を遊ばせることができたり、育児相談できたり、子供を預けたりできると楽です。
	85	女性	40代	日の出山をもう少し頑張って整備したら良いと思う。
	86	女性	60代	廃校施設の利用はないのでしょうか？利用するにあたって、料金は発生するのでしょうか？施設従事（管理）者に対して有償なのでしょうか？
検討方法	87	男性	30代	時は金なり。早くつくってほしい。さびれる前に。
	88	男性	30代	このアンケートをとったのであれば本気で進めていただきたい。
	89	男性	70代以上	基本計画を早く策定し、実現してもらいたい。
	90	女性	20代	他の市町村から力を借りる。意見交換。プロの意見を借りる（お金がかかっても仕方がない）。
	91	女性	50代	美瑛にできて、上富良野にできないことはないと思います。町民検討会議の皆様、頑張ってください。
費用	92	男性	20代	大きな施設を建てるということは維持管理の費用も多くなってくるので、上手に町のお金をやりくりして進めていってほしいと思います。
	93	男性	40代	道の駅とか観光の拠点施設を！という意見を時々耳にするが、全く必要ないと考えます。観光協会が情報発信をするだけの機能を持っておらず、無駄となる。また、新たな施設を建てれば、その維持に費用が常に必要となる事を考えなければならない。
	94	男性	50代	税金は上げないでほしい。非正規なので。
	95	女性	10代	あともう少ししたら町立病院や公民館の建て替えや改修があると思うので、その時のために今はいらないと思います。
	96	女性	30代	無駄なものはつくりたくないでほしい。
	97	女性	70代以上	大変申し訳ありません。以前でしたら希望したい事ありましたが、複合拠点施設というのは町には予算があるのですか？
	98	男性	60代	商工観光課では、だめなの。町政はシンプルに。
その他	99	女性	20代	ここに書くべきことなのかわかりませんが、ウェブサイトでのアンケートが「現在は受付していません」と表示され、回答できませんでした。ウェブサイト利用できるなら手軽で良いなと思っていたので改善していただけると回答者は増えると思います（スマホからアクセスしました）。
	100	女性	30代	「複合拠点施設」これのイメージがまったくわからない中で整備にまで頭がまわらない。QRコードでアンケートしたくて読み取ったら「現在は受付をしていません」になりました。用紙が届いたら使えるようにしておいてくれないと、一体何なの？と思う。
	101	女性	40代	この調査の目的がよくわかりません。
	102	女性	50代	感じの良い職員に居てほしい（役場には結構感じの悪い職員が居るので、あんなには居てほしくない）。
	103	女性	50代	地域発電プラントを計画し、近隣の町市と共同で広域に供給できるようにしてください。

第5章 複合拠点施設を取り巻く関連機関等へのインタビュー調査

5-1 庁内インタビュー

複合拠点施設と連携可能性のある既存施設やイベント、事業等を把握するため、現状・問題点や今後の連携方法（導入したいと考える機能など）について、関係課に庁内アンケートを実施した。

また、施設への導入機能などについて関係課からの意見を詳細に聞き取るため、事前に実施した庁内アンケート結果をもとに、複合拠点施設の庁内検討会議を2019年6月27日に実施した。



図 5-1 庁内検討会議の様子

表 5-1 庁内検討会議出席者

所属	氏名
教育振興課	眞鍋主幹
保健福祉課	吉河主幹
建設水道課	高松主幹
企画商工観光課	上嶋主幹
町立病院	狩野次長
ラベンダー・ハイツ	鎌田次長
議会事務局	岩崎次長
事務局 企画商工観光課	辻課長
事務局 企画商工観光課	浦島主幹

表 5-2 庁内アンケート調査結果

分類		複合拠点施設との連携		
		現状・課題	対象	連携方法・導入機能
産業振興	6次化 町民体験	○農産物加工所 施設及び設備の老朽化	町民	6次産業化用の加工施設 生産学習用の加工施設：趣味（パン・味噌等）の利用
	町民体験	○農産物加工所 現状の加工施設では手狭なため、学校・社会教育体験学習が難しい	町民	新たな加工施設では、地元農産物を活用した「とうふ・パン作り」 等の体験学習の場として施設の有効活用を図りたい。
町民交流	福祉		高齢者	特養及びデイサービスセンター利用者の外出支援、活動先（車いすや杖・歩行器などを使用しながら施設内見学や買い物など）
			高齢者、障がい者	町内にある高齢者・障害者福祉施設の活動の場
	子育て	子どもセンター、児童館ともに老朽化している。 子ども・子育て支援事業計画のアンケートでは、美瑛町にある「び～え～る」のような、室内遊技場があればとの意見がある。	子育て世帯	育児サークル活動ができるような子育ての拠点施設
情報発信	イベント・観光	○見晴台公園情報ステーション（指定管理者：観光協会） 国道駐車帯横にて観光情報発信、八景ラリーや野菜直売を実施。 H19開設、H25現位置へ移動後は利用者が激減した。（移動前は7,000人程度、現在は年間1,000～1,600人の利用） 全機能が拠点施設と競合すると思われる。	町民 観光客	拠点施設の集客力に期待し、既存の情報ステーション機能の包含を検討
	イベント・観光	本町の観光拠点のひとつである日の出公園周辺は、四季彩イベントをすべて同公園内で行っているが、駐車場不足がここ十年来の課題。 現在行っているイベントや事業に関連性が考えられるのは、日の出公園周辺と民間観光施設が集積する深山峠地区が考えられる。	町民 観光客	複合拠点施設・駐車場が隣接すれば、来場者の利便、イベント企画内容のさらなる充実が図られる。
	イベント・観光	域外からの観光客が複合拠点施設（類似する観光大型施設）に求めるものでもっとも重視されるのは、地域の産物や文化、歴史に触れること。 情報発信機能は、個別で取得する術やツールが現存するため、それほど重要ではない。	観光客	観光の視点からこの施設が目的地となるような、魅力ある施設機能やプログラムが必要。
防災・その他	防災	○上富良野小学校敷地に設置している防災備蓄倉庫 H27～H31の5カ年計画で備蓄を進めているが、容量的に満載状況にあり一部の備蓄品は分散化を進めている（草分防災センター、上富良野西小）。 今後においても防災備蓄品は適宜見直しを図りながら、非常食等を中心に更新整備を進めていくため、主要な避難所に対しては施設状況に応じ分散配備を進めていく考えにあるが、各施設に受け入れる余力は少なく、新たに備蓄庫を設置するなどの対応が必要。 現在の倉庫は2階にあり、現状は全てを手作業で移動している。 段ボールベッドを購入整備したいが置き場所が課題。	町民	非常食等の毎年更新するものの管理を容易にするような防災備蓄庫の機能を併設。 段ボールベッドの整備。
		○福祉避難所 現在、ランダー・ハイツ、テサポトかみふらの、デイサービスセンターかみんを指定している。	町民	避難先の充実が図れるよう福祉避難所の機能を併設。
		災害時のボランティア受入を機能させる施設をどこに見出すかが課題。 公共施設はそれぞれ避難所機能を果たすため、ボランティアの人や救援品の受入は難しい状況。	町民	ボランティアの人や救援品の受入が可能な機能を併設。
	防災・その他	先の地震被害時の経験から、町で備蓄する非常食を続けて食するには、高齢者等には健康面からも難しさがある。 汁物の非常食が求められる。 公共施設に料理室はあるがこれらの設備で十分なのかどうか。実際に想定しある程度の数量を可能とするにはどのような設備・量が必要か。	町民	災害時に炊き出しが可能な施設。
		複合拠点施設の立地場所。	町民	日の出公園周辺と連携した一体的な整備～各種ハザードマップから見て有効な避難地域である。
	自衛隊	上富良野駐屯地、上富良野演習場は、昭和30年の開設から64年を経ている。	町民	自衛隊との共存共栄をまちづくりの基本に据えることから、その歴史や活動を研修学習できる施設機能があれば良い。（自衛隊員の募集活動は全国的な課題であり、それらを支援することにもつながる）
	その他	町民からの意見や先進町村議会の視察などから、今後の上富良野町議会においても、議会懇談会「まちなかカワエ」など少人数での町民と議会との懇談などを検討していくと思われる。	町民	懇談ができる場所となるような、町民が集える屋内イベントスペースと給湯設備など
NPOとの連携が必要かどうか。		NPO法人		
		町民	公金取扱の出入機関	

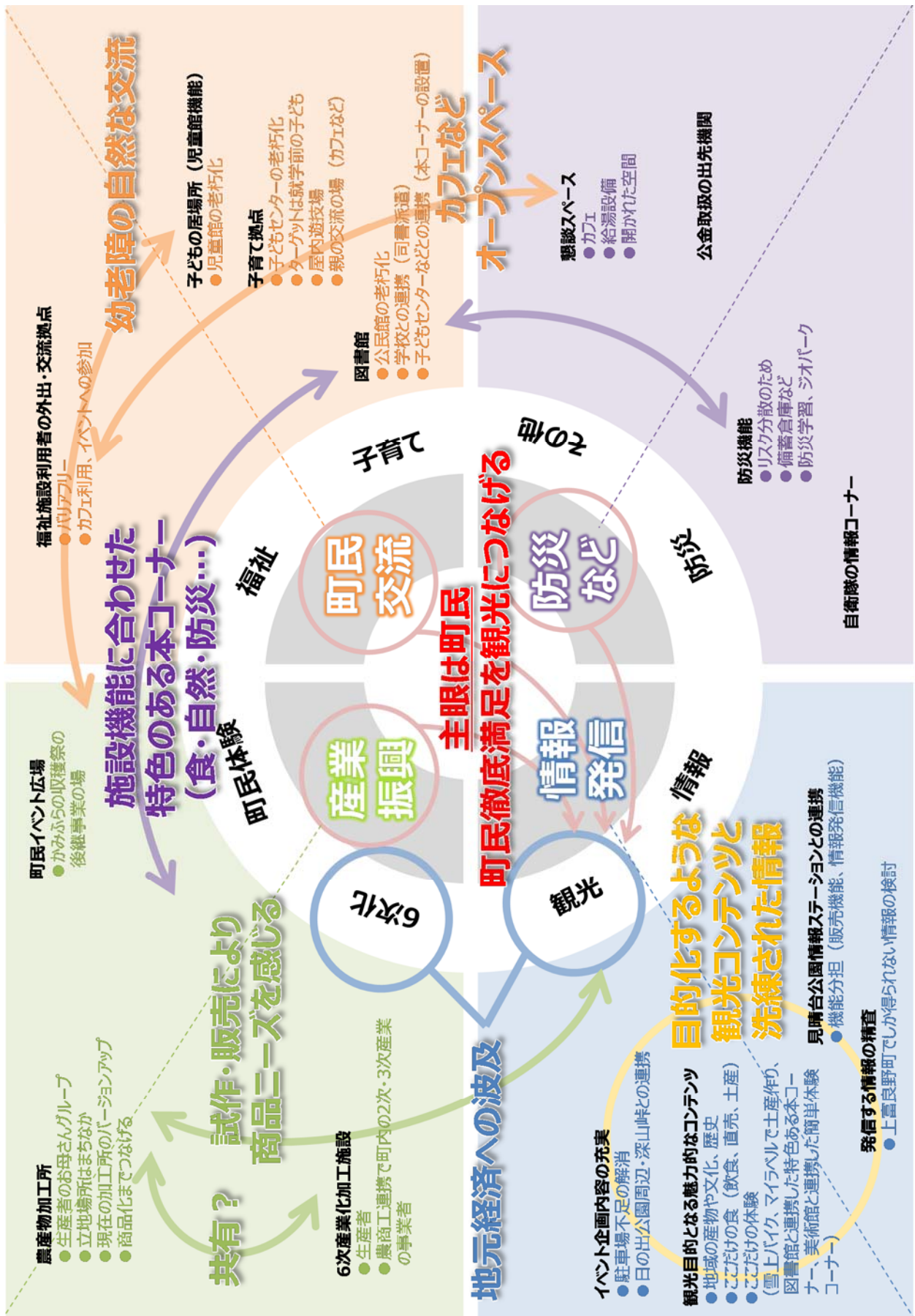


図 5-2 庁内検討会議での意見交換結果

5-2 関連機関インタビュー

複合拠点施設の検討にあたり、商業、観光、農業、子育ての各分野に係る機関に対して、所属の団体の現状や課題、施設への導入機能や連携アイデアなどについて詳細に聞き取るため、関係機関インタビューを2019年7月30日・31日に分野ごとに実施した。

表 5-3 関連機関インタビュー参加者

分野	所属	氏名
子育て	NPO法人こどもサポートふらの	広瀬 美奈
	子育て支援センター-子育て支援員	大道 由子
	ママズタイム上富良野メンバー	西尾 菜緒
	育児サークルMAMAMOO	大谷 かな美
	保健福祉課子育て支援班	坂本 智美
	子育てサークル チョロQ	西間 珠里
	子育てサークル メリー	鈴木 美沙
	育児サークル ママズタイム	広川 涼子
	育児サークル いないないばあ	小野 亜友香
観光	上富良野町観光協会 会長	青野 範子
	上富良野町観光協会 副会長	野口 雅史
	上富良野町観光協会 理事	岡本 康裕
	上富良野町観光協会 事務局長	長田 公一
商業	上富良野町商工会 副会長	陶 由彦
	上富良野町商工会 事務局長	高尾 裕則
	上富良野町商工会 指導員	多羽田 陽哉
	上富良野町商工会 指導員	菊地 隆弘
農業	四釜農園	四釜 啓美
	多田農園	多田 繁夫
	おかちゃんファーム	岡和田 靖志
	ちにた・ふぁ〜む	田中 正太郎



図 5-3 関係機関インタビューの様子

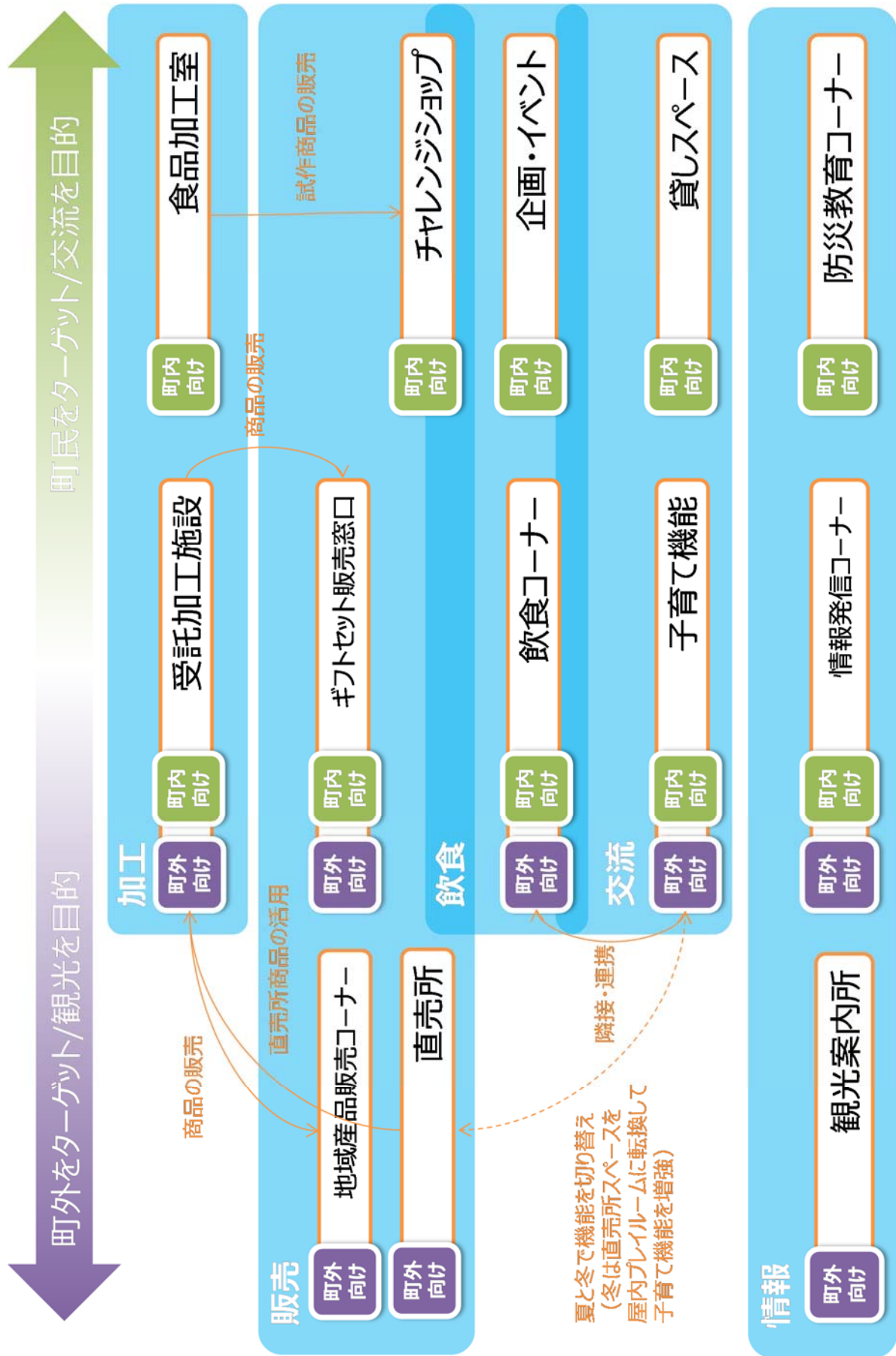


図 5-4 関係機関インタビューでの意見交換結果のまとめ

※意見交換結果の詳細は以降のページにまとめる

<施設の方向性・ターゲット>

■関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【道の駅】

- 道の駅にするメリットはあっても、デメリットはないのではないかと
- 道の駅を作るならベビーコーナーや、防災コーナーを併設する
- 町外の人を集めるなら道の駅とするべきである
- 道の駅とすることで、全道施設との連携できるメリットがある
- 道の駅のように外にP Rする拠点があつたらいい

【観光向け施設】

- 冬は観光客が少なく、観光需要が課題である
- 地域の人が気が付いていない上富良野町独自の文化を発掘する
- 町内外の客を引き寄せる魅力がなくてはならない
- キラコンテンツが必要である
- 拠点施設から商店街に客をどう誘導するかが課題である
- とりあえず何でも機能を詰め込んだ無難な施設にしてはいけない
- ここでしかない魅力がほしい
- まちなかに冬を楽しめるところがあるといい
- 国道沿いは観光客向けに適しており、フノマルシェのように町外向けにやる
- 足湯・手湯コーナーがあるといい
- 収益性のある施設にするべきである
- テナント収益で運営することが考えられる
- 拠点施設は地域のおためしショールームであり、ここで完結させない
- 町民の為だけの施設とすることには疑問がある
- 施設のメイン機能は観光にするべきである
- 上富良野をP Rすることに繋がるような施設にすることが必要である

【町民向け施設】

- 子どもが遊べる施設があると通年来客が見込める
- 観光客がいない冬期間は、イベントコーナーを子育てコーナーとして利用することで稼働率を上げることができる
- 町民はツタヤやマックのような施設がほしいと感じている
- 冬期は町民が利用する施設とするとよい
- 集客するためには、おしゃれな拠点であることが重要である
- たんぼほの会が運営する中茶屋のような地域の人が集まることになるといい
- 0～3歳児の子どもを持つ母親は社会との接点が少ないため、ファミリー・サポートセンターの預かりサービスを利用して、拠点施設で働けるといい

<町民交流機能>

■関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【子育て機能】

- 役場、かみん、子どもセンターなど、子育て世帯が普段使う公共施設が分散
- 移動に30分かかると、美瑛のbi.yell（ビエール）に行くこともある
- 乳幼児は9時から午前中に使用することが多い
- 幼稚園児は午後から使用することが多い
- 育児サークルでは週に1回程度ママ・子どもたちが集まっている
- 各サークルで利用場所を話し合い、1年間同じ活動場所で活動している（東児童館、社会教育総合センター、公民館、子育て支援センター）
- 各サークルのイベント（クリスマス会等）はそれぞれの活動場所で行っている
- かみんに図書館が併設されるといい
- 社会教育総合センターに図書館が併設されていると、小学生も利用しやすい
- 冬期は屋内遊びが主になるので、図書館があるといい
- 施設が狭く、キャパシティが少ない
- 冬期に使える屋内プレイルームは2か所しかない
- 子どもが思い切り体を使って遊べるところがない
- 安全面などを考慮して保護者なしだとプレイルームは使うことができない
- 子育て支援センターは町内で一番使いやすい（調理室も利用できる）
- 年齢別（0～2歳・幼稚園・小学生）に、気兼ねなく体を動かせる場所
- フラフープなど収納できる遊び道具
- 外遊び・水遊び用のスペース

【貸しスペース】

- 習字など、曜日ごとに色々な習い事ができるようなブースがあるとよい
- ワークショップなどができる空間があるとよい
- カラオケ、音楽サークル、自習室として使えるような防音ルームがあるとよい
- イベントのできる貸室があるとよい
- 子どもの勉強場所（自習室）があるとよい
- ママ友集まりなどでも使えるような共用のキッチンスペース
- フノのマルシェのようにイベントスペースを貸し出すといい

町外
向け

観光を目的

- 道の駅への登録
- 上富良野をPRするキラコンテンツ
- 冬の観光コンテンツ

町内
向け

交流を目的

- 地域の人が気軽に集う場
- おしゃれな空間
- 冬の町民利用を高める機能
- 母親などの働く場

夏場は
観光客向け
交流拠点

冬場は
町民向け
屋内拠点

参考事例

- ◆【東川町：共生サロンこころん】類似施設として参考になる
- ◆【枝幸町：子育てサポート拠点施設 にじの森】移動図書館が来ていたり、地域おこし協力隊がカフェを運営している

町内
向け

町外
向け

子育て機能

- 図書館
- 年齢別に使えるプレイルーム
- 収納可能な遊び道具
- 外遊び・水遊びスペース

町内
向け

貸しスペース

- 貸室（防音ルーム）
- 自習室
- キッチンスペース
- イベントスペース

参考事例

- ◆【美瑛町：bi.yell（ビエール）】小さい子を遊ばせるにはいい
- ◆【名寄市：サンビラーパーク】屋内で三輪車に乗ることができる
- ◆【秩父別町：キッズスクエアちっくる】小さい子用のスペースだけでなく、大きい子でも楽しめる空中ネットがある
- ◆【秩父別町：キッズスクエアちっくる】大小のトランポリンなど、外の遊具が充実している
- ◆【旭川市：もりもりパーク】遊具が木製である点が特に良い
- ◆【美瑛町：bi.yell（ビエール）】走ってはいけないので、活発な子は連れていきにくい

<情報発信機能>

■ 関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【上富良野町の観光】

- 観光客（外国人）が増えている
- 駅で降車する観光客は、日の出公園・十勝岳・後藤純男美術館に行っている
- フラマルシェでは、家賃に売上高の10%をテナント料としている
- 十勝岳温泉エリアでは、1・2月はヨーロッパのバックカントリースキーヤーが多い
- スキーヤーは上川エリアを点々としている
- 十勝岳温泉エリアに来た客は街の中に行かない（行けない）
- 旅行が個人化している
- 電車で移動する場合は、日の出公園エリアを観光している
- レンタカーなどで移動する場合は、美瑛・富良野エリアを観光している
- フジスーパーで買い物をしている旅行者が多い
- 中富良野のファームとみとも成功例である一方、観光客の通過点になっている
- 日の出公園のキャンプ場は上富良野振興公社が運営している
- まちなかの宿泊施設が不足している
- 宿泊施設は街中よりロケーションのよい郊外の方が人気が高い
- ラーメン店の2階にある民宿宝龍は、外国人にも利用されている
- キャンプ場も賑わっている
- ジオパークでの環境学習で、安政火口までのガイドツアーや森の散策をしている
- 修学旅行は、十勝岳で2時間、畑で2時間、富良野で食事というコースが多い
- 現在の観光案内所も街中との混雑を考慮してフル稼働できていない
- 観光客にとって地元の人のふれあいが重要である
- ガイドの需要は多く、時給2千円と好条件で、移住者や主婦が活躍できる
- ツアーデスクとしての役割が機能として必要である
- 現在の観光案内所を統合する必要がある
- 観光案内所は夏しかないので、通年で窓口となるところが必要である
- 観光協会の事務所を兼ねた案内所とすることが考えられる

【情報発信】

- 外に向けて情報発信したり、更に出店しようという事業者は少ない
- パートの雇用が不足している、ハローワークに出しても効果がない
- 外に向けた情報発信が必要である
- 求人募集情報など、移住につながる情報を発信する
- 情報拠点としての役割が重要である

【防災】

- らべとんを活用した防災教育コーナーや、防災グッズの展示・教室

<飲食機能>

■ 関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【町内の飲食店】

- 飲食店の売上は上向きだが、数は減少している
- 自衛隊もいるため街中の飲食店は利用されている
- 観光客による入込などの影響で、観光客向けのお昼の食事処は増えているが、スナックなど夜の飲食業は減少している
- カフェやラーメンなどの店舗が東中地区に増えている
- 夜遅くまで食事できる所がない
- 家族連れで夜に行ける地元の飲食店が少ない（飲み屋しかない）
- 従業員は雇わず、後継者もないので自分の代までという経営者が多い
- 多言語化メニューの作成は、商工会で年に5軒くらいずつサポートしている
- 第1食堂は外国人にアットホームで人気があり、客がツイッターで発信している
- 町内事業者は、家賃を抑えればテナントとして入居する人もいるかもしれない
- 町民ニーズに合った食事メニューの提供（ハンバーガーなど）であれば、地元の既存店舗で対応することもできる

【企画】

- 商工会でスタンプラリーはやっていないが、飲食部会でクーポンの配布やはしご酒などの企画を行ったことがある
- 美瑛・富良野のエリア一体で、ご当地グルメカレールーの取組を行った
- 商工会の横のテントスペース（200人程度収容、常設、夏期のみ）は、焼き肉やピザガーデンで町民に利用されている
- 農業を知ってもらうため、学校で食育もやっている
- 小学生と一緒に作って食べられるような、子ども食堂が月に何回かあるといい
- カフェなどを利用して、保健師さん、助産師さんへの相談コーナーがあるといい

【飲食コーナー】

- 町内の子育て施設には飲食機能がないため、食べ物を調達に不便である
- 飲食コーナーがあるといい
- イスよりは小上がりやベンチがあるといい
- カフェとキッズスペースの距離が近く、子どもを見守りながらカフェを使いたい
- 施設内が飲食禁止になると利用しづらい
- ピクニックなどができるよう、施設内に持ち込み可能としたほうが使いやすい
- 地場産メニューがあるとうい
- 安いメニュー、離乳食メニュー、クレープ屋などの気軽なメニューがあればいい
- 農家の人はランチをゆっくり楽しむ時間はないので、軽く立ち寄れるバルやカフェがあったらいい

町外
向け

観光案内所

- 多言語による案内
- 広域観光ニーズへの対応
- ツアーデスク
- ツアーガイドの育成

町外
向け

町内
向け

情報発信コーナー

- 移住情報（住宅、求人募集）
- 町外に向けた情報発信

町内
向け

防災教育コーナー

- 防災グッズの展示
- 防災教室などのイベント

町内
向け

町外
向け

飲食コーナー

- 子育て機能と近く、自由に飲食可能な小上がりなどの空間
- 気軽なカフェやバル
- 夜に食事ができる飲食コーナー
- テイクアウトメニュー
- 地場産メニュー
- 子ども向けのメニュー（離乳食など）

町内
向け

企画・イベント

- 子ども食堂
- 子育て相談カフェ

参考事例

- ◆【旭川市：イオン旭川西店】フードコートに小上がりがあり使いやす
- ◆【富良野町：カンパーナ六花亭】カフェのイメージとして参考になる
- ◆【美瑛町：bi.yell（ビエール）】施設の内容はいいが、食事のメニューが少ない

<地域産品販売機能>

■関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【直売所】

- 普段は農業者同士の繋がりが少なく、集まりがあっても年齢・性別で分かれてしまうので、気軽な交流の場があるといい
- 新規就農で入ってくる人もいて刺激がある（15人くらい）
- かみふらの軽トラ市は5年くらい前から町民向けに活動している（まちの人に知ってもらうことに繋がっている）
- 町内のフジスーパーにトラックを置いて毎週外でも販売していた
- 町内では、2〜3坪の規模で、朝市をやっているところが5ヶ所くらいある
- 地元野菜のコーナーがスーパーにあれば、わざわざ道の駅まで地元の人は買いに行かない
- スーパーで売り場を確保したいので、年間を通して軽トラ市を行っている
- 軽トラ市のメンバーは増えている
- 直売所では価格を下げないと売れない
- 複合施設に直売所を設置しても、看板商品を置く程度になる
- 直売所などのシステムに、新しいメンバーも入ることができるようなキャパシティが必要である
- 直売所の魅力は鮮度であり、ロスをいかに減らすかが課題になる
- 直売所で売れず鮮度の落ちた野菜は、加工所や飲食店で活用するなどの工夫が必要である
- 町内向けの直売所は既存のもので十分なスペースがあるため、新たな直売所は不要である
- 町外の人向けに直売所を設置するのであれば、JAに募ることも考えられる
- 農業者としては、直接消費者とふれあうのは定期的な直売イベントなどで十分である
- POSシステムの直売所があるといい
- 持込・出店しやすい直売所や軽トラ市があったらいい

【チャレンジショップ】

- 中茶屋は空き店舗を活用しNPOたんぼほがH13から運営している施設で、農産物や趣味で作っている作品を販売しており、2〜30軒の事業者がはいっている
- チャレンジショップがあるといい
- チャレンジショップでのノウハウを継続させる工夫が必要である
- ハンドメイドの商品などを気軽に販売できるような棚スペースの貸し出しサービス
- 起業希望の人が使えるチャレンジショップ

【地域産品の販売】

- 農家に伝手がないと上富良野産は買えない
- 上富良野町産のお米を町民はなかなか買うことができない
- 町外の人への贈り物として詰め合わせなどを買うところがなく、お中元など個人で直接農家には頼みづらい
- 上富良野パークは、町民の手には届きにくい
- 商品の販売規模が拡大すれば、現在の製造能力では生産が追いつかない
- 日の出公園に昔は売店があったが、現在はない（臨時でカフェをやっている）
- 上富良野の銘品を集めて売っている拠点がない
- 上富良野町のお土産は、あかがわ（洋菓子店）で買うことが多い
- 農業ではフラマルシェに出している人も多い（多田精肉店、多田農園、ピーパーファーム北川、興農社、四谷農園など）
- 食肉加工業は、ネット販売はしているがあまり売れていない
- 農家では、インターネット販売をやっているところもあり、年々伸びている
- 客とはFacebookでつながることで情報発信になる
- インターネットの場合、文字だけでなく写真でも情報が伝わりやすい
- 4軒の農家でリレーしながら野菜などを年7回お届けするサービス（20件くらい）をやったが、スケジュール調整、ラッピングなどとりまとめの負担が大きく現在は行っていない
- 地域の農産物を使って、新名物を開発する（麦+豚→餃子など）
- ご当地にこだわるのが重要である（今後は製造元と販売元を明記する必要がある）
- 主力の商品は上富良野町産として、その他は、富良野、上川、道北など広げてもいい
- 地元産品の販売コーナーがあるといい
- 上富良野のイメージであるラベンダーを取り込み、施設の中心にラベンダーオイルの蒸留施設を作ると話題になるとともに、オイルであれば5連年で販売が可能になる
- アンテナショップ
- 販促活動が必要
- 商売している人にとってはチャンスとして捉えるべきである
- 客相手の施設なら業者に活躍してもらったほうが良い
- 上富良野町産にこだわるのが重要である
- トマトジュース、にんじんジュースなどを詰め合わせたかみふらのセットを販売する
- 主力商品と新商品を抱き合わせて詰め合わせにするといい
- 詰め合わせに注文票や季節別の宣伝も入れておくことで、顧客確保につながる
- セット販売などの販売網をとりまとめて、窓口を一元化するといいい

町外
向け

直売所

- 町外向けの特産品PR用の直売所（夏場のみ）
- 飲食コーナーや加工施設と連携してロスを減らす工夫

町内
向け

チャレンジショップ

- 起業希望者向けのチャレンジショップ
- ハンドメイド商品の委託販売用棚スペース

参考事例

- ◆【富山県：直売所】組合形式で運営している
- ◆【伊達市：だて歴史の杜】札幌からの集客も出来る立地で、直売所の規模が大きく品ぞろえがよい
- ◆【愛媛県：内子フレッシュパークからり】地元産にこだわった直売所と食堂があり、国道から離れているが成功している
- ◆【愛媛県：内子フレッシュパークからり】直売所のシステム（協議会に加盟する）や施設がおしゃれで参考になる

町外
向け

地域産品販売コーナー

- 主力商品は上富良野町産
- ラベンダーオイルなど印象的な商品の魅せる製造・販売

町内
向け

町外
向け

ギフトセット販売窓口

- 上富良野町産の商品の詰め合わせギフトの予約・発送の窓口（カタログなど写真で案内）
- 主力商品に新商品を組み合わせる、季節別の宣伝パンフレットの同封など工夫
- ふるさと納税の返礼品対応
- インターネット販売

参考事例

- ◆【旭川市：道の駅】全国の道の駅を呼んでご当地イベントを行っており、盛況である

<産業振興機能>

■関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【6次産業化】

- 6次産業化に行きつかない（本業に影響）
- 本業の農作業が落ち着いてから、規格外のかぼちゃの加工などを行っている（2～3トン規模）
- 6次産業化に向けた研修会などに参加するメンバーは同じ顔触れになっている
- 趣味レベルでは関心のある人もいるが、事業レベルではかなりの意欲がないとできないし、意欲のある人は自分で取り組むだろう
- 農業者は、加工してくれるならお願いしたいという要望はある
- 台湾に特産品で出品するために作ったメロンのゼリーの加工は静岡で行っている
- 加工する規模が大きくなると、原料を運ぶのが手間になる
- 自社での販売を目的とする場合、他の人と共同の施設で作ることは食中毒などのリスクがあるので、自分の所々やるしかない
- ソフトクリームなど、上富良野産の乳製品を来訪者が食べられるところがない
- 認定を取れる施設であることが重要である
- 1次産業と2次・3次産業で役割分担する方がよい
- 農業者だけで6次産業化の役割を全て担うのは困難であり、地域の6次産業化が必要である
- 新たな商品開発のきっかけづくりにつながるような施設はあってもいい
- 加工は多様なリスクを伴うので、専門家のアドバイスがないと素人が取り組むのは難しい
- 加工に関して、制度のハードルが年々高くなっている
- 一次産品でも異物混入などに気を遣わないといけない状況であり、加工にできればさらに厳しくなる
- 農業は夏の仕事がメインなので、冬場の時間のある時に加工品が作れるように夏のもの进行一次加工しておくことが必要である
- 加工は町内業者にやってもらうのが現実的である
- 加工施設については、農業者は原料を提供するのが現実的である
- ある程度まとまりがあれば原料として提供できる
- 加工しない方がリスクは低い
- 6次化の商品化のためだけの施設は必要ない
- 町内の商業など事業者に上富良野産の野菜などを使ってもらうなどタイアップする
- ソフトクリーム・チーズなど、牛乳の加工施設があつたらいい
- 酪農家にもヒアリングすることが必要である
- 加工施設の活用にあたっては、企業を誘致するの一手である
- 加工施設を整備するのであれば、誰が何を作るのかを考える必要がある
- あずきは伊勢の赤箱の原料にもなっている農産品であり、上富良野町で加工できるところがあるといい
- 直売所で売れず鮮度の落ちた野菜は、加工所や飲食店で活用するなどの工夫が必要である（再掲）

【商品開発】

- 20年前くらいに商工会でパッケージも含めた商品開発を行ったが、製造委託のためロット数が大きくなり、在庫の山になった
- 商工会のキッチンを使って試作しても、商品化まで行きつかない
- 町内事業者からは、商品開発の要望は今のところない
- 人手が不足していて、新たに商品開発したいという動きは少ない
- 途中で止まってしまう
- 現在、農協と商工会で連携して実施している事業はない
- 旭川信金など地域の金融機関も、融資先に対して事業計画づくりなどレポートしている
- 商工会と観光協会が連携する必要がある

【小規模な加工施設の利用】

- 上富良野町の加工施設が古いので、富良野町の加工施設を使う人もいる
- 農家のお母さんたちが味噌を作ったりしているが、高い値段では売れない
- 農家女性の味噌づくりや趣味のサークルの利用であれば、かみんの調理室に器具を設置すればいいのではないかと
- 野菜などを町民交流や料理用に提供することは可能である
- 美瑛町のふれあい館ラビニールや、かみんにある加工室くらいの設備があるとよい

町内
向け

町外
向け

受託加工施設

- 商品化のため不特定多数の利用を避ける
- 町内業者/企業誘致による受託加工
- 農産物の加工（ジュース、ジャム、総菜、漬物など）
- 乳製品の加工（要検討）

参考事例

- ◆【長野県：小池手造り農産加工所】ジュースやジャムなど果物や野菜の受託加工を行っている
- ◆【愛媛県今治市：さいさいまて屋】直売所の野菜を売り切るために加工施設で総菜を作って販売している

町内
向け

食品加工室

- 個人・団体に利用可能な加工施設
- 試作品の製造
- 町内にある調理室との連携

<その他施設整備に関する意見>

■関係者ヒアリング調査での意見（現状・課題、要望）

【駅周辺・まちなかエリア】

- 以前、駅から北側に拠点を作る構想があったが、線路があるのがネックとなり途中で止まってしまった
- 駅前エリアの駐車場などの場所を活用するとい
- 駅から徒歩圏内とするべきである
- 街中のエリアであれば、役場の位置に併設すると便利である
- 消費する人の近くにあるといい
- 空き店舗の現況調査を町で実施している
- センタービル（富良野の富桑工業が所有する3階建ての施設で、スナック1軒しか入居していない）など活用可能な既存店舗が街中にある
- 空き店舗にキッチンを用意してチャレンジショップを設置するアイデアがあった
- 中心市街地活性化の視点からは、拠点施設よりも街中に出店してほしい
- コンシェルジュラノのホテルのように、既存の空き店舗を活用したり、宿泊客にはご飯を街中で食べてもらうといい

【日の出公園エリア】

- 日の出公園エリアもいい
- 日の出公園エリアだと、教員住宅がある場所が良いのではないかと
- 道道291号沿い（吹上富良野線）であればアクセスしやすい
- 街中に施設が立地すると付近が混雑するので危険であり、住民への配慮が必要である
- 日の出公園や見晴台公園など、景観のいいところ

【国道沿いエリア】

- 国道237号沿いがいい
- 将来的な高規格道路の出口の位置も考慮することが必要である
- 国道237号沿いでない場合も、国道から太い道を通って一本でアクセスできることが必要である

【その他】

- 廃校を活用する
- 泥流エリア外に設置するべき

【エレベーター】

- 社会教育総合センター、公民館は、2階に子育てサークルの会場があり、エレベーターがないため子どもと一緒に移動するのが大変である
- エレベーターがあるといい

【駐車場】

- トレイルランなどのイベント時に駐車場が不足している
- 日の出公園駐車場で実施している盆踊りでは、半分しか駐車場が使えないので不足している
- 子育て施設利用時に車が停められない
- 拠点施設には広い駐車場が必要である
- 入口から駐車場が近いといい

【トイレ】

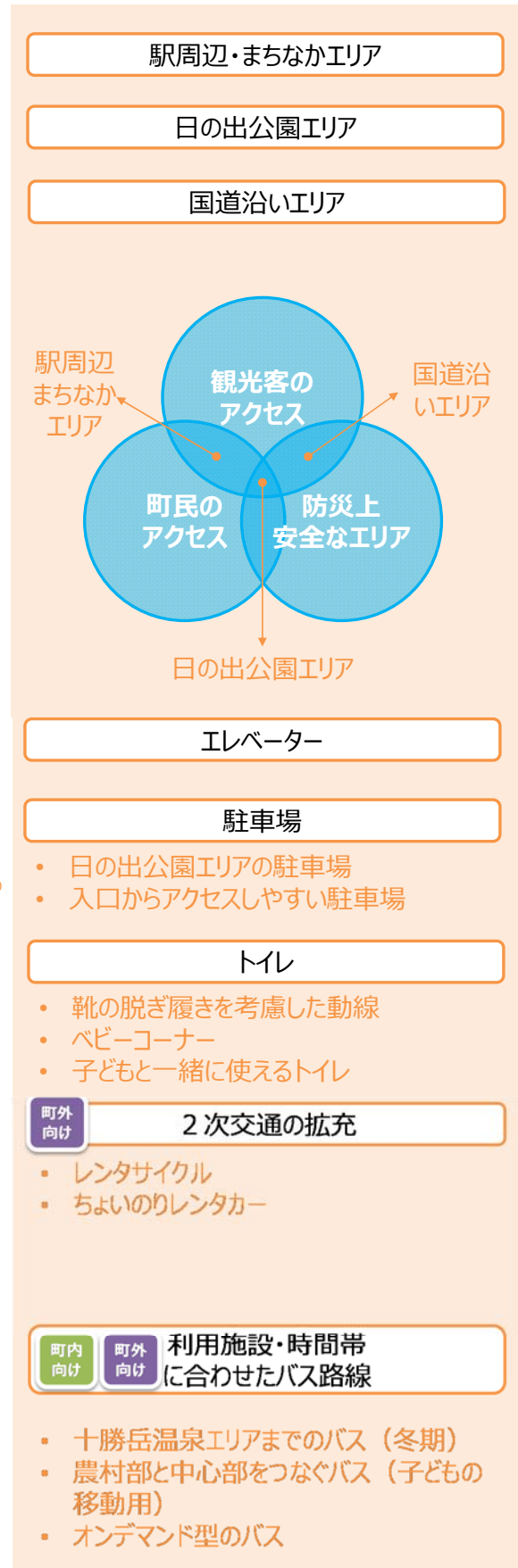
- 公民館は、おむつ台が1つ、洋式トイレが1つしかない
- 公民館は、トイレに行く際に靴の脱ぎ履きをする必要がある

【観光客向けの移動手段】

- 観光協会でレンタサイクルを実施している
- 観光客の自転車利用ニーズがある
- レンタカーを利用する観光客が多い
- ちょいのりレンタカーがあるとよい
- タクシーを利用する観光客は少ない
- 冬期に十勝岳温泉までアクセスするには、バスがないと厳しい
- ノロコ号は、外国人と日本人が同じくらいの比率で利用している

【町民向けの移動手段】

- 町民がアクセスできるような公共交通を整備することが必要である
- 農村部の子どもは送り迎えが必要で、中心部と同じサービスが受けられない
- 送迎バスはイベント時しかないため、普段は親が送迎する必要があり、共働き世帯は利用しづらい
- 自転車で移動するには距離があるため、子どもだけの移動には不安がある
- オンデマンド型のバスがあるとよい
- 学童保育施設は近いので行きやすいが、図書館エリアに公共バスで移動できるといい



5-3 町長インタビュー

複合拠点施設の整備に関して、これまでの検討経緯、目的や方向性について町としての考えを伺うため、上富良野町長に対して、これまでの検討結果の報告とともにインタビューを2020年1月9日に実施した。

5-3-1 施設の方向性

(1) 目的・経緯

- ・ 道の駅はイメージしやすく、アンケートでも具体的に道の駅を挙げる声も多い。道の駅を巡遊する層のニーズもあるが、複合拠点施設は**最終的な目的地ではなく、町外の人に町の中に足を延ばしてもらうためのハブ**となることが大きな役割であり、観光も含めて町内の様々な情報発信をすることが重要であると考えている。
- ・ 複合拠点施設にも、**最小限度の飲食提供は外せない**が、焼き肉など飲食店は町内のお店を使ってもらうことが目的であり、情報発信により、店を探せる場所になるといい。**拠点が一つの起爆剤になるように商業者に活用**してもらいたい。
- ・ 観光施設的な要素が強いが、フラノマルシェのように、**情報提供を充実したい**。
- ・ 就任時より町民の皆様から、個々の体育施設や保健施設は整っているが、**物産や情報発信は極めて弱い**という声をお聞きしていた。

(2) 施設のイメージ

- ・ いわゆる観光に特化した施設は想定しておらず、観光バスがひっきりなしに出入りするような施設にすることは想定していない。
- ・ 観光施設としてしまうと、ブームが変われば新しいライバルが出てくる。この複合拠点施設は、町民が自由に集い、情報交換できる、**落ち着いた安らぎ**を持ってもらえるような場所にしたい。
- ・ 人と、人を収容する器さえあればスタートできるイメージである。
- ・ 本州の古いまち並みで朝市が開かれる中を多くの人が往来する状況を建屋の中で再現するイメージである。

(3) 導入機能

- ・ **物産、加工、情報発信、若い子供お母さんが自由に立ち寄れるような場所**としたい。**冬も利用してもらえるような施設**にする必要がある。
- ・ 現在の上富良野町には、退屈だから街の中にふらっと寄ってみるところがない。**小さな子どもを持った人、高齢者が何となく足を向けられる機能**も外せない。
- ・ **上富良野の産物を集めて販売する機能**は持たせるべきである。現在、来訪者が町内で上富良野産品を求め難い状況や、町外から移り住んでくる人が多いのに、地元で生産された農畜産物が十分にわからないという状況が実態としてあり、解消したいと感じている。
- ・ 加工場は6次化の施策としての位置づけではなく**今ある加工場のリニューアル**として、また**災害時の炊き出し**もできるようにしたいと考えている。

- ・ 町外の方々が立ち寄って、すべてここにお金を落としてもらうことは考えていない。特産品の販売は外すことができないが、複合拠点施設に飲食機能があると町内の店に来訪者が広がっていくので、**最低限の飲食機能**にとどめたい。
- ・ 施設では、子どもたちや親子で過ごせるようにするべきであるが、現状では町内保育園等に待機児童もなく、平日の利用はそう多くないと考えられる。体育館や児童館もあるので、**子どもの遊具などは既存施設に付加**していくのがいいと考えている。
- ・ 駐車場は、**車中泊や、夜間のたまり場になるような使い方は避けたい。**

(4) 施設の検討で大切にしたい点

- ・ きらりと光る何かは必要である。
- ・ **食は基本**であるので、**地元の産物や農業に関心を持ってもらう**ことは重要である。
- ・ 一方で**地産地消が進んでいない**実態がある。秋に収穫したものがどこで買えるのかわからない状態である。子どもも地元の味を知らない。低開発国にアレルギーがないのは、地産地消の食生活によるものである。他自治体に視察に行ったときに、冬の雪を利用した貯蔵庫があり、町民も利用できるものもあった。冬場の野菜貯蔵庫ができるといい。
- ・ これまで、**異業種交流**も進んでいなかった背景があるが、町で**人材育成アカデミー**の取り組みを行い、その芽が出てきたところであり、これらの人々が常に情報交換等ができる拠点として、まちの新たな活力を生み出したい。
- ・ 美瑛町と**ジオパークの認定**も目指しており、それらの情報発信や、**ロケツーリズム**の取り組みにも活かしたい。
- ・ 上富良野は、ソウルフードである**焼肉の文化**や、**後藤純男美術館**や**土の館**など文化的な施設が充実していることも誇りであるが、現在はつながっていないので情報発信する必要がある。

5-3-2 施設整備

(1) 施設配置

- ・ **多目的スペースをバッファーに使う**というアイデアは、非常に良い考えである。**季節によって変えていく**というのは重要である。夏・冬で使い分けをするのは見たことがない。フレキシブルな活用は限られたスペースを有効に活用できる。

(2) 施設規模

- ・ 事業費の目安は、**10億円程度**である。新たな用地を求めるにしても取得費用はそれほど大きくならない。
- ・ 欲張った機能を入れずメリハリのきいた機能とし、さらに**ゆったりとできるようなスペース**を確保したい。

(3) 場所

- ・ **通年で人が寄りたくなるような施設**にしたい。**町民が歩いていけるような場所**であり、**幹線道路**

沿いであることは大きな要素である

- ・ 歩いて訪れることを想定した場合の距離感や、災害発生時には危険性の高い川を越えて行かなければならないことなどから、国道沿いへの設置は考えていない。
- ・ JR で通学していると、図書館くらいしか待つ場所がない。また、中心市街地の空き店舗はなかなか再利用もされず、個店の営業店舗はあるが商店街としての街並みは崩れてきており、問題意識は持っている。しかし、これまでも駅前をはじめ中心市街地の活性化を図る議論があったものの下火となり、再開発は遠のいたものと認識している。そのため、JR 駅周辺等の中心市街地の活用は難しいと思われる。

5-3-3 運営の方針

- ・ 夏は人が来るが、冬の維持管理コストが非常に大きくなるのが課題となるので、身の丈に合ったものを作っていきたい。
- ・ 既に観光目的の施設が、国道沿いに 3 つもあるが、一部は冬季間閉鎖している。民間業者でも通年営業が難しい状況であり、すべてを町の直営で行うことが困難であることは明らかである。
- ・ 複合拠点施設は、息長く、高コストにならない運営ができるようにしたい。
- ・ 管理運営については広く検討し、町内に限定せずにノウハウを持ったところに担ってもらいたい。また町内の若い事業者等にそのノウハウを学ぶきっかけづくりにつなげたい。

第6章 検討会議の支援

6-1 町民検討会議の開催概要

地域関係機関（商工会、観光協会、農協等）や公募町民で構成する「（仮称）町民検討会議」を開催した。

町民検討会議は4回実施し、次のような内容で議論を進めて、町民ニーズを取り入れ、ビジョンを具体化して取りまとめ、基本計画に反映した。

表 6-1 町民検討会議の概要

実施時期	テーマ	内容
第1回 2019年8月26日	・ 上富良野町の課題の共有 ・ 拠点づくりの方向性の検討	・ 現況調査、ニーズ調査の結果等から導かれる上富良野町の課題について共有・意見交換 ・ 拠点づくりの方向性について意見交換
第2回 2019年9月25日	・ 拠点への導入機能の検討	・ 導入機能の事務局案を基に、必要な機能やその利用イメージについて意見交換
第3回 2019年12月17日	・ コンセプト・導入機能の共有 ・ 配置計画案の検討	・ 施設コンセプト・導入機能案の提示 ・ 配置計画の事務局案を基に意見交換
第4回 2020年2月17日	・ 配置計画案の検討② ・ 運営手法の検討	・ 計画策定に向けて、施設コンセプト、配置計画の素案を提示し、内容について意見交換 ・ 運営手法のほか、拠点運営への地域関係者や町民等の関わり方について意見交換

表 6-2 町民検討会議のメンバー

No.	所属		氏名
1	農業	J A ふうの上富良野支所	内田 伸市
2		生産者	田中 正太郎
3	観光	観光協会	青野 範子
4	商工	商工会	高尾 裕則
5		商工会青年部	西間 珠里
6	子育て	子どもサポート	広瀬 美奈
7		P T A 連合会	大道 俊夫
8	住民	住民会長連合会	巽 俊明
9	公募		柴田 真由美
10			佐藤 恵美
11	行政	総務課（防災）	谷口 裕二
12		保健福祉課（子育て）	吉河 祐樹
13		企画商工観光課（観光）	上嶋 義勝
14		農業振興課（農業）	山内 智晴
15		建設水道課（建築）	高松 徹

6-1-1 第1回町民検討会議の概要

(1) 開催概要

日時：2019年9月2日（月）18：00～20：00

場所：上富良野町役場 3階会議室



図 6-1 第1回町民検討会議の様子

(2) 議事次第

1. 開会
2. 挨拶 上富良野町長 向山 富夫
3. 複合拠点施設検討について
4. 出席者紹介
5. 議事
 - (1) インタビュー調査結果について
 - (2) 拠点づくりの方向性について
 - (3) 町民アンケートについて
6. その他
7. 閉会

(3) 主な意見の整理

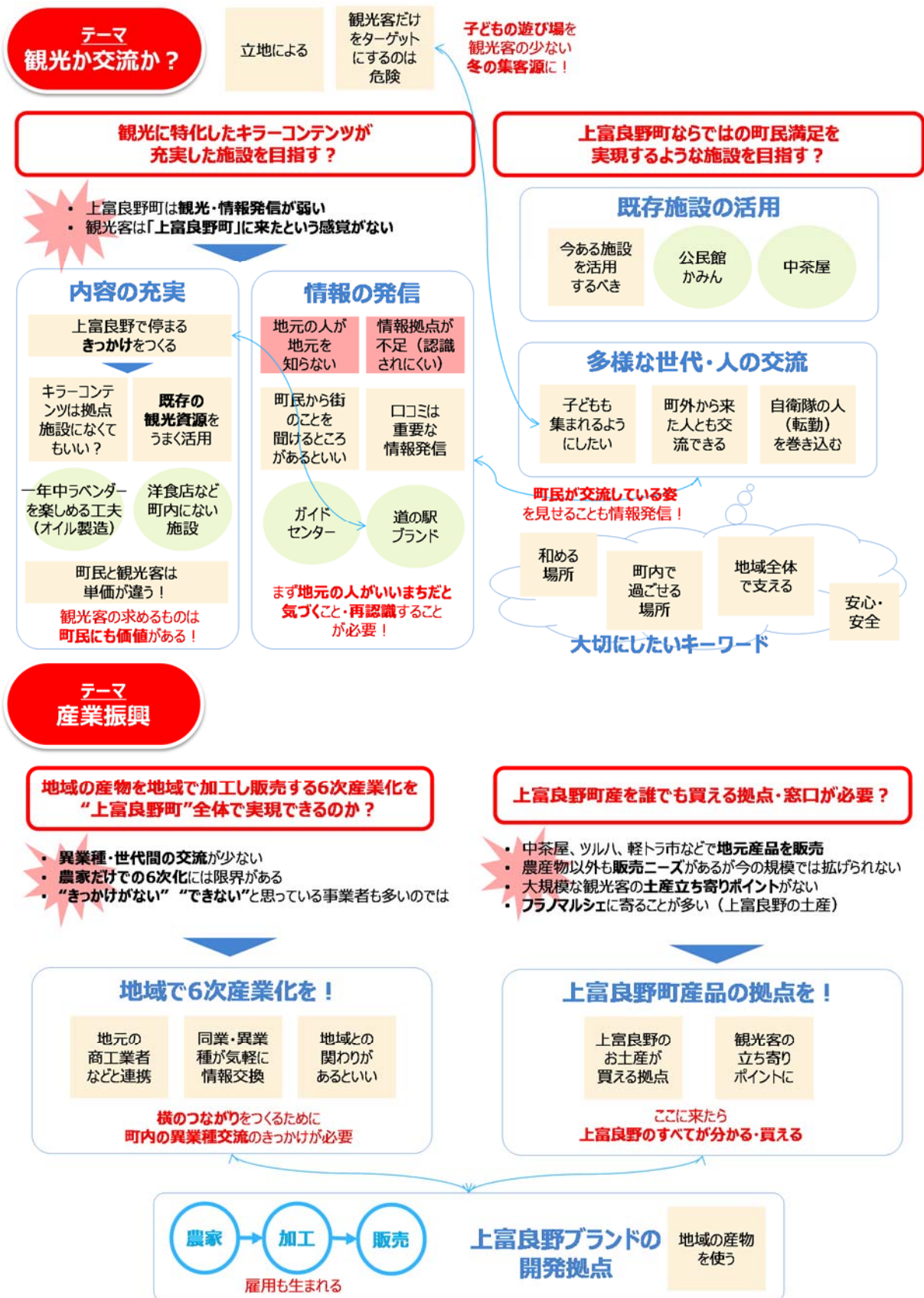


図 6-2 第 1 回町民検討会議の主な意見

6-1-2 第2回町民検討会議の概要

(1) 開催概要

日時：2019年9月25日（水）18:00～20:00

場所：上富良野町役場 3階会議室



図 6-3 第2回町民検討会議の様子

(2) 議事次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 第1回検討委員会の振り返り
4. 議事
 - (1) 本日の検討テーマについて
 - (2) 意見交換（必要な機能やその利用イメージについて）
 - (3) 視察調査について
5. その他
6. 閉会

(3) 主な意見の整理

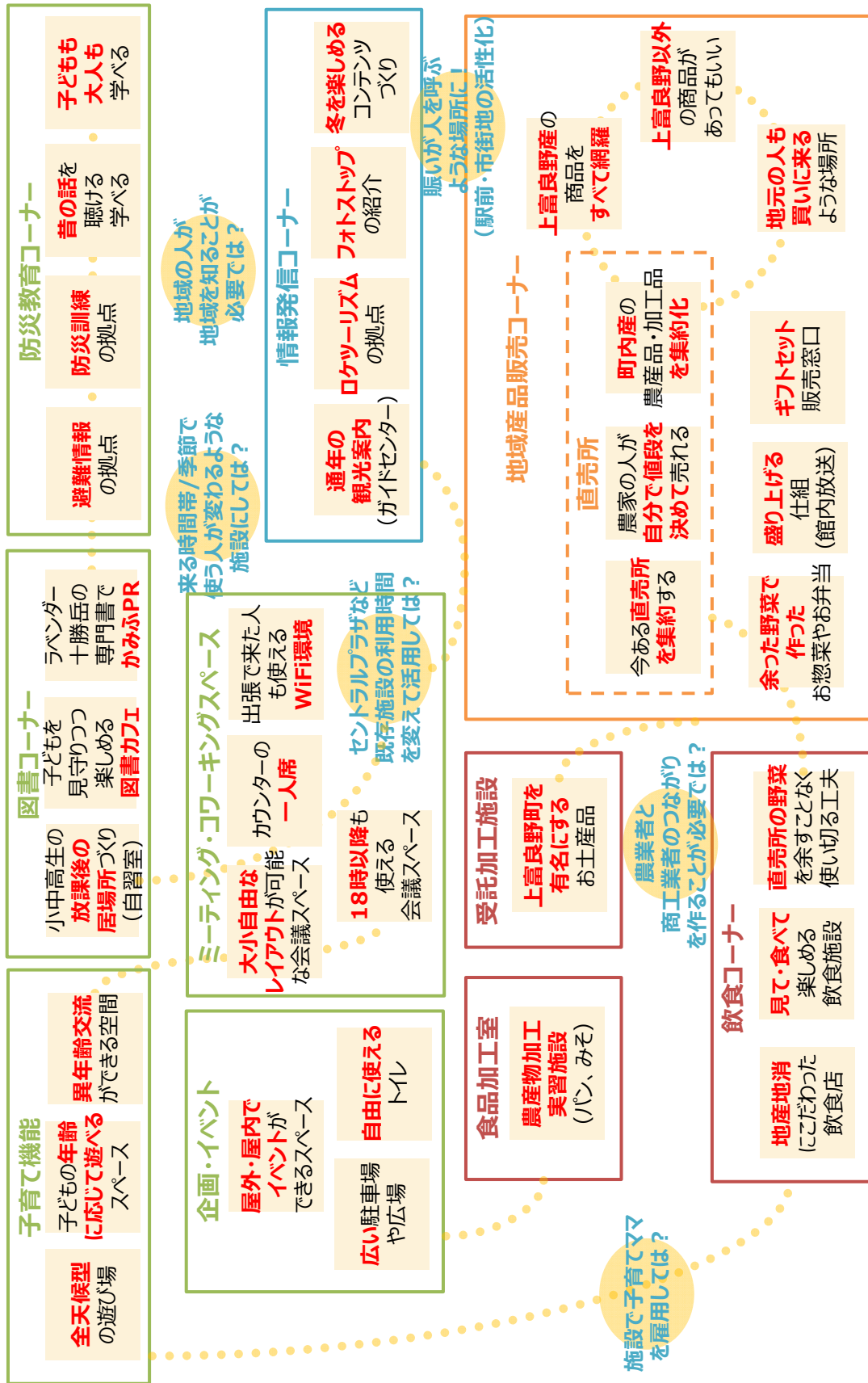


図 6-4 第2回町民検討会議の主な意見

6-1-3 第3回町民検討会議の概要

(1) 開催概要

日 時：2019年12月17日（火）18：00～20：00

場 所：上富良野町役場 3階会議室

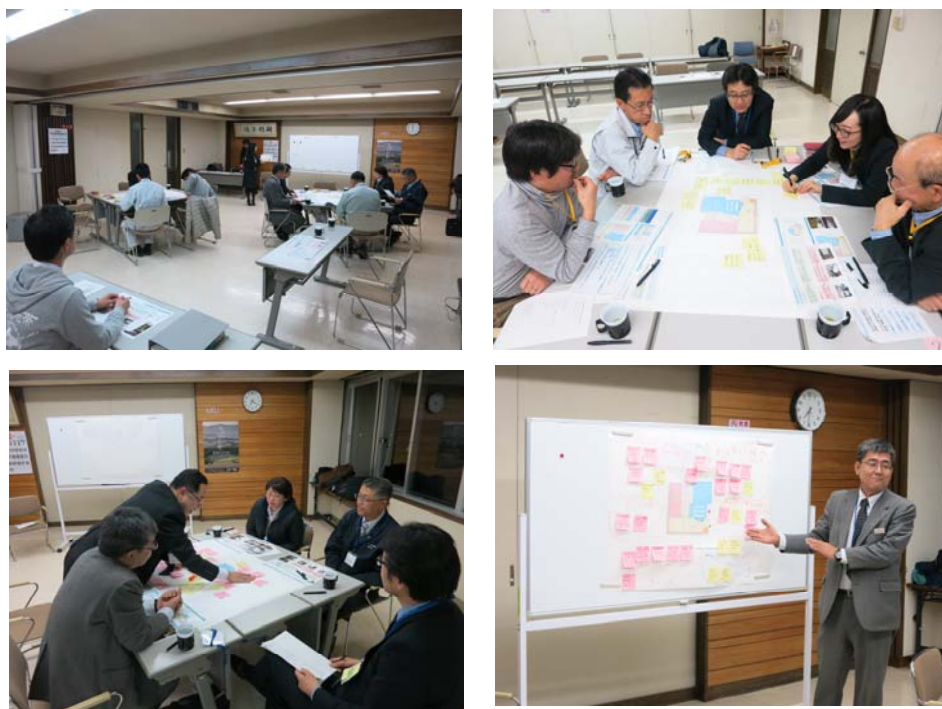


図 6-5 第3回町民検討会議の様子

(2) 議事次第

1. 開会
2. 意見交換会の振り返り
3. 議事
 - (1) 施設のコンセプト～導入機能案、ゾーニング案についての説明
 - (2) グループディスカッション
 - (3) グループ発表
 - (4) 全体ディスカッション
4. その他
5. 閉会

(3) 主な意見の整理

(1) 第3回町民会議での意見

賑わいを見せる＆安心ゾーンを分ける

- 遊具スペースとして天井スペースを活用する
- 遊具の事故リスクに留意が必要
- 既存の子育て事業などの活動を行うことで町内の拠点としていく
- 授業や体験学習にも活用する

多様な客層に応じられる飲食機能

- 季節によって客層を変えらることで安定した入込につなげる（子育てカフェや観光役向けカフェなど）
- 飲食機能は、看板などで誘導して奥に配置することで関心が高まり、施設内の回遊にもつながる
- 焼肉コーナーは町民用（商工会横）の既存のものがあり、観光客は焼き肉店があるので不要ではないか？

多目的スペースをバックアワーに柔軟に使う

- 各エリアの壁はなくして、間仕切りなどで利用方法を調整できるようにする
- 季節によって各機能のボリュームを調整する（夏：直売所機能の拡大、冬：交流機能の拡大）
- 暖炉のように用途を限定しないで、多目的スペースをもっと広げる
- 催し物ができるスペースがあるといい
- 旭川駅の観光案内所はスペースが広く居心地がいい
- JR通学生の休憩スペースとして活用
- 図書スペースは、壁際で十勝岳が見えるといい（既存図書館と異なる特色を出す）

小さく始めて効率的に活用

- 加工室は使う人や使い方が決まってるから作るべき
- 事業者向けとするには小さい体験観光で加工室を活用するな
- 施設内に入れて、商品製造のみなら、具体的なコースに合わせて別棟とする方が管理しやすい
- サークル的な使い方のほうが現実的（子育て機能と一体化）
- 加工室は飲食機能の厨房と兼用するようなスペースとすることで効率的に活用できる

直売所は外とのつながりが重要

- 直売所は屋外スペースも活用する
- 直売所など目的の施設にダイレクトに入れるようにする

場所、規模、視認性の検討が必要

- ＜場所＞
 - 車を利用しない人も自転車で行けるまちなかエリア
 - 防災拠点にもなるよう安全な場所
 - 景観が良いと理想的
- ＜規模＞
 - 地元・観光客用に十分な駐車場のスペースが必要
 - 全体的に小さいと、すべての機能にとって中途半端
- ＜視認性＞
 - 外から見てどんな施設かわかるような配置とする（人を呼ぶ機能：販売、子育て）



使いやすいトイレは人を呼ぶ

- 観光客も使いやすい場所とする（数の確保、24時間）
- 車中泊の人向けのスペースを設ける（安心して泊まれる）

活用される情報発信スペースに

- 今後の情報技術の進化を見据えてネット環境を整備する

図 6-6 第3回町民検討会議の主な意見

6-1-4 第4回町民検討会議の概要

(1) 開催概要

日 時：2020年2月17日（月）18：00～20：00

場 所：上富良野町役場 3階会議室



図 6-7 第4回町民検討会議の様子

(2) 議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 施設の配置イメージについて
グループディスカッション&発表
 - (2) 施設の活用・運営イメージについて
グループディスカッション&発表
 - (3) 全体ディスカッション
3. その他
4. 閉会

(3) 主な意見の整理

(1) 第4回町民会議での意見

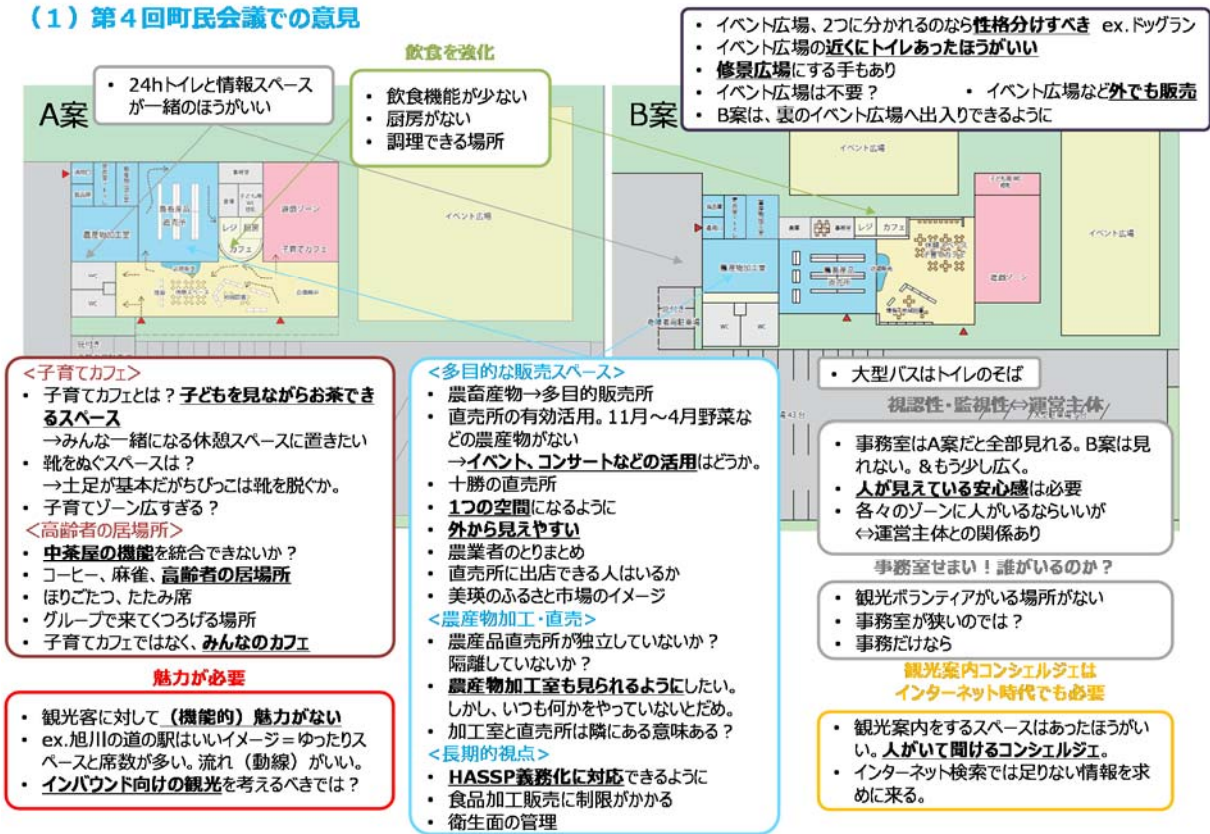


図 6-8 第4回町民検討会議の主な意見（施設の配置イメージについて）

グループごとに話し合ったテーマ

<テーマ：交流>

問1【施設運営のしくみ・しかけ】

- 既存の子育てサークルなどに施設を活用してもらったり、**中高生や地域のボランティア**に運営に携わってもらうなど、**地域の人の創意と工夫を生かして施設を運営**するためには、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

問2【みんなの居場所になるしくみ・しかけ】

- **多様な世代との交流を促進して「みんなの居場所」**を作るためには、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

問3【交流イベントのしくみ・しかけ】

- 町民が“やってみたいこと”にチャレンジ(マルシェ、おもちゃづくりWS、ヨガ…)したり、**積極的に情報発信**するために、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

<テーマ：産業>

問1【地域産品販売のしくみ・しかけ】

- **地域の農家と連携した運営**を行うとともに、**商品の品質・ブランドを維持**(上富良野産の他にはどんなこだわり?) するためには、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

問2【飲食提供のしくみ・しかけ】

- **加工施設と連携して、来た人への試食・情報提供・発見**につながる**地産地消のカフェ・食事スペース**を運営するためには、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

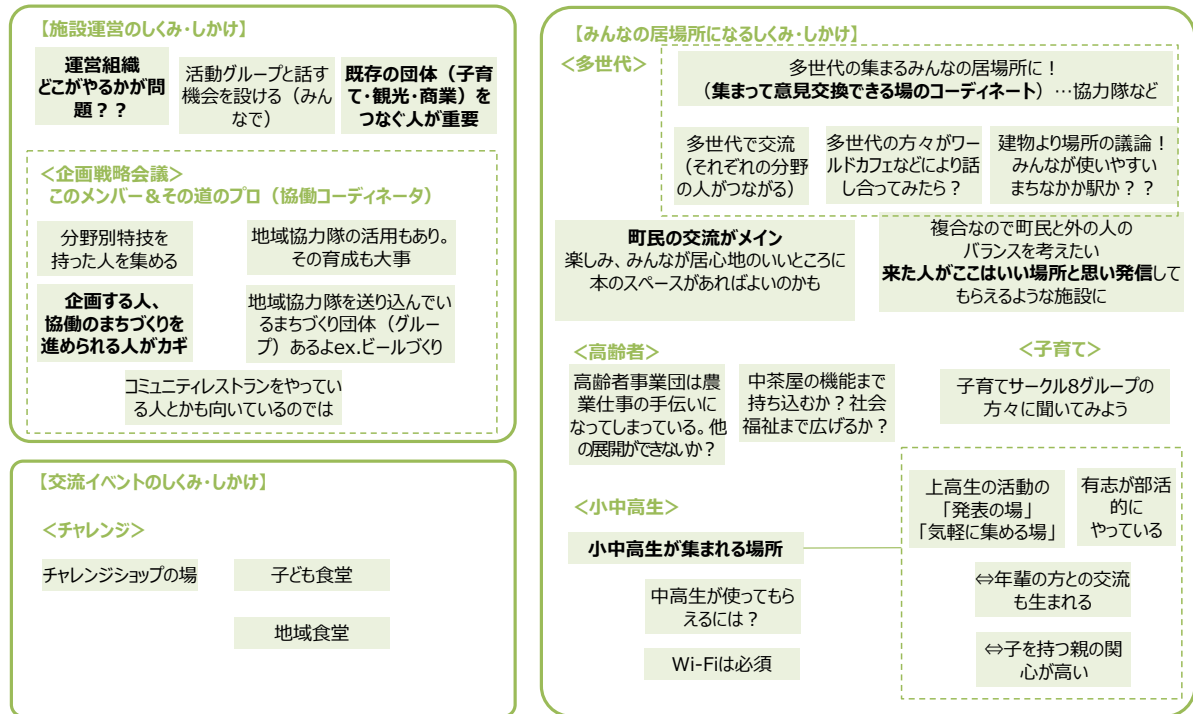
問3【観光案内のしくみ・しかけ】

- 町民が**おもてなし、観光案内**をするなど、**観光客と町民の交流を促進**し、地域の魅力を伝えて**上富良野ファンを増やす**ために、上富良野ではどのようなしくみ・しかけが必要でしょうか？

図 6-9 第4回町民検討会議のテーマ（施設の活用・運営イメージ）

【施設の活用・運営イメージについて】

◆テーマ：交流



◆テーマ：産業

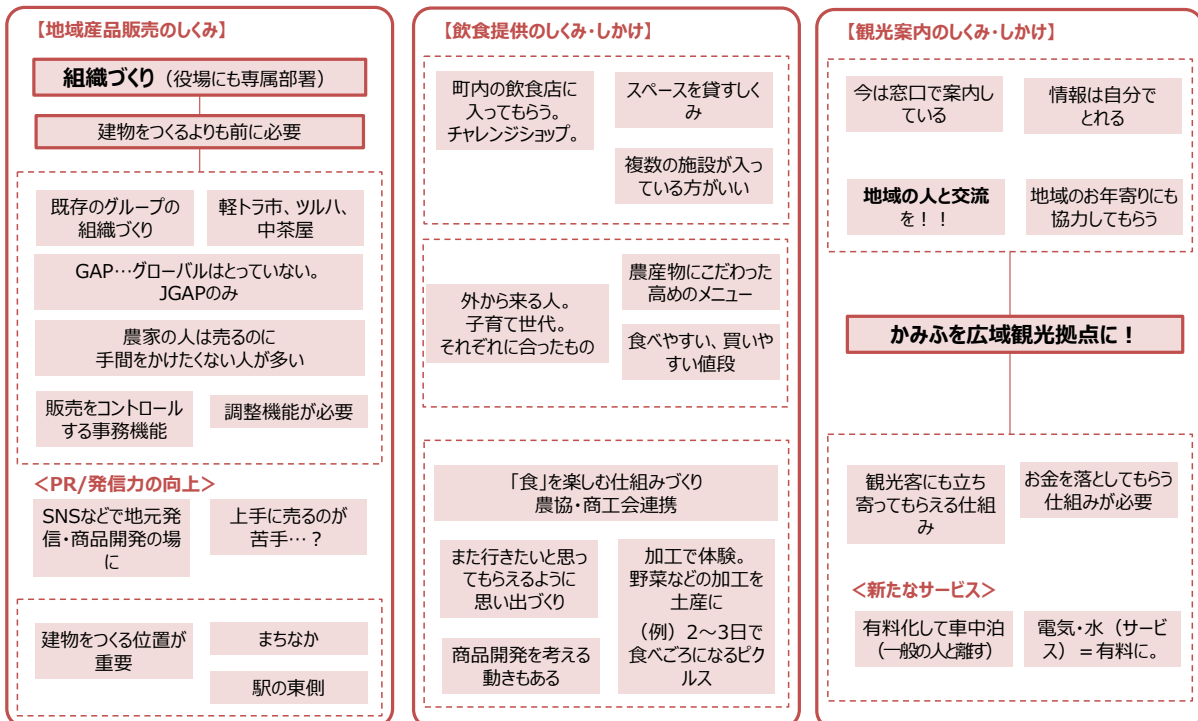


図 6-10 第4回町民検討会議の主な意見（施設の活用・運営イメージ）

6-2 意見交換会の開催

これまでの町民検討会議での議論の内容について、具体的にどのような拠点・取組が必要かなど、より深めるとともに、今後も町民と一緒に複合拠点施設について考えていく機運を醸成するため、視察および意見交換会を開催した。

視察は、近郊の類似施設である美瑛町の bi-yell を対象として実施した。

意見交換会は、町民検討会議のメンバーに加えて、意見交換会のテーマとした「子育て・交流」「産業・観光」に携わる町民にも参加してもらい開催した。

表 6-3 意見交換会のメンバー

属性	所属等	氏名
農業	農業生産者	田中 正太郎
観光	観光協会	青野 範子
商工	商工会	高尾 裕則
子育て	NPO 子どもサポートふらの	広瀬 美奈
	町PTA連合会	大道 俊夫
公募	農業生産者	佐藤 絵美
行政	総務課（防災）	谷口 裕二
	保健福祉課（子育て）	白井 宏子
	企画商工観光課（観光）	上嶋 義勝
	農業振興課（農業）	船引 幸美
	建設水道課（建築）	高松 徹
意見交換 （子育て等）	子育てサークル「くるくる」前会長	佐藤根 沙知
	子育て世代	戸田 志穂
	放課後等デイサービス事業者	福永 将平
意見交換 （産業・観光）	フラノカフェ（飲食）	三枝 兆
	フラノカフェ（飲食）	三枝 華代
	㈱ヤマイチ（観光）	齊藤 慎吾
	江花珈琲焙煎所（小売）	澤 徹之
	農業生産者	川田 哲也

(1) 視察の開催概要

日時：2019年11月25日（月）15：00～17：00

場所：美瑛町 bi-yell

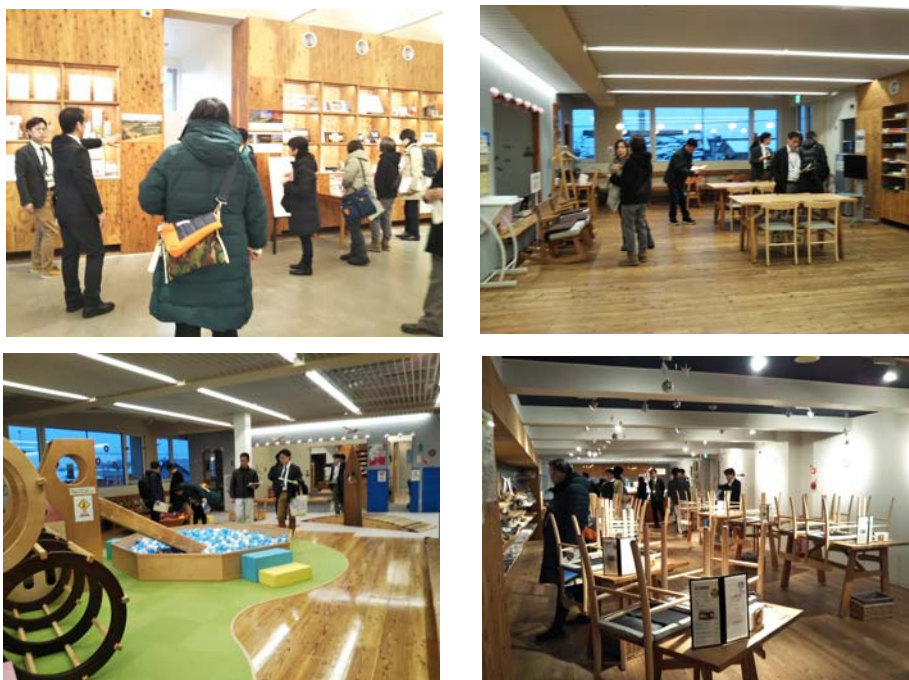


図 6-11 視察の様子

(2) 意見交換会の開催概要

日時：2019年11月25日（月）18：00～20：00

場所：上富良野町役場 3階会議室



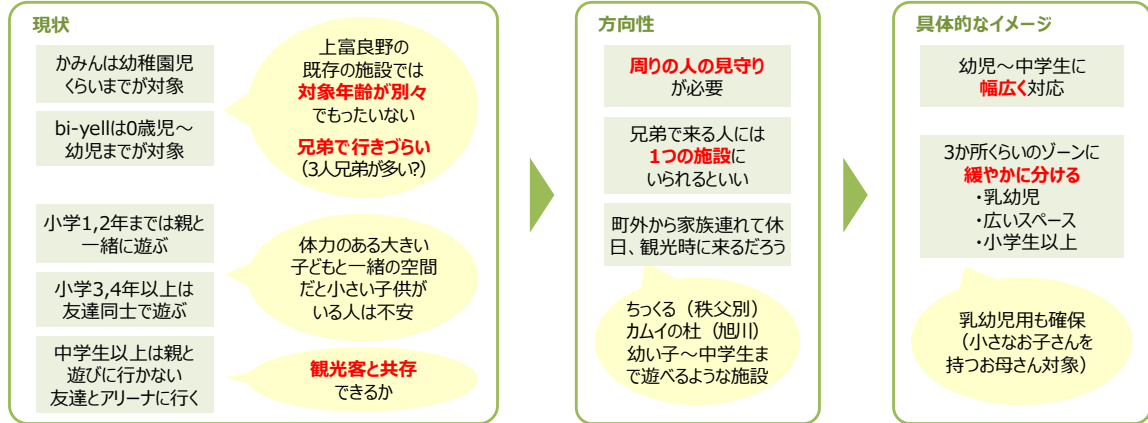
図 6-12 意見交換会の様子

(3) 主な意見の整理

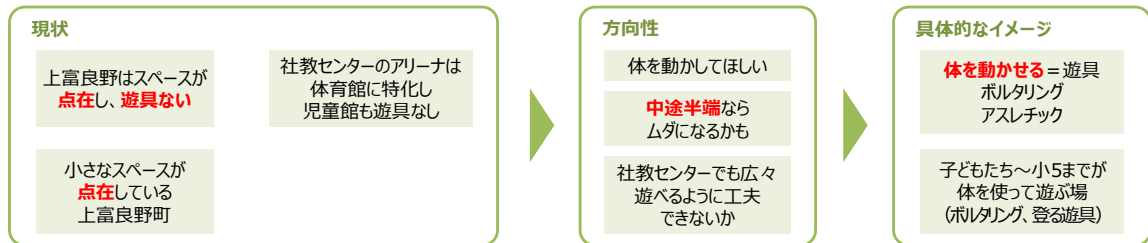
【子育て・交流】

◆子育て機能・交流機能となるような、屋内プレイルームは、どの年代を対象に、どんな空間があるのが理想？

①利用対象について

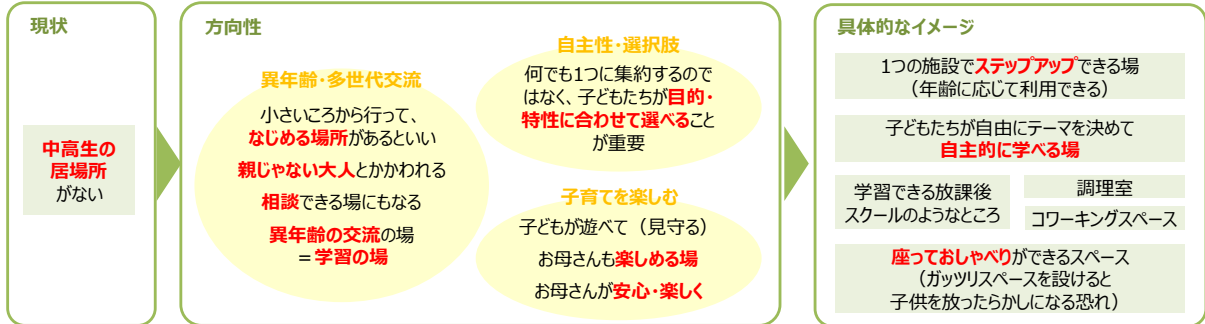


②遊具について



◆上富良野町での、これからの子育て・交流に望むことは？

◆「子どもたちが集まれる場(居場所)」、「地域全体で支える子育て」をどう実現するか？



◆子ども～大人、町民～観光客まで楽しみ、ふらっと立ち寄り、滞在する場所にするには？

◆図書、カフェ、ミーティングスペース、イベントスペースをどのように作るといい？

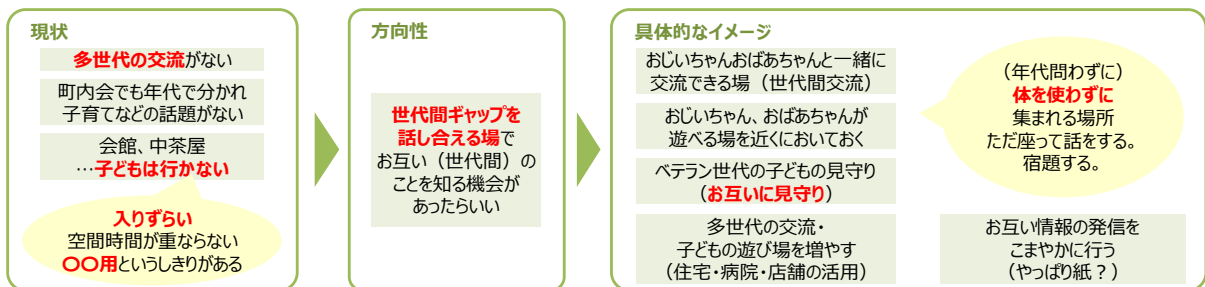
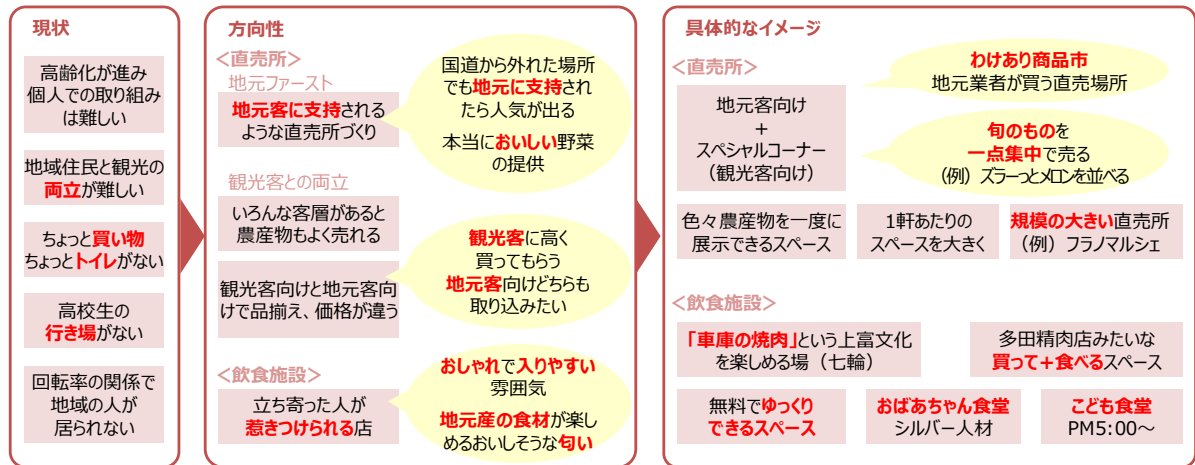


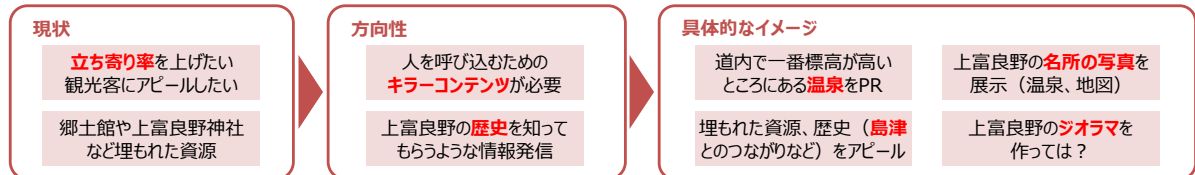
図 6-13 意見交換会で出された主な意見(子育て・交流)

【産業活性化】

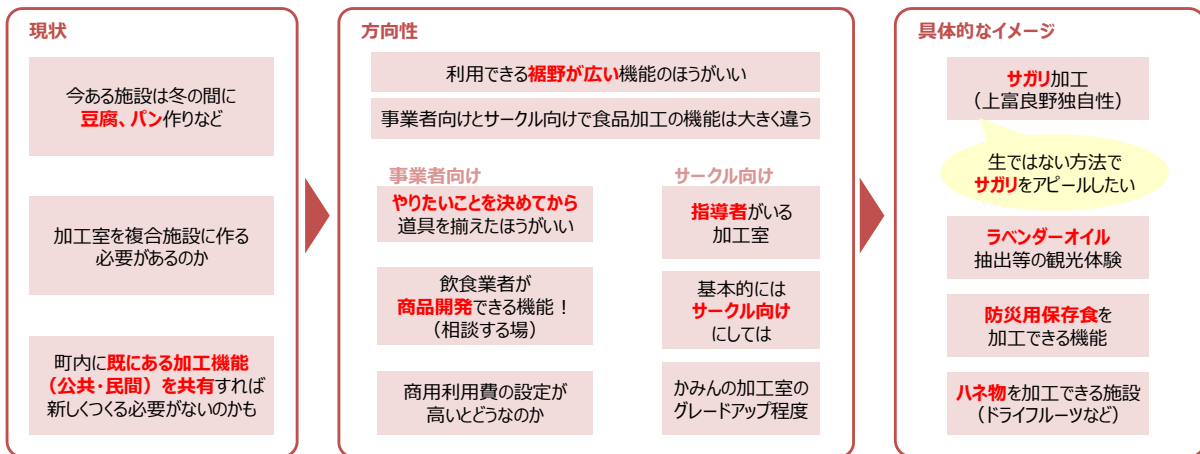
◆ 町民や観光客が上富良野町産の誇るべき農産品及び加工品を購入できる場をどのようにつくっていくか？



◆ 町外の人に魅力的に上富良野町をPRするには？



◆ どのような食品加工施設があるといいか？ 趣味用、観光体験用、販売商品製造用…？



◆ 地域で6次産業化を進めるためには？ その目的は？
◆ 農業者と商工業者のつながりをつくり、開発プロジェクトを進めるには？



図 6-14 意見交換会で出された主な意見 (産業活性化)

(4) 視察先の参考資料



図 6-15 視察先参考資料①

概要②

■建築面積 1階延べ床面積 642.251㎡
2階延べ床面積 627.875㎡
地下延べ床面積 205.278㎡
敷地面積 773.98㎡

■地域材 美瑛町産カラマツ 21.97㎡
地域材使用用途：室内フローリング、
展示棚、備付ベンチ、
キッチンカウンター、WCライニングカウンター

■構造 鉄骨造（地上2階地下1階建て）

■事業費 ①本体工事 592,704千円
※社会資本整備総合交付金（旧まち交）
②内装木質化工事 88,236千円
※道森林整備加速化・林業再生整備費補助金
③工事管理 7,808千円
合計 688,748千円

概要③

■施設概要

1F 展示ギャラリー、日本で最も美しい村紹介スペース、事務室
2F 子供遊びコーナー、図書閲覧コーナー、娯楽スペース
B1F カフェ&バー

■営業時間

1F、2F 10:00~19:00 B1F 11:00~20:00

■休館日

毎週月曜日（祝日の際は翌平日）、年末年始（12/31~1/5）

■開業日

平成27年8月1日

図 6-16 視察先参考資料②

運営主体

一般財団法人 丘のまちびえい活性化協会

設立 平成24年10月1日
基金 300万円
代表理事 角和 浩幸（美瑛町長）

関係団体

- ・美瑛町役場
- ・美瑛町観光協会
- ・美瑛町商工会
- ・美瑛町農業協同組合
- ・美瑛町森林組合
- ・美瑛町建設業協会
- ・美瑛町商工業協同組合
- ・美瑛町物産公社

職員数 10名（役場出向2名、正職員4名、臨時職員3名、地域おこし協力隊1名）
指定管理を美瑛町より平成27年の開業時より受けている

運営について

- ・1F、2Fの運営は**(一財)丘のまちびえい活性化協会**が行っている
- ・2Fは管理のため**臨時職員**を雇用（4名+代替2名）
- ・地下のbi.yell caféの運営は**(有)美瑛物産公社**が行っている



図 6-17 視察先参考資料③

委託業務について

- | | |
|-------------------|---------------|
| ①警備業務 | ②清掃業務 |
| ③バイオマスボイラー点検業務 | ④木質チップ購入 |
| ⑤木質チップ運搬業務 | ⑥自家用電気工作物保安業務 |
| ⑦フロン類機器簡易点検業務 | ⑧玄関マット等借上げ |
| ⑨屋根雪下ろし業務 | ⑩空調設備メンテナンス |
| ⑪消防用設備点検業務 | ⑫自動ドア保守点検業務 |
| ⑬エレベーター保守点検業務 | ⑭総合警備業務 |
| ⑮バイオマスボイラー排ガス測定業務 | |

利用状況について

丘のまち交流館 bi.yell 入館者数月別集計表

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月計		7,685	9,870	9,204	9,991
5月計		8,792	11,430	11,395	11,848
6月計		8,281	11,595	11,360	11,906
7月計		13,838	16,587	15,316	17,466
8月計	12,204	13,402	14,620	16,118	16,243
9月計	7,065	8,528	10,766	10,308	10,607
10月計	6,821	8,868	10,251	10,487	12,607
11月計	6,632	7,069	8,244	9,929	
12月計	6,184	6,684	6,854	9,598	
1月計	5,123	7,266	7,387	8,686	
2月計	6,818	7,391	9,006	10,732	
3月計	7,621	9,384	9,889	13,943	
累計	58,467	107,187	126,499	137,076	90,668

図 6-18 視察先参考資料④

利用促進対策

- 町内教育関係機関と連携した利用促進
- 広報、SNSを使用した**情報発信**
- **情報誌への掲載**（無料掲載）
- 展示（1F）に空白の期間ができないように**事前調整**
- 利用者目線での**備品の拡充**
- 年2回の町民参加型の**主催事業**



図 6-19 視察先参考資料⑤

第7章 施設構想

7-1 施設コンセプトの策定

7-1-1 複合拠点施設の方向性

(1) 上富良野町の抱える現状と課題

上富良野町の抱える現状と課題を、産業振興、情報発信、町民交流、防災機能の視点から整理する。

<産業振興>

- **観光客の入込の季節変動**が大きく、減少傾向となっている
- 上富良野町の**特産品を購入できる拠点**がない

<情報発信>

- 上富良野町は**観光・情報発信が弱い**（町内の観光施設や宿泊施設等との連携不足）

<町民交流>

- 教育・文化施設や交流施設、子育て支援施設は町内にあるが、**機能が分散**している
- **多世代の町民が日常的に集える拠点**がない

<防災機能>

- 「水害・土砂災害」、「地震災害」、「火山災害」などの**自然災害リスク**を抱えている

(2) 複合拠点施設の展望

複合拠点施設の設置にあたっては、自然災害リスクの低い場所への立地として、備蓄等の防災機能を付与するなど、町民の安全性を高めることを前提として、「多世代が集える憩いの場・交流の場」「観光拠点や特産品の販売拠点、産業振興・雇用創出の場」を創出することが必要となる。

拠点施設設置の目的の土台となるのは、町民満足度の向上であり、まず町民がまちの魅力を感じる・再認識することが、町外に対するまちのイメージ向上にもつながる。さらに、観光客の求めるものは**町民にも価値**があり、外の人から見ても魅力的なまちとなるようクオリティを向上させることによって、さらに**関係人口を増やす**ことが重要となる。

また、町民や観光客など外の人々のニーズは時代とともに変化していくことが想定される。複合拠点施設が将来にわたってまちを豊かにする拠点となるためには、ニーズの変化に対応できるような**多様性・柔軟性**を持った施設とすることが必要である。

複合拠点施設が、**豊かさや町民満足を生み出すような、様々な「交流」を促進する拠点**となって、**関係人口を拡大**し、農業・観光などの産業の振興につなげ、**まちをさらに豊かに**することで町民満足度をさらに高めるといった、**好循環を生み出す**ことを目指す。

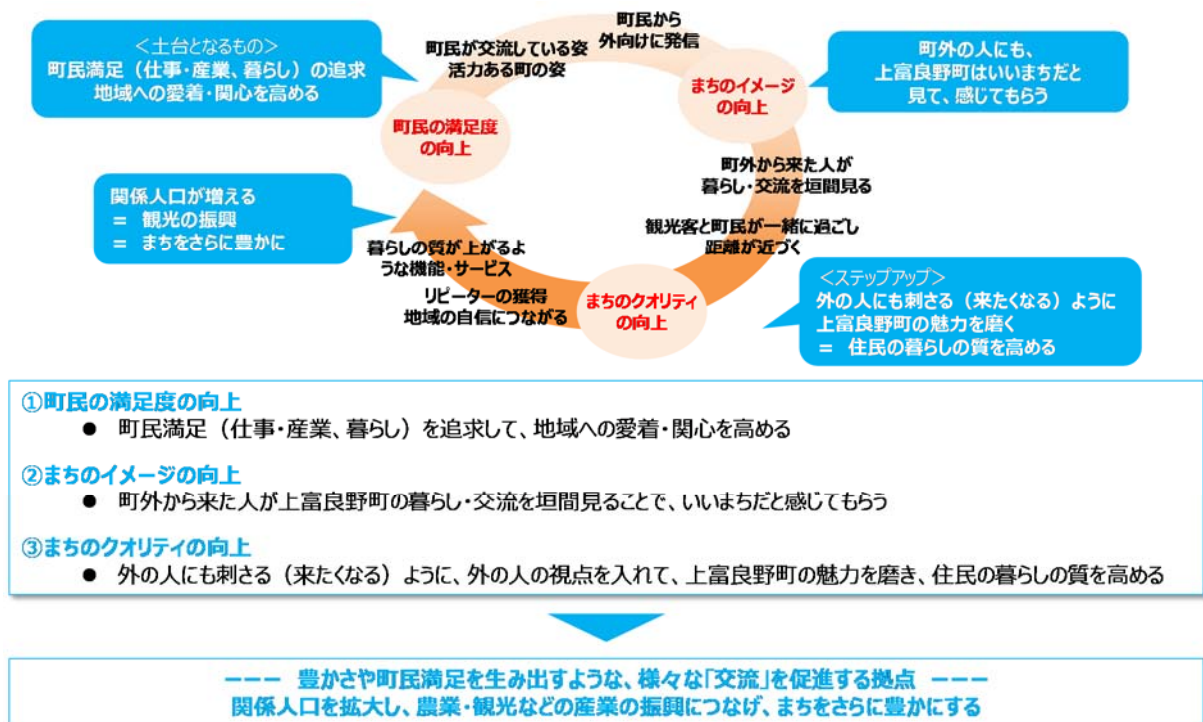


図 7-1 複合拠点施設の展望 (好循環イメージ)

7-1-2 複合拠点施設の生み出す交流

複合拠点施設の展望で示すように、町民同士の「交流」が地域への愛着を生み、町民の「交流」している姿が街のイメージの向上につながり、さらには町外から来た人と町民との「交流」によって、まちのクオリティが向上していくという好循環を生み出していくことが重要となる。

好循環を生み出すために、複合拠点施設の重要ポイントとなるものは、「交流」である。

複合拠点施設では、様々な交流を促進する拠点として、上富良野町の特性を踏まえ、次の4つの「交流」の促進を目指す。

①多世代の交流

- 若い世代に魅力的な拠点は、人を呼び、好循環を生む
- 高齢者、子育て世代、若者など、多様な世代が気軽に集まり、自然に交流・学びが生まれる

②町内在住者の交流

- 地域を愛する人を増やし、地域への定着を図り、口コミ源とする
- 自衛隊や移住者など、町外から移り住んだ人も、地域との関わりが持てる

③町内外の交流

- かみふファンを増やすとともに、外ノ目で魅力を磨き、町の暮らしのクオリティを高める
- 観光客と町民が、一緒の空間で過ごし、お互いに上富良野町のいいところを発見できる

④異業種の交流

- かみふブランドを創り、ビジネスチャンスにつなげる
- 町内の異業種・同業種・世代間など、働く人の交流を促進し、上富良野町ブランドを創出する

7-1-3 施設コンセプト

複合拠点施設のコンセプトは、「**かみふの恵みがつなく出会いの場（仮称 かみふらつと）**」と設定し、将来にわたって上富良野町のまちを豊かにする拠点となるよう、多様性と柔軟性を併せ持った施設を目指すものとする。

複合拠点施設で実現したいポイントについて、以下の4つに整理する。

- ① **思い思いの過ごし方ができる**
- ② **いつでも誰かと交流できる**
- ③ **上富良野町産の食を買える・食べられる**
- ④ **上富良野町について知ることができる**

そして、これらのポイントから導き出される以下の4つの方向性を、以下のサブコンセプトとして設定する。

- 「**みんなの居場所**」
- 「**かみふの魅力をさらに磨く**」
- 「**気分に合わせてかみふの食満喫**」
- 「**誰もがかみふ通**」

さらに、これらのサブコンセプトから、施設に必要となる5つの基本機能を設定する。

- 機能① **若い世代の呼び込み機能**
- 機能② **多世代交流機能**
- 機能③ **上富良野ブランド発信機能**
- 機能④ **地産地消機能**
- 機能⑤ **まちの情報発見機能**

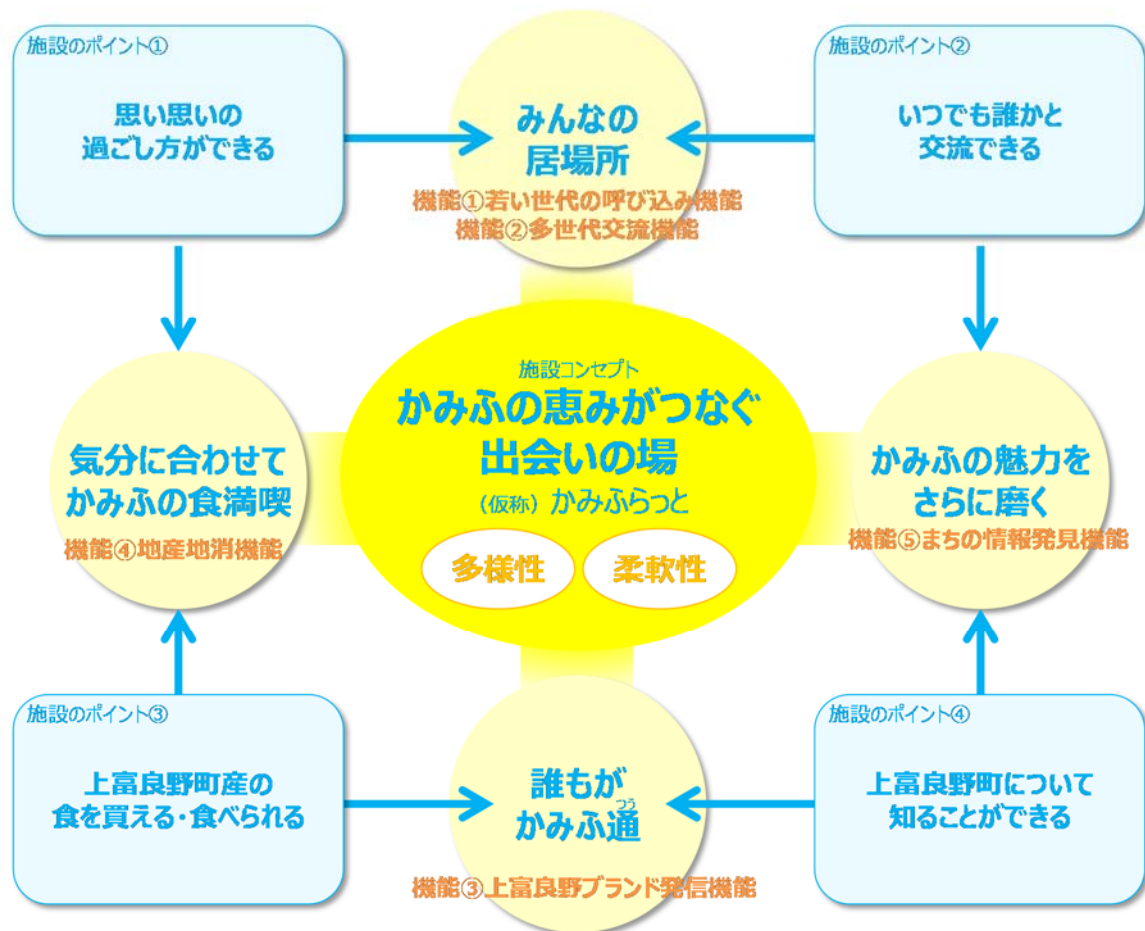


図 7-2 施設コンセプト

7-2 施設の導入機能

施設に導入する基本機能を、「若い世代の呼び込み機能」「多世代交流機能」「上富良野ブランド発信機能」「地産地消機能」「まちの情報発見機能」の5つとして、施設コンセプトに沿って、導入機能別に施設イメージを設定する。

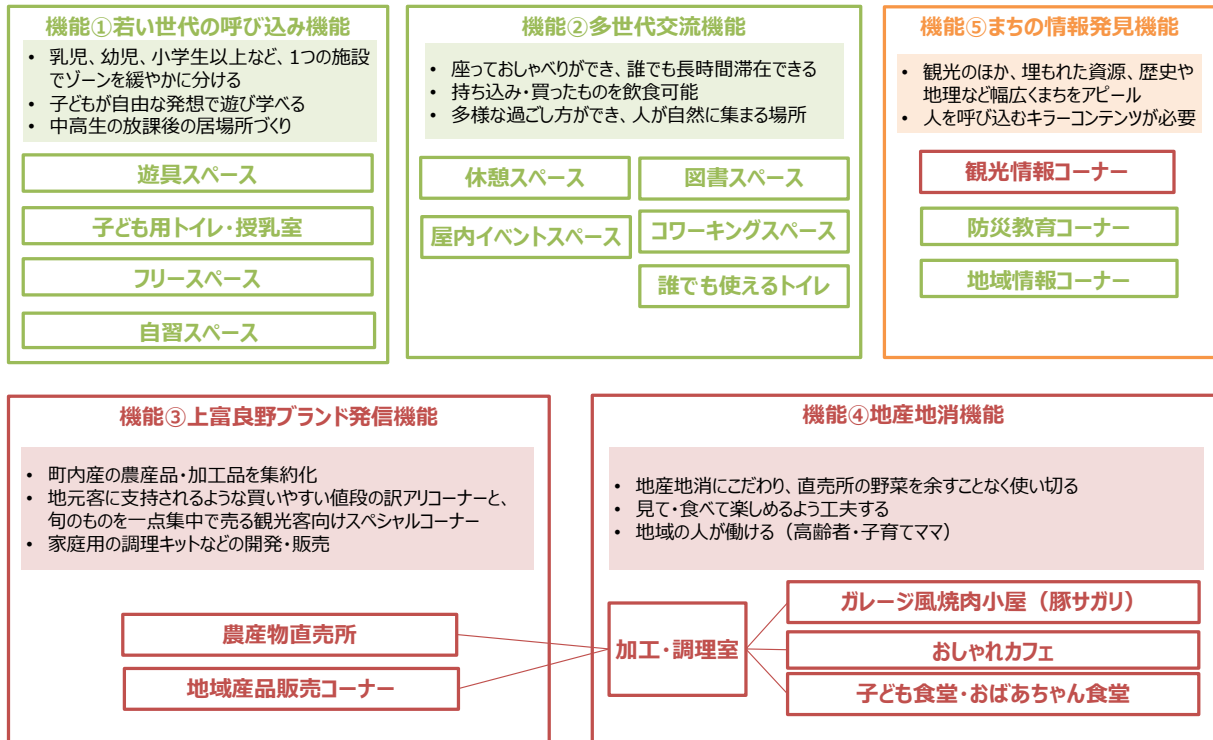


図 7-3 施設の導入機能

7-2-1 機能①若い世代の呼び込み機能

①遊具スペース

- 乳児、幼児、小学生以上など、1つの施設でゾーンを緩やかに分ける
- 固定遊具だけでなく、移動が可能な遊具もあればフリースペースを活用可能

②子ども用トイレ・授乳室

- 靴を履き替えず使えるトイレ
- 授乳室、おむつ替えコーナー、給湯室

③フリースペース

- 子どもたちが自由な発想で遊べる空間
- 秘密基地のような隠れ家や図書コーナー

④自習スペース

- 中高生の放課後の居場所づくり
- 中高生がグループでも一人でも場合に応じて使い分けができるスペース



図 7-4 若い世代の呼び込み機能のイメージ例

7-2-2 機能②多世代交流機能

①休憩スペース

- 座っておしゃべりができ、誰でも長時間滞在できる
- 持ち込み・買ったものを飲食可能とする

②図書スペース

- 多様な過ごし方ができ、人が自然に集まる場所
- 情報発信として、地域の自然・文化・観光や、防災に関連する書籍を置くなどテーマ性を持たせる

③イベントスペース

- 屋内や屋外に設置し、イベントや子どもの遊び場、产品销售など多様に活用可能な空間

④ワーキングスペース

- 地域への来訪客や町民が仕事などで活用できるスペース
- 大人数でのミーティングなどできる会議スペース

⑤誰でも使えるトイレ

- 観光客の利用ニーズにも対応できる使いやすいトイレの充実



図 7-5 多世代交流機能のイメージ例

7-2-3 機能③上富良野ブランド発信機能

①農産物直売所

- 地元客に支持されるような買やすい値段の訳アリコーナー
- 旬のものを一点集中で売る観光客向けスペシャルコーナー

②地域産品販売コーナー

- 町内産の農産品・加工品を集約化
- 地域産品をパッケージ化したギフトセット販売

③チャレンジショップ

- 町内の新たな起業・創業を支援する仕組み
- 新商品、新メニューなどの開発・販売の試行



図 7-6 上富良野ブランド発信機能のイメージ例

7-2-4 機能④地産地消機能

①加工・調理室

- 既存の農産物加工実習施設機能の代替施設
- 最低限の機能を備え、必要に応じて機能を追加する

②飲食店

- 地産地消にこだわり、直売所の野菜を余すことなく使い切るなど施設内で連携する
- 見て・食べて楽しめるよう工夫する
- 子ども食堂や地域食堂など地域の人（高齢者・子育てママ）が参加・働ける場にする



図 7-7 地産地消機能のイメージ例

7-2-5 機能⑤まちの情報発見機能

①観光情報コーナー

- 窓口で観光ガイドによる案内を行う
- 誰でも案内人になれるよう徹底する
- 観光名所や特産品、飲食店等の紹介、ロケツーリズムなどの観光情報のほか、埋もれた資源、歴史や地理など幅広くまちをアピールする

②防災教育・地域情報コーナー

- 情報発信コーナーと図書スペースを兼用するなど、地域、防災情報を手に取りやすくする



図 7-8 まちの情報発見機能のイメージ例

7-3 施設規模の想定

7-3-1 施設の入込想定

地域の主要幹線道路である吹上上富良野線の付近道路交通量（平成27年交通センサス）をもとに、日本道路公団設計要領に基づいて施設の入込数を試算した結果、年間入込客数は、18万人程度となった。

表 7-1 年間入込客数の想定

項目	平日・休日	試算結果	備考
付近道路交通量 (小型車ベース)	平日	1,304 台	休日サービス係数1.4として算出
	休日	1,826 台	
立寄率	平日	0.18	NEXCO要領（サービスエリア：小型車）
	休日	0.18	
立寄台数	平日	235 台	交通量×立寄率
	休日	329 台	
平均乗車人員	平日	1.5 人/台	設定値
	休日	2.5 人/台	
1日当立寄客数	平日	352 人	立寄台数×平均乗車人員
	休日	822 人	
日数	平日	245 日	
	休日	120 日	
年間入込客数	平日	86,260 人	
	休日	98,582 人	
	合計	184,842 人	

◆年間入込客数想定 約 180,000 人/年間

夏期、冬期内訳 夏期5-10月 約 148,000 人/年間

冬期11-4月 約 32,000 人/年間

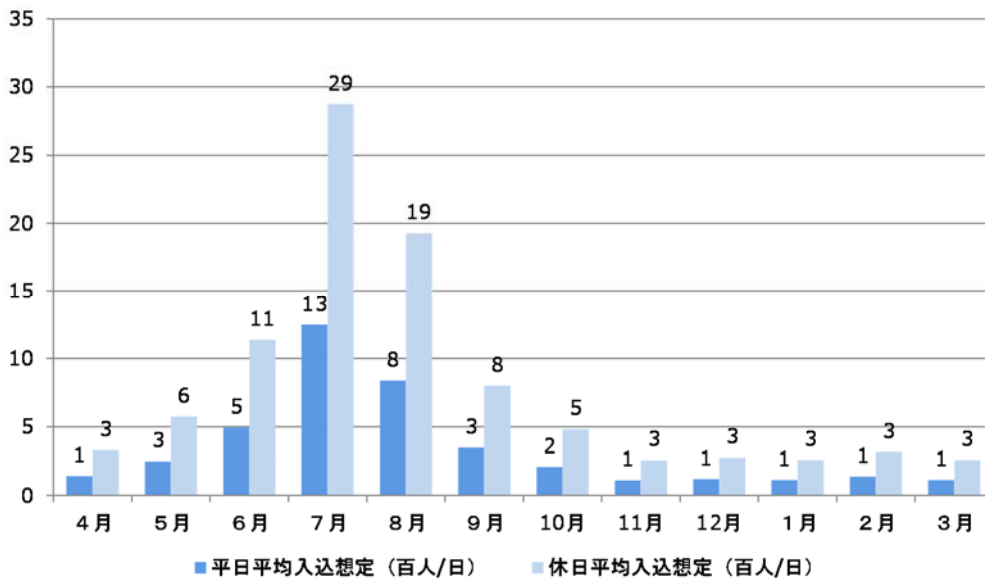


図 7-9 月別・平休日別の入込客数の想定

7-3-2 施設の規模想定

入込想定（年間18万人）に基づいて、敷地面積7,000㎡程度と想定の上、施設規模を算定した。

表 7-2 施設規模想定

施設面積	トイレ	90 ㎡
	授乳スペース	10 ㎡
	子ども用トイレ	10 ㎡
	事務所	40 ㎡
	子どもスペース	170 ㎡
	多目的ホール	100 ㎡
	休憩スペース	190 ㎡
	飲食スペース	100 ㎡
	情報発信スペース	20 ㎡
	物産スペース	170 ㎡
	物産スペース（チャレンジショップ）	30 ㎡
	加工・調理室	130 ㎡
	バックスペース（機械室含む）	120 ㎡
	通路	90 ㎡
		小計
屋外面積	駐車場	2,590 ㎡
	屋外イベントスペース・外構等	3,140 ㎡
		小計
	合計	7,000 ㎡

(1) 駐車場

駐車場は、前面交通量から日本道路公団設計要領に基づいて試算し、イベントスペースや冬期の堆雪場としての利用分も含めた面積としている。

表 7-3 駐車場の規模想定

小型車	普通車駐車台数	14 台	前面交通量×立寄率×ラッシュ率÷回転率
	高齢者・障がい者用	1 台	全小型車駐車マス数×1/50 以上
	計	15 台	
大型車駐車台数		4 台	前面交通量×立寄率×ラッシュ率÷回転率
従業員用駐車場		6 台	設定値
小型車（イベントスペース・堆雪場利用想定分）		25 台	設定値
大型車（イベントスペース・堆雪場利用想定分）		1 台	設定値
合計台数	小型車合計	46 台	
	大型車合計	5 台	
駐車場面積		2,590 ㎡	小型車40㎡/台、大型車150㎡/台

(2) トイレ

トイレは、駐車場台数を基準に、東日本高速道路株式会社の設計要領を参考にして算定した。多様な利用者への対応ができるように、多機能トイレのほか、女性用のパウダールームや授乳室、子ども用トイレの設置を想定した。

表 7-4 トイレの規模想定

トイレ	男子小便器	3 個	3㎡/個
	男子大便器普通	1 個	5.4㎡/個
	男子大便器大型	1 個	8.8㎡/個
	洗面	1 個	3㎡/個
	女子大便器普通	7 個	5.4㎡/個
	女子大便器大型	1 個	8.8㎡/個
	洗面	2 個	3㎡/個
	パウダー	3 個	2.2㎡/個
	多機能	1 個	10.8㎡/個
	合計	90 ㎡	東日本高速道路(株) 設計要領を参考に算出
授乳室		10 ㎡	
子ども用トイレ		10 ㎡	

(3) 事務所

事務所は、施設に常駐する職員の人数を 5 人と設定し、一人当たりの面積を 8 ㎡として算定した。

表 7-5 事務所の規模想定

事務所	職員数想定	5 人	設定値
		40 ㎡	8㎡/人

(4) 加工・調理室

加工・調理室については、町内の農産物加工実習施設にある畜産加工室及び農産物加工室と同等の面積を設定した。

(5) 滞留空間

滞留人数について、休日を想定して、各機能別に利用者数を概算した。利用者数の想定をもとに、滞留空間の面積を設定した。

表 7-6 滞留空間の規模想定

滞留人数	休日の昼食時の想定	施設内 滞留客数	115 人	小型車駐車場台数*2.5人/台
	トイレのみ利用	5%	5 人	
	休憩スペース利用	15%	17 人	
	子どもスペース利用	30%	34 人	
	休憩スペース利用（飲食）	30%	34 人	
	物産スペース利用	30%	34 人	
子どもスペース			170 m ²	5m ² /人、休憩スペースを含める
多目的ホール			100 m ²	設定値
休憩スペース	休憩用		90 m ²	5m ² /人
	飲食用		100 m ²	3 m ² /人（①）、テーブル・イス・ごみ箱・滞留スペース
飲食スペース	厨房面積		70 m ²	2店舗想定、設定値
	厨房関連諸室（レジ等）		30 m ²	2店舗想定、設定値
情報発信スペース			20 m ²	設定値
物産スペース	直営スペース		170 m ²	設定値
	チャレンジショップスペース		30 m ²	設定値
	自動販売機		10 m ²	設定値※面積は通路に含む
バックスペース	機械室		60 m ²	設定値
	更衣室		10 m ²	設定値
	倉庫（屋外用）		20 m ²	設定値
	倉庫（屋内用）		20 m ²	設定値
	ゴミ庫		10 m ²	設定値
通路			90 m ²	設定値

7-4 敷地条件の整理

敷地を選定するにあたってのポイントは、利用者である「町民のアクセス」「観光客のアクセス」のほか、「防災上安全なエリア」があげられる。

上富良野町内において、複合拠点施設の立地が考えられるエリアとしては、「市街地エリア」「JR駅周辺エリア」「国道沿いエリア」がある。

優先する利用対象者を町民とすること（自転車、徒歩でのアクセス性を考慮）、回遊性を持たせ町内への波及効果をより高めることを考慮すると、「町民のアクセス」「観光客のアクセス」「防災上安全なエリア」の3つの条件を満たす場所としては、市街地エリアの幹線道路沿いが最適である。

また、公有財産の利用は必須とせず、必要に応じて用地買収を伴うものとする。

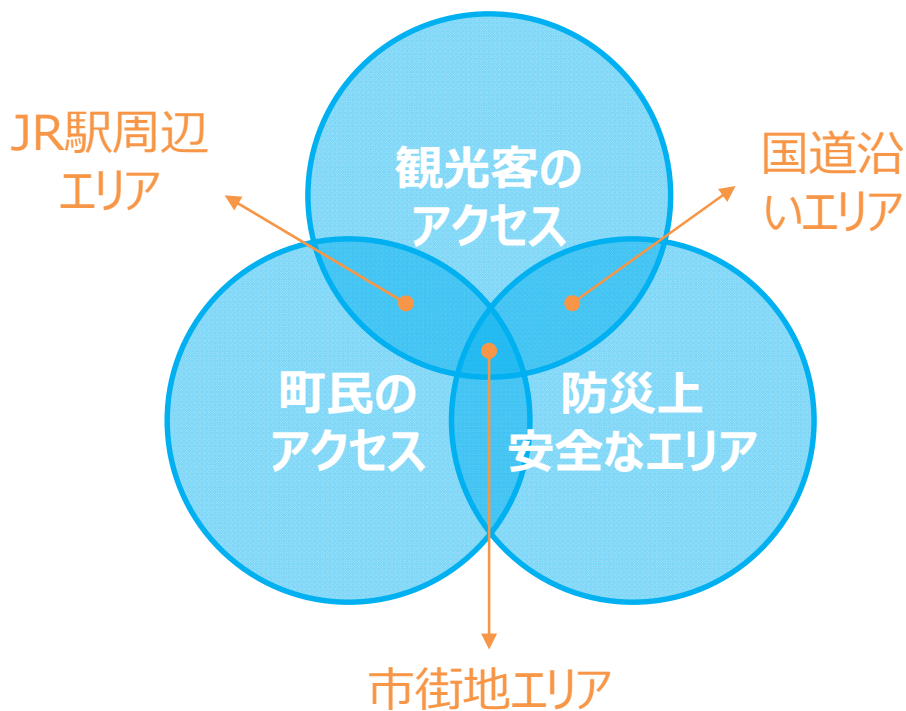


図 7-10 敷地を選定するポイント

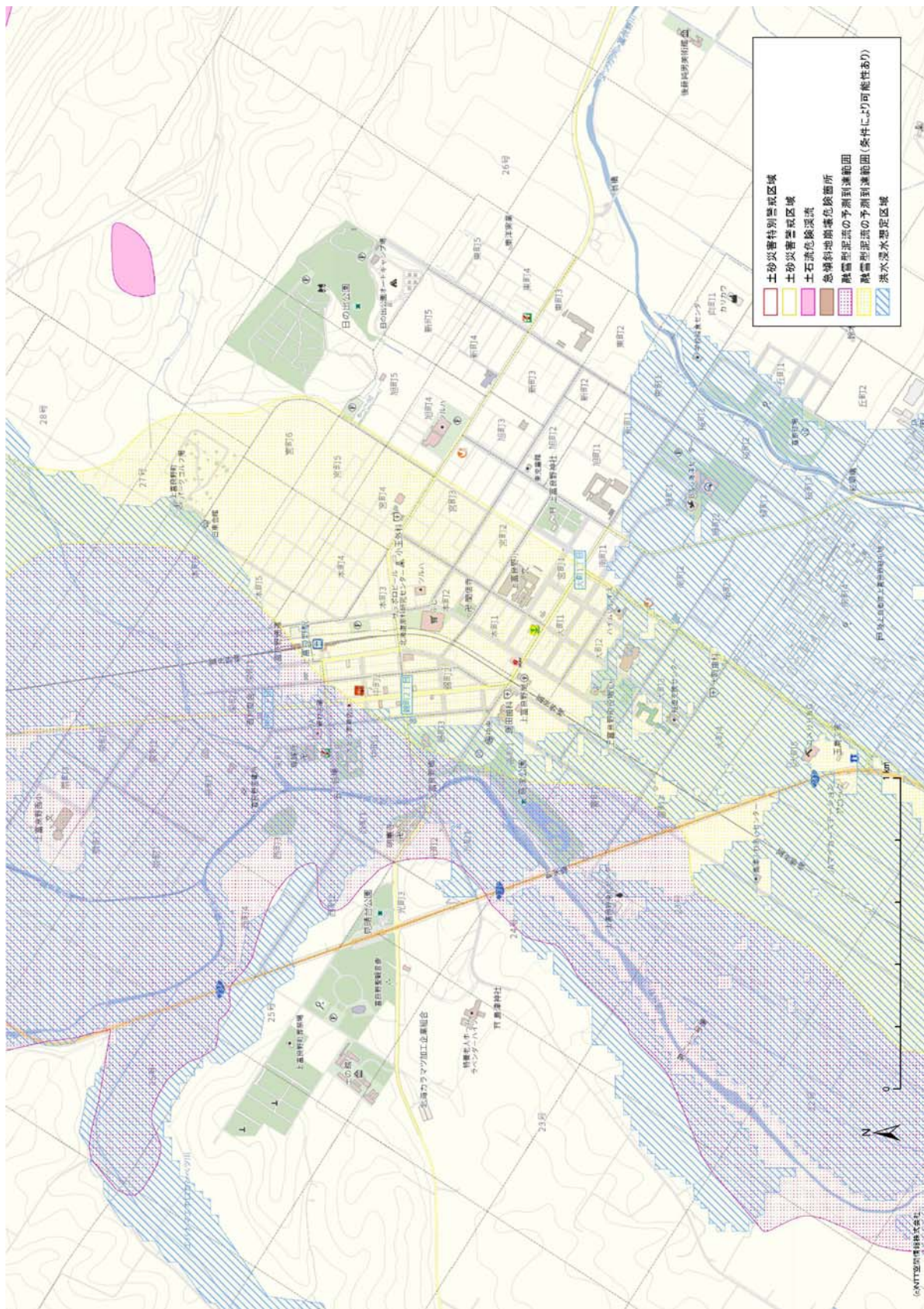


図 7-11 上富良野町内の災害想定区域

第8章 施設配置計画の検討

施設配置を検討するにあたっての留意点は以下のとおりである。これらの留意点を踏まえて、施設配置計画を2パターン作成した。

表 8-1 施設配置の留意点

項目	留意点
事務所	● 子どもスペース、多目的ホールなどを一体的に管理しやすい配置
物産スペース	● 多目的ホールと連携可能な配置
情報発信スペース	● 観光案内カウンターやレジなど人がいる機能を集約して兼用可能な配置
子どもスペース	● イベント広場と連携しやすく、飲食スペースからの視認性もよい配置
加工・調理室	● 独立した利用も可能な配置
トイレ	● 24時間対応となった時にもセキュリティが明快な配置
多目的ホール	● 休憩や図書、講演、自習、飲食など様々な活動を行えるフリーなスペース ● 子どもスペースと物産スペースの間に多目的ホールを配置することで、それぞれの様子を感じられる空間とするとともに、来訪客の割合（町民と観光客）や物産規模の季節変動に応じて柔軟に利用用途を変更できるようにする

第9章 施設整備・運営に向けた検討

9-1 関連総事業費設定

建設工事、調査及び設計等に要する総事業費の概算を以下に示す。

表 9-1 関連総事業費

項目	単位	数量	単価 (円)	直工	税 (×0.1)	計
測量調査	式	1	¥2,560,000	¥2,560,000	¥256,000	¥2,816,000
地質調査	式	1	¥3,830,000	¥3,830,000	¥383,000	¥4,213,000
外構基本設計	式	1	¥2,970,000	¥2,970,000	¥297,000	¥3,267,000
外構実施設計	式	1	¥7,070,000	¥7,070,000	¥707,000	¥7,777,000
建築基本設計	式	1	¥6,800,000	¥6,800,000	¥680,000	¥7,480,000
建築実施設計	式	1	¥17,000,000	¥17,000,000	¥1,700,000	¥18,700,000
建築工事監理	式	1	¥4,800,000	¥4,800,000	¥480,000	¥5,280,000
外構工事監理	式	1	¥1,000,000	¥1,000,000	¥100,000	¥1,100,000

項目	単位	数量	単価 (円)	直工	諸経費・税 (×0.46)	計
建築設備工事 (什器等を含む)	m ²	1,270	¥410,000	¥520,700,000	¥239,522,000	¥760,222,000

項目	単位	数量	単価 (円)	直工	諸経費・税 (×0.7)	計
外構工事	m ²	5,730	¥18,000	¥103,140,000	¥72,198,000	¥175,338,000

合計 ¥986,193,000

9-2 売上高想定及び営業収支想定

9-2-1 売上高想定

売上高のシミュレーションを行った結果を以下に示す。

なお、本シミュレーションでは、飲食コーナーはテナント2店舗による運営とし、セルフサービスのカフェ・軽食提供を想定している。また、イベントスペースは屋外の販売を想定している。物産スペースについては、直営分のみシミュレーションを行い、チャレンジショップ分については、面積相当分の光熱費のみ利用料とすることとした。

表 9-2 飲食スペースのシミュレーション結果

セルフサービスのカフェ・軽食（2店舗分）

【収入】

席数	夏期（5-10月）	60 席	設定値
	冬期（11-4月）	20 席	設定値
稼働率		60 %	設定値
回転率		4.0 回転・席/日	設定値、日本フードサービス協会資料/喫茶4.1回転
1日あたり客数	夏期（5-10月）	144 人/日	
	冬期（11-4月）	48 人/日	
平均客単価		800 円	設定値、日本フードサービス協会資料/喫茶780円、セットメニュー800円を想定
営業日数	夏期（5-10月）	160 日	週休1日
	冬期（11-4月）	158 日	週休1日
入込客数	夏期（5-10月）	23,040 人	
	冬期（11-4月）	7,584 人	
売上	夏期（5-10月）	18,432 千円	
	冬期（11-4月）	6,067 千円	
	合計	24,499 千円	

【支出】

人件費	調理師	6,800 千円	調理師1名を想定
	フロア-	4,452 千円	パート1名、7時間/日勤務、時給1000円を想定
飲食業原価		7,350 千円	売上×30%
賃料		2,400 千円	10万円/月
水道光熱水費		900 千円	9,000円/㎡/年、テナント面積相当分
売上加算	夏期（5-10月）	1,843 千円	売上×10%
	冬期（11-4月）	607 千円	売上×10%
	合計	2,450 千円	
合計		24,352 千円	

売上加算	10 %
------	------

表 9-3 イベントスペースのシミュレーション結果

【収入】

利用日数	(夏期)	8 日/月	5-10月
利用日数	(冬期)	2 日/月	11-4月
購買率	夏期 (5-10月)	20%	設定値
	冬期 (11-4月)	10%	設定値
平均客単価		500 円	設定値
屋外販売売上 (夏期)		6,245 千円	
屋外販売売上 (冬期)		171 千円	
月別売上	4月の売上	17 千円/日	計画交通量より試算
	5月の売上	58 千円/日	計画交通量より試算
	6月の売上	114 千円/日	計画交通量より試算
	7月の売上	288 千円/日	計画交通量より試算
	8月の売上	193 千円/日	計画交通量より試算
	9月の売上	80 千円/日	計画交通量より試算
	10月の売上	48 千円/日	計画交通量より試算
	11月の売上	13 千円/日	計画交通量より試算
	12月の売上	14 千円/日	計画交通量より試算
	1月の売上	13 千円/日	計画交通量より試算
	2月の売上	16 千円/日	計画交通量より試算
	3月の売上	13 千円/日	計画交通量より試算

売上加算	10 %
------	------

表 9-4 物産スペース (直営) のシミュレーション結果

【収入】

売上	夏期 (5-10月)	22,350 千円	
	冬期 (11-4月)	1,600 千円	
	合計	23,950 千円	
入込客数	夏期 (5-10月)	44,700 人	
	冬期 (11-4月)	3,200 人	
	合計	47,900 人	
購買率	夏期 (5-10月)	30%	設定値
	冬期 (11-4月)	10%	設定値
	平均客単価	500 円	設定値
ギフトセット販売		2,000 千円	
	販売数	1,000 点/年	設定値
	平均客単価	2,000 円	設定値

【支出】

パート給与	1,316 千円	パート2名、休日のみ7時間/日勤務、時給1000円を想定
客用消耗品	519 千円	アンテナショップ売上×2%
商品仕入れ	16,765 千円	原価率70%
ギフトセット商品仕入れ	1,400 千円	原価率70%
合計	20,000 千円	

日数	平日 12 h	271 日
	休日 12 h	94 日

9-2-2 営業収支想定

表 9-5 営業収支のシミュレーション結果

収益	補助（または委託料）	20,000 千円	
	飲食スペース収入（テナント）	5,750 千円	
	賃料	2,400 千円	10万円/月、2店舗分
	水道光熱費	900 千円	9,000円/m ² /年、テナント面積相当分
	売上加算（夏期）	1,843 千円	売上×10%と設定
	売上加算（冬期）	607 千円	売上×10%と設定
	イベントスペース収入	642 千円	
	屋外販売利用料（夏期）	625 千円	屋外イベントスペース（駐車場）を想定、5-10月に月8日、売上×10%と設定
	屋外販売利用料（冬期）	17 千円	屋外イベントスペース（駐車場）を想定、11-3月に月2日、売上×10%と設定
	物産スペース収入（チャレンジショップ）	270 千円	9,000円/m ² /年、テナント面積相当分
	チャレンジショップ利用料	270 千円	9,000円/m ² /年、テナント面積相当分
	物産スペース収入（直営）	25,950 千円	
	売上（夏期）	22,350 千円	客単価500円、購買率30%と設定
	売上（冬期）	1,600 千円	客単価500円、購買率10%と設定
	ギフトセット販売売上	2,000 千円	客単価2000円、販売数1000点と設定
	自動販売機収益	590 千円	原価率75%、客単価130円/人、購買率10%と設定
	合計	53,202 千円	

費用	トイレ消耗品費	360 千円	年間入込客数想定×2円
	水道光熱費	10,170 千円	9,000円/m ² /年（電気、水道、灯油、ガス）
	営業経費	2,500 千円	2,500千円/年（直営ショップ消耗品、事務所事務費・消耗品費）
	維持管理費	3,955 千円	3,500円/m ² /年（リース代、保守契約料、修繕費） （衛生管理費、清掃業務委託は他施設に含まれる）
	その他経費	500 千円	小破修繕、リース代、保守契約 など
		千円	
		千円	
		千円	
	物産スペース運営費（直営）	20,000 千円	
	パート給与	1,316 千円	パート2名、休日のみ7時間/日勤務、時給1000円を想定
	客用消耗品	519 千円	アンテナショップ売上×2%
	商品仕入れ	16,765 千円	原価率70%
	ギフトセット商品仕入れ	1,400 千円	原価率70%
	受託業務経費	1,000 千円	各受託業務等の経費として計上
	人件費	14,000 千円	
	取締役駅長	7,000 千円	
	採用職員	7,000 千円	2名を想定
合計	52,485 千円		

損益 717 千円/年

9-3 事業スケジュール

複合拠点施設の整備に関する事業スケジュールを以下に示す。

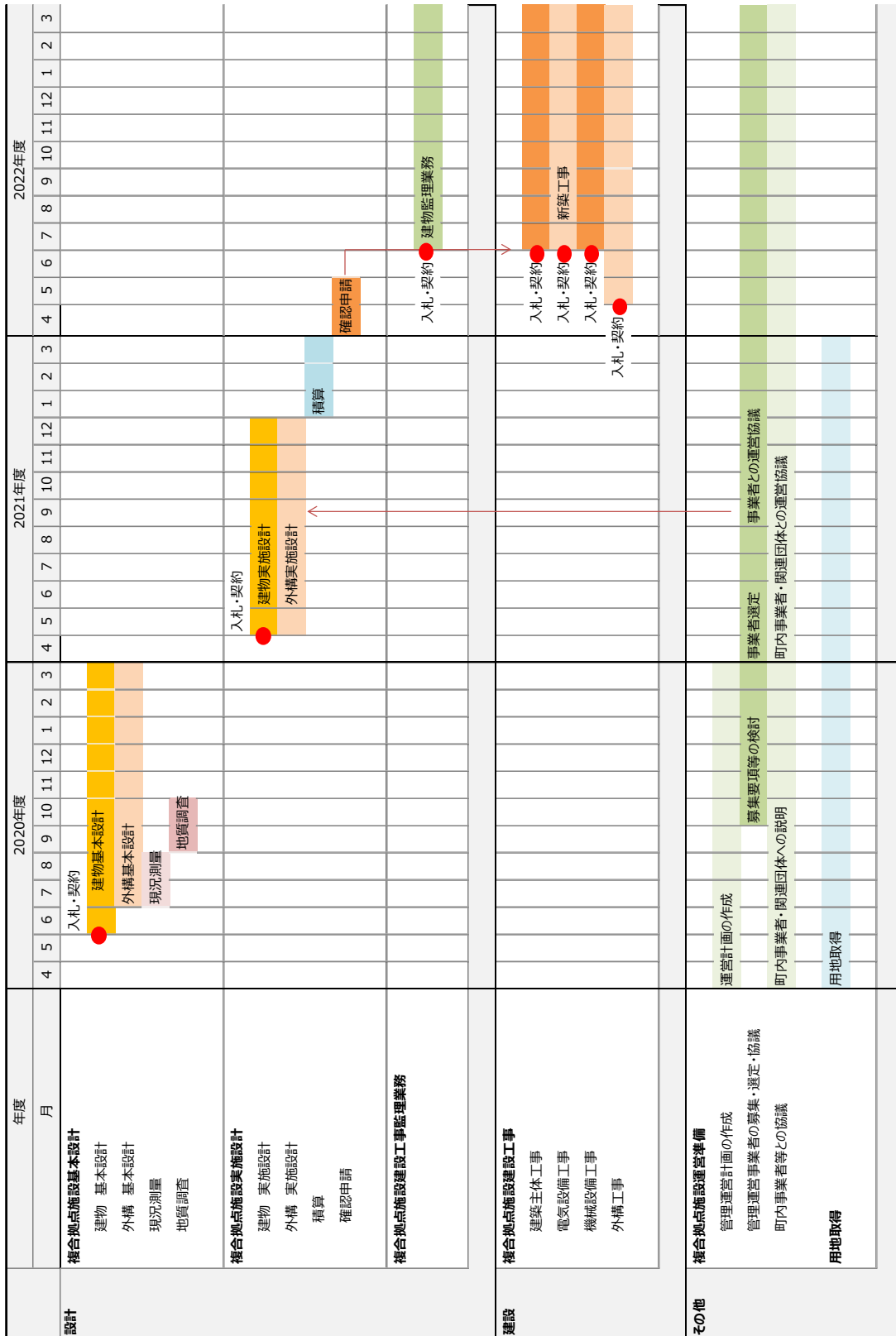


図 9-1 事業スケジュール

9-4 施設整備・運営に向けた課題

今後の複合拠点施設の整備・運営に向けた課題を整理する。

9-4-1 施設整備

(1) 用地の決定・取得

施設の基本設計等を進めるにあたって、用地の決定・取得への対応を急ぐ必要がある。

公有財産の利用は必須とせず、必要に応じて用地買収を伴うものとするところからも、基本計画で設定した条件を満たす市街地エリアの用地について、候補地を絞り込み、地権者等との調整を進めることが必要である。

(2) 施設基本・実施設計に向けた協議等

基本設計にあたっては、町民や利用団体等への説明・要望の聞き取りを行い、より具体的なニーズを把握することも重要である。

また、実施設計にあたっては、管理・運営事業者を決定後、施設レイアウトの調整など詳細を協議していくことが必要である。

9-4-2 施設運営にかかる準備

(1) 管理運営事業者の選定

施設運営にかかる準備についても、施設整備と並行して対応していく必要がある。

効率的な施設に向けては、管理・運営事業者を町内に限定せず町外からも広く募集することが考えられる。

管理・運営事業者の募集・選定にあたっては、管理・運営における方針・計画の作成、募集要項や選定基準等の募集資料の作成のほか、管理業務などの範囲や条件などについても検討することが必要である。

(2) 町内事業者・関連団体への説明及び運営協議

町民及び町内事業者の参画等の意欲を醸成するための取り組みとして、説明会のほか、意見交換会などを開催し、町民とともに協働による運営等への参加方法を検討することが重要である。

また、既存の団体等と連携して、それらを束ねる組織づくりや運営の仕組みを検討することも必要である。